

第七十五回帝國議會 衆議院 所得稅法改正法律案外三十件 小委員會會議錄(速記)第四回

委員中地方稅法案外七件

會議

昭和十五年三月七日(木曜日)午前十時二十九分開議

出席委員左ノ如シ

小委員長 小山倉之助君

理事內藤 正剛君 理事石井徳久次君

理事西川 貞一君

長野 高一君 成島 勇君

飯田 助夫君 塚本 三君

池本甚四郎君 宮本雄一郎君

山川頼三郎君 瀧澤 七郎君

小見山七十五郎君 永江 一夫君

青木 作雄君 藤本 捨助君

武田徳三郎君

同日委員塚本三君辭任ニ付其ノ補闕トシテ池本甚四郎君ヲ委員長ニ於テ選定セリ

出席政府委員左ノ如シ

內務省地方局長 挾間 茂君

內務書記官 三好 重夫君

大藏書記官 山田 義見君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

地方稅法案(政府提出)

地方分與稅法案(政府提出)

府縣制中改正法律案(政府提出)

第六類第二號附屬 所得稅法改正法律案外三十件委員中地方稅法案外七件小委員會會議錄

市制中改正法律案(政府提出)

町村制中改正法律案(政府提出)

北海道會法中改正法律案(政府提出)

北海道地方費法中改正法律案(政府提出)

地方分與稅分與金特別會計法案(政府提出)

御發言ヲ許シマス

○小山委員長 ソレデハ是ヨリ開會致シマス、昨日ノ質問ニ引續キマシテ小見山君ノ

地租及ビ營業收益稅、此ノ三稅ノ附加稅

ニ付キマシテ御尋シタイト思フノデアリ

マス、此ノ平年度ノ地方稅ノ收入トシテ

先達テ來御示ニナリマシタ金額ハ、是ハ

現在ノ地方ノ財政需要ニ應ジタル金額デア

ラウト思フノデアリマス、此ノ後地方ノ

財政ガ自然ニ膨脹ヲシテ來ルニハ違ヒナイ

ノデアリマス、此ノ一般的自然膨脹ノ場

合、三稅ノ増徴ト配付稅ノ配付額ノ増額ト

トチラガ先ニ、何レニ重點ヲ置クカト云フ

コトヲ御伺シタイノデアリマス、府縣或ハ

町村ノ一地方的或ハ一時的ノ突發的財政需

要ニ對シマシテハ、收益稅ノ増徴又ハ配付

稅ノ増額ト云フヤウナ適宜ノ處置ニ付テ先

般御說明ガアツタノデアリマスガ、私ノ御尋シタイノハサウデハナイ、一般的ニ自然

地方ノ財政ガ膨脹シタ場合ニハ、如何ナル

方向ニ向ツテ稅ノ増徴ヲスルカ、斯ウ云フ

コトヲ御尋シタイノデアリマス、地方ノ財

政ト申シマシテモ其ノ内容ヲ檢討致シマス

ト、道府縣市町村各々最近ニ於ケル膨脹ノ

程度ハ違ツテ居ル、最近ノ統計ヲ見マシテ

モ、昭和四年ノ道府縣ノ歳入決算額、昭和

十二年ノ歳入決算額——昭和十三年ノ決算

額ハマダ御示ニナリマセヌカラ分リマセ

ス、昭和四年ノ道府縣ノ歳入決算額同ジク

昭和十二年ノ歳入決算額、此ノ九箇年ノ増

加ノ率ヲ調ベテ見マスト、道府縣ニ於キマ

シテハ、昭和四年ノ歳入決算五億四千六百

萬圓トナツテ居リマス、是ガ昭和十二年ニ

ハ八億二千萬圓デ、約六割ニ近い増加ヲ示

シテ居ル、市ハ昭和四年ノ統計ヲ持合セテ

居リマセヌノデ、六年カラ比較致シマスト、

昭和六年ノ市ノ歳入決算額ハ七億四千六百

萬圓、ソレガ昭和十二年ニハ十一億六千五

百萬圓ト云フ數字ニ上ツテ居リマス、殊ニ

昭和十一年度ハ歳入決算額ニ於テ十六億一

千三百萬圓ト云フ巨額ニ達シテ居リマス、

是ハ昭和十二年ト對比致シマシテモ五割以

上ノ増加デアリマス、假ニ昭和十一年ノ決

算ト對照致シマスト、實ニ二倍以上ノ増加

ヲ致シテ居ル、之ニ反シテ町村ノ歳入ノ狀

況ヲ見マスト、町村ノ昭和四年ニ於ケル歳

入決算額ハ五億八千五百萬圓デアリマス、

是ガ昭和十二年ニ至ツテ六億二千九百萬

圓、殆ド何等ノ増加ヲ見ナイデ、不動ノ狀

態ナノデアリマス、是ハ他ニ種々ノ原因モ

アリマセウガヤハリ經濟財政ノ力ガ中央ニ

集リ、都市ニ集ル、所謂經濟財政ノ中央集

權トデモ言フベキ情勢ヲ示スモノデアアル、

町村ニ財政需要ガ起ラナイノハ決シテ爲ス

ベキ事ガナイノデアリマス、仕事ハ澤山アリ

マスガ、此ノ仕事ニ應ズベキ稅源ガ行詰ツ

テ居ルカラデアリマス、左様ニ地方ノ財政

ノ中デモ町村ハ、最近約十年間殆ド不動ノ

儘、釘付ニナツタ財政狀態デアルト私ハ考

ヘテ居ルノデアリマス、斯様ニ從來ノ町村

ノ財政狀態ハ十年間モ釘付ニナツテ居ル、

比較的稅源ニ窮乏シ財政困難ヲ告ゲテ居ル

道府縣ニ於テスラモ、九年間ニ六割ニ近い

財政ノ膨脹ヲ示シテ居ル、市ニ至ツテハ二

倍ニ達シテ居ル、獨リ地方ノ中デ町村ノミ

付託議案

地方稅法案(政府提出)(第四七號)

地方分與稅法案(政府提出)(第四八號)

府縣制中改正法律案(政府提出)(第四九號)

市制中改正法律案(政府提出)(第五〇號)

町村制中改正法律案(政府提出)(第五一號)

北海道會法中改正法律案(政府提出)(第五二號)

北海道地方費法中改正法律案(政府提出)(第五三號)

地方分與稅分與金特別會計法案(政府提出)(第五四號)

ガ十年間不動ノ儘デ居ルト云フコトハ、是
 デハ地方ノ發達ハ出來ナイ、今後此ノ稅制
 改革ノ主眼ハ町村ノ財政ガ此ノ後下シク
 伸張シテモ構ハナイ、町村財政ノ伸張ヲ認
 メナケレバ私ハ地方ノ發達ハ出來ナイト、
 此ノ方面カラ觀察致スノデアリマス、殊ニ
 町村並ニ府縣モ都市モ此ノ後一般ノ財政
 需要ガ増加シテ行ツタ時、此ノ一般ノ自然的
 増加ニ對シマシテ、獨立稅即チ三收益稅ト配
 付稅トトテテラノ方向ニ向ツテ主ニ伸張スル
 ノデアルカ、言フマデモナク地方財政ノ此ノ
 後ノ中心ハ三收益稅ニアルノデアリマス、御
 示ニナツタ統計カラ見マシテモ、大部分ハ
 此ノ三收益稅ガ地方財政ノ重要部分デアリ
 マスガ、ドノ方面ニ向ツテ此ノ自然膨脹ニ
 對シテ重點ヲ置クカ、モウ少シ具體的ニ申
 シマスト、地方ノ財政ガ膨脹スル場合ニ於
 キマシテハ、三收益稅ト配付稅ト並行シテ
 ドンノ伸張セシメルカ、即チ増率ヲシテ
 行クノカ、或ハ先ヅ三收益稅——營業稅、
 家屋稅、地租、此ノ三稅ノ附加稅ヲ出來得
 ル限り極度マデ増徴ヲシテ、モウ是レ以上
 ハ取レナイト云フコトニナツタ後ニ配付額
 ヲ増スカ、或ハ配付稅ヲ出來ルダケ増額致
 シテ、其ノ後ニ此ノ三收益稅ヲ増徴スルノ
 カ、私ハ此ノ三ツノ中ノ一ツデアラウト思
 フ、更ニ又當分ハ此ノ配付稅ノ配付率、規定
 ニ依リマスト所得稅、法人稅ノ一割六分五
 厘五毛、遊興飲食稅、入場稅ノ五割、此ノ
 位置ト云フモノハ當分動カサナイモノデア
 ルカ、地方ノ財政狀態如何ニ依ツテハ是ガ
 増率ヲモ爲サル考デアルカ、是ハドウモ
 大藏大臣デナケレバ責任アル御答辯ハ出來
 ナイト思フガ、順序ノ上カラ御答致スノデ
 アリマス

ソレカラモウ一ツ地租、營業稅、家屋稅
 ノ此ノ附加稅ヲ地方ガ増徴スル場合ニ、此
 ノ三ツ、之ヲ並行シテ、一方ガ二割増徴ス
 レバコチラモ二割、コチラモ二割、三ツ
 同ジ率デ増徴スルノカ、或ハ場合ニ依
 ツテハ地租ノ増徴ノミニ止メテ、他ノモ
 ノハ其ノ儘、或ハ營業收益稅ヲ多ク増率ヲ
 行フト云フ意味ニスルノカ、或ハ三ツ並行
 シテ同ジ率デ増徴スルノカ、此ノ三ツノ適
 當ナモノヲ其ノ時ノ場合ニ依ツテ増徴スル
 ノカ、此ノ五ツノ場合ヲ豫想サレルノデア
 リマスガ、先ヅ質問ノ順序ト致シマシテ、
 今申上ゲマシタ五ツノ場合、何レニ落著ク
 ノカト云フコトニ付テ御答辯ヲ願ヒタイノ
 デアリマス

○**挾間政府委員** 只今小見山君ノ御尋ノ今
 回ノ稅制改正後ニ於テノ地方ノ財政計畫ト、
 地方稅ノ彈力性ノ問題ハ非常ニ大切ノ問題
 デゴザイマスカラ、多少詳細ニ此ノ機會ニ
 於テ答辯申上ゲタイト思ヒマス、地方財政
 ノ彈力性ノ問題ハ、先般私カラ申上ゲマシ
 タ通り、財政上ノ技術的ノ觀念トシマシテハ、
 伸縮力ト伸張力ノ兩方面ヨリ併セテ考ヘタ
 イト思フノデアリマス、伸縮力ノ問題ハ、
 是ハ課稅標準ノ制限ニ關係ナク、課率ヲ増
 加又ハ縮小致シマシテ、稅收入ノ増減ヲ圖
 ルト云フ問題デアリマス、ソレカラ伸張性
 ノ問題ハ、是ハ課率ヲ上下セズシテ、課稅
 標準ノ自然ノ増加減少ニ伴ツテ稅收入ガ増
 加シ、又ハ減少スルト云フ問題デアリマス、
 地方財政上ニ於ケル彈力性ノ問題ハ、此ノ
 二ツノ方面カラ見テ參ラナケレバナラヌト
 思フノデアリマシテ、今回ノ稅制改正ニ於
 キマシテハ、此ノ財政上ノ伸縮性ト伸張
 性ノ兩者ノ方面ニ於キマシテ、出來得ル限

リ地方財政ニ對シテ彈力性ヲ與ヘルヤウニ
 考慮致シテ參ツタノデアリマス
 (委員長退席、内藤委員長代理著席)

即チ伸縮性ノ問題ト致シマシテハ、現在ノ
 此ノ稅制ノ下ニ於キマシテハ、御存ジノヤ
 ウニ、農村方面デハ戶數割ガ伸縮性ノ最モ
 代表的ナモノト考ヘラレテ居ル譯デアリマ
 スガ、是ハ謂ハバ觀念上伸縮力ガアルト云
 フダケノコトデアリマシテ、既ニ増徴ニ増
 徴ヲ重ネテ居リマスカラ、モウ此ノ上更ニ
 課稅スルト云フコトハ、實際問題トシテハ
 困難デアル狀態デアリマス、又都市道府縣
 ノ方面ニ於キマシテハ、營業收益稅、或ハ
 所得稅ノ如キモノノ附加稅ガ、此ノ伸縮性
 ヲ代表シテ居ルモノデアリマスガ、是トテ
 モ實際上ハ、大多數ノ團體ニ於キマシテハ、
 最早伸縮力ガナイ程度ニマデ増徴ヲ加ヘテ
 參ツテ居リマス、詰リ言葉ヲ換ヘテ申シマ
 スト、現在ノ地方財政ノ狀態ニ於キマシテ
 ハ、現行制度ノ下ニ於テハ、最早伸縮力ハ、
 觀念上ハアルケレドモ、實際問題トシテハ
 ナク、行詰ツタ狀態ニアルト見ナケレバナ
 リマセヌ、是ハ小見山サンガ既ニ指摘セラ
 レテ居ル通りデアリマス

ソレカラ今一ツノ問題デアアル伸張力ノ問
 題、詰リ此ノ課稅標準ノ自然増加ニ依ル増
 收ノ問題デアリマスガ、是ハ主トシテ所得
 稅、營業收益稅ノ自然增收ノ問題デアツテ、
 是ハ財源ガ地域的ニ偏在シテ居リマス關係
 上、現行制度ノ下ニ於テハ、極メテ地
 域的ニ不均等ナ稅收入ヲ與ヘルコトニ
 ナツテ居リマスノデ、此ノ現行制度ノ
 伸張力ト云フモノハ、地方財政ノ上ニ於
 キマシテ、極メテ好マシカラザル狀態
 ニナツテ居リマスカラ、少クトモ合理的

ナ伸張力ヲ與ヘル爲ニハ、之ヲ根本的ニ變
 ヘテ行カナケレバナラヌ、斯ウ云フ狀態ニ
 ナツテ居リマス、ソコデ今回ノ改正案ニ於
 キマシテハ、之ヲ根本的ニ改正ヲ致シマシ
 テ、十分ナル伸縮性ト伸張性ヲ與ヘルコト
 ニ致シタ譯デアリマス、ソコデ先ヅ伸縮性
 ノ方ヲ改正案ニ付テ考ヘテ見マスルト、改
 正案ニ於キマシテハ、從來此ノ制限外課稅
 ヲ致シテ居リマス分ヲモ、全部包含セシメ
 マシテ、今回ノ課率ヲ作ツテ居ルノデアリ
 マス、隨テ將來之ニ對シテ賦課率ヲ増大ス
 ルト云フコトガ、極メテ容易ニナツテ居リ
 マシテ、伸縮力ハ從來ヨリモ増加致シテ參
 ツテ居リマス

ソレカラ伸張性ノ問題ニ付キマシテハ營
 業稅及ビ配付稅ニ於テ十分此ノ伸張性ヲ認
 メルコトニナツテ參ツテ居ルノデアリマシ
 テ、之ヲ成ベク事ノ正確ヲ期スル爲ニ、數
 字ニ付テ此ノ機會ニ於テ明瞭ニ申上ゲテ置
 キタイト思ヒマス、即チ改正前ニ於キマシ
 テノ伸張性ノルア稅種ト致シマシテハ、所
 得稅附加稅ト營業收益稅附加稅ヲ上ゲルコ
 トガ出來ルト思ヒマスガ、之ヲ道府縣市町
 村ヲ通ジテ見マスルト、所得稅附加稅ガ現
 行制度ニ於キマシテハ一億四千七百萬圓程
 度ノ收入ガアリマス、又營業收益稅附加稅
 ハ一億三千万圓程度、合計二億七千七百萬
 圓、現行制度ニ於キマシテ伸張力ノアル稅
 種ト認メ得ルノデアリマス、改正後ノ稅制
 ニ於キマシテハ配付稅ノ中ノ稅源デアアル此
 ノ所得稅及ビ法人稅ガ平年度ニ於キマシテ
 二億五千八百萬圓、ソレカラ新制度ニ於ケ
 ル營業稅ト其ノ附加稅ガ二億九千万圓デア
 リマシテ、合計致シマスト五億四千八百萬
 圓ガ道府縣市町村ヲ通ジテノ伸張力ノアル

税源ニナル譯デアリマス、詰り伸張力ノアル税源トシマス、現行制度ヨリモ改正案ノ方ガ二億七千万圓、殆ド倍額ニモ相當スル伸張力ノアル稅種ガ新稅法ノ下ニ於テ選擇セラレテ居ルト云フ結果ニナツテ居ルデアリマス、假ニ現行制度ニ於ケル戸數割ガ伸張力ノアルモノデアルト云フコトヲ之ニ加味シテ考ヘマス、戸數割一億二千七百万圓ヲ現行制度ニ於ケル伸張力アル稅トシテ加ヘテ見マシテモ、尙ホ改正法ニ依ル伸張力ノアル稅ガ一億四千四百万圓程度多額ニ見積ラレテ居ルト云フコトニナルデアリマス、詰り此ノ伸張力ノアル稅種ガ改正法ニ依ル方ガ遙ニ多ク見積ラレテ居ルト云フコトデアリマス、小見山サンガ地方團體ノ將來ニ於ケル財政上ノ彈力性ニ付テノ御懸念ノ點ハ洵ニ御尤モト思フノデアリマスガ、只今申上ガマシタヤウナ稅種ノ選擇ノ上カラ申シマシテ、十分今回ノ統制ニ於キマシテ御懸念ニナリマシタヤウナ點ハ、心配ノナイヤウニ加味シテ構成ヲ致シテ居ルデアリマシテ、其ノ點御諒承ヲ御願シタイト思フデアリマス、ソレカラ次ニ御尋ニナリマシタ配付稅ト三收益稅トヲドウ云フ風ナ按排ヲ以テ將來ノ經費ノ自然増加ニ對應スルヤウニシテ行クカト云フ御尋デアリマス、配付稅ハ御存ジノヤウニ、一定率ヲ以テ國庫ヨリ特別會計ニ收入致シマシテ、法律ノ規定ニ基イテ之ヲ配付致シマス、非常ニ自然增收ガゴザイマスレバ、一定率以上ハ之ヲ積立致シマスガ、一定限度マデハ、之ヲ全部配付致シマスノデ、是ハ當然地方團體ノ法律上ノ權利トシテ配付セラレルデアリマシテ、之ニハ手心ト云フモノハナイ譯デアリマス、尙ホ三收益稅ノ

問題ニ付キマシテハ、是ハ各地方團體ノ自由意思ニ從フコトデアリマシテ、法律上當然許サレマシタ道府縣百分ノ百、市町村百分ノ二百ト云フ限度ニ於キマシテハ、課稅標準ノ自然増加ニ伴ヒマシテ、自然增收ガアルコトハ當然デアリマスガ、尙ホ施設ヲ更ニ致シタイト云フ團體ニ於キマシテハ、必要ニ應ジマシテ其ノ賦課率ヲ増加シ、而モ團體ノ財政事情上許スベキモノアリト認メマスレバ、監督官廳ハ之ヲ許可スルノ方針デアリマスノデ、是ハ團體ノ施設及ビ地方團體ノ實情ニ應ジマシテ、之ヲ許可スルヤ否ヤト云フコトヲ按排シテ行クコトニナツテ參ルト思フデアリマス、ソレカラ其ノ場合ニ於テ、此ノ三收益稅ノ課率ハ、各三收益稅ガ並行ニ行クモノデアルカ、或ハ各稅ニ付テチダハグニ行ツテモ差支ナイモノデアルカト云フ御尋デアリマスガ、ソレハ今回ノ地方稅法ノ第四十五條ト五十九條ニ新シク規定ヲ設ケマシテ、三收益稅ノ課率ハ之ヲ同一ニスルト云フコトガ原則ニナツテ居ルデアリマス、尙ホ負擔ノ均衡上特ニ必要ガアル場合ニ於キマシテハ、監督官廳ノ許可ヲ得テ、特別ノ課率ヲ設ケルコトモ出來マスガ、其ノ法律上ノ原則ハ總テ是ハ並行ニスルト云フコトニナツテ居ルデアリマス

○小見山委員 地方財政ニ將來相當ノ彈力性ヲ與ヘルガ爲ニ、斯様ナ稅制ヲ工夫サレマシタ點ハ、私ハ實ニ多ク致シマス、確ニ御話ノ通りニ、行詰ツタ地方ノ財政ガ此ノ新稅制ニ依ツテ、將來相當ノ伸張性ヲ有スルコトハ、是ハ數字カラ見テモ明カデアリマス、此ノ點敬意ヲ表スル者デアリマス、デアリマスカラ、私ノ心配スルヤウナ處ハ

ナイト仰シヤルケレドモ、私ハ心配シテ御尋ハシテ居ナイ、心配スルコトハ後デ又御尋致シマスガ、今マデ御尋シタ點デハ、私ハ少シモ心配シテ居ナイノデス、大藏大臣デナケレバ當然此ノ事ハ御答辯出來マスマイガ、私ハ將來モウ此ノ三收益稅ガ取レタクナル程度マデ自然ニ財政需要ガ膨脹シハシナイカ、其ノ時分ニ何時マデモ此ノ配付稅トシテ國庫カラ配付サルベキ所得稅、法人稅及ビ遊興飲食稅、入場稅ニ對スル所ノ率ハ一定不動ノモノデアルカ、地方ノ財政狀況如何ニ依ツテハ、是ハ他日更ニ増率スルト云フコトヲ豫想シテ此ノ稅制ヲ決メテ居ラレルノデルカ、モウ絕對ニ法人稅、所得稅ノ一割六分五、ソレニ遊興飲食稅、入場稅ノ五割、是以上ハ絕對ニ増率シナイノダト云フコトヲ私ハ前提トシテ御尋シタノデアリマスガ、是ハドウモ内務省ノ方ニ質問致スコトハ無理デアリマス、大藏大臣ガ國家財政ノ全體カラ、サウ云フコトハ絕對ニ出來ナイト御答辯ニナルカ、場合ニ依ツテハ將來考慮スベキ時期ガアラウト御答辯ニナルカ、是ハアナタニ御尋シテモ無理ダト思ヒマス、ソコデソレハ他日大藏大臣ノ御出席ヲ待ツテ其ノ機會ニ御尋シタイト思ヒマスガ、此ノ課率ガ今仰シヤツタ通り、一定不動ノモノデアルト致シマスルト、若シモ地方ノ財政需要ガ少シモ衰ヘナイデ、中央ニ於ケル國庫ノ自然的減收ニナツタ場合今デハ三億二千七百万圓カガ此ノ配付稅トシテ豫想サレテ居ルデアリマスガ、其ノ親金、稅源デアル法人稅、所得稅ガ自然ニ減少スル、遊興飲食稅、入場稅ガ減少スル、其ノ場合ニ、二割六分五ト五割、此ノ率ガ動カナイナラバ、配付額ト云フモノ

ハ段々減少スルコトハ當然デアアル、其ノ場合此ノ配付稅ト云フモノハドシナ風ニナルカ、地方ノ財政需要ハ衰ヘス、寧ロ年々膨脹シテ行キ、三收益稅ノ伸張性ハ認メテアツテモ、是モ或ル程度マデ行ツテ、是以上ノ増徴ハ實際ニ於テ苛斂誅求ニナル、而モ一番融通性ノアル配付稅ガ不幸ニシテ惡イ方ノ融通性ヲ現ハシテ、段々本稅ガ減少シテ、一定ノ率ニ依ツテ配付サレル金額ハ當然減少シテ行ク、是ハアリ得ベキコトデアアル、此ノ場合ハ一體ドウ云フコトヲ豫想シテ居ラレルデアルカ、近年ニ於ケル所得稅、法人稅、殊ニ遊興飲食稅ノ如キモノノ變化消長ハ非常ニ激シイ、景氣ニ依ツテ非常ニ增收ニナリ、不景氣ニナツタラ非常ニ減收ニナル、成程之ニ伸縮性、彈力性ヲ認メテ居ルト仰シヤルデアリマスガ、是ガ從來ノ景氣ノ好イ時ノヤウニ、國庫ノ收入ガ増加シテ、自然ニ此ノ本稅親金ガ膨レテ行ク間ハ、地方ハ一定ノ率ニ依ツテ配付ヲ受ケルコトハ洵ニ有難イガ、ソレガマカリ間違ツテ非常ナル大不景氣、大恐慌ニ際シマシテ、其ノ國庫ノ稅收入ニ激減ヲ來シテ、サウシテ是カラ配付サルベキ配付稅ノ率ハ一定不動デアラ、斯ウ云フ場合ニ一體ドウスルカ、日本全體ハ非常ナ不景氣ノ嵐ガ吹捲ツテモ、非常ナ景氣ガ起ツテモ、一年、二年、三年モシテ後ニ地方ノ景氣ニ及ビヤウニ、不景氣ガ突然中央、日本全體ニ吹捲ツテモ、其ノ不景氣ガ地方ニ浸潤スルノハヤハリ遅イ、其ノ間地方ノ財政需要ハ少シモ衰ヘズ、益々膨脹シテ行ク、之ニ一大缺陷ガ將來起リハセヌカト憂ヘテ居ル、是ガ私ノ心配デア

御氣ノ毒デスガ、ドウ云フ御考デアルカ、是ダケノ稅制ヲ工夫ナサルニハ其ノ邊ノコトハ十分御考ニナツタ上ノコトデアラウト思ヒマス、之ニ對スル御所見ヲ伺フノデアリマス

○挾間政府委員

今回ノ稅制ニ於ケル配付稅ノ稅源デアル所得稅、ソレカラ法人稅、遊興飲食稅、入場稅ノ中カラ幾分ヲ割クト云フ率ノ問題ニ付キマシテ、所得稅、法人稅ニ付テハ一割六分五五、遊興飲食稅、入場稅ニ付テハ五割、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、自然ニ地方ノ財政需要ガドンドン増加シテ參ツテ、サウシテソレニ伴フ財政收入ガ是デハ背負ヒ切レヌト云フコトニナツタ場合ニ、其ノ率ヲドウスルカト云フ御尋デゴザイマスガ、大體ノ見透シトシマシテハ財政需要ガ増加シテ來ルト云フノハ是ハ物價指數ノコトモアルデアラウシ、色々ナ關係モアルト思ヒマスガ、ヤハリ此ノ課稅標準ト云フモノモソレニ伴ツテ増加シテ來ルト思フノデアリマシテ、只今ノ所デ一應ノ考トシテハ此ノ率ヲ進ンデ行キマシテ、地方團體ノ需要ニ即應シテ自然増收モ増シテ行クデアラウト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、併シナガラ是ハ現在ニ於テ一應ノ見込デアリマスカラ、若シ將來ニ於テ非常ニ變更ガアツテ、ドウシテモ此ノ率ヲ行ケナイト云フ事態が生ジタ時ニハ、ソレハ又別箇ノ問題トシテ、率ノ變更ト云フヤウナコトモ考ヘナケレバナラヌト思ツテ居リマスケレドモ、是ハ只今ハツキリト變ヘルノデアリマスト云フコトハ申上ガ兼ネマスガ、サウ云フ場合モ豫想シナケレバナラヌカト思ツテ居リマス

ツテ、サウシテ地方團體ノ需要ニ此ノ率ヲ以テハ即應スルコトガ出來ナクナツタ場合ニドウスルカト云フ點ニ付キマシテハ、此ノ稅制ヲ立テル時ニモ、色々大藏當局トモ相談シテ居ルコトデアリマス、此ノ稅制ヲ立テマシタ時ニ一應考ヘマシタモノトシテハ、十五年度ノ稅收入ヲ十億三千二百萬圓ト見テ、サウシテ此ノ配付稅ノ率ト云フモノガ出テ來テ居ルノデアリマスカラ、非常ニ減少シタト云フ場合ニハ、或ル限度ニ於テハソレハ借入金等ニ依ツテ賄フコトモ出來マスケレドモ、併シドウシテモ是デハ動キガ取レナイト云フヤウナ場合ニハ、是ハ見込違ヒノ問題デアリマスカラ、此ノ率ノ増加ト云フヤウナコトモ考慮シナケレバナラヌカト思ツテ居ルノデアリマス、其ノ點ハ將來ニ於テサウ云フ事態が生ジタ場合ニハ考慮ヲシナケレバナラヌト考ヘテ居リマス

○小見山委員

多分サウダラウト思ヒマシタ、私ハ此ノ國稅ノ自然増收ニ依ツテ一割六分五五及ビ五割、是デハ餘リニ多過ぎル、地方ノ配付稅トシテハドウモ餘リニ多過ぎルト云フ場合ハ是ハ心配ナイ、此ノ時ハ率ヲ減ラセバ宜イ、ソレヨリモ一朝一大恐慌ニ襲ハレテ、二年モ三年モ或ハ五年モ不幸ナル經濟狀態ニ陥ツタ時ニ、國庫ノ收入ガ一年カ二年位ナラアタナクノ仰シヤル通り起債ヲシテ、サウシテ國稅ノ増收ヲ圖ツテ居ツテモ宜シイガ、連モ起債ヤ何カ之間ニ合ハナイ、イツ回復スルカ分ラヌヤウナ數年モ打續ク大不景氣ニ我國全體が見舞ハレタ時ニハ此ノ率デハイカナイ、當然其ノ時ニハ何等カ考慮サレナケレバナラヌト思ツテ居ル、一定不動ノモノダトアタナクハ仰シヤツタガ、ソレデハ

イカナイト云フ御考ガアレバ、私ハ此ノ點ハソレデ宜イノデアリマス、又明確ナル將來ノ見透シニ對スル御答辯ハ、是ハドウシテモ吳レル方ノ大藏大臣デナケレバ、貰フ方ノ内務省デハ無理ダト私ハ思ツテ居ル、大體今度ノ地方稅ノ改正ハ、先刻モ私が申上ダケヤウニ洵ニ良ク出來テ居ル、簡易明白デ、サウシテ非常ニ伸張性モアルヤウニ見エ、彈力性モアルヤウニ見エマス、併シドウモ幾多ノ缺陷ガ昨日來申上ダケ通り將來起リハシナイカ、今度ノ此ノ分與稅法ヲ見マシテモ一番終ヒノ方ニ、附則トシテ澤山長タラシイ條文ヲ付ケテアル、ソレハ要スルニ何カト言ヘバ、昭和十五年度カラ昭和十九年度マデノ五箇年ノ間ハ、ドウモ此ノ稅制ヲ實施シテ果シテドウナルカ分ラヌ、地方ノ財政ガ善クナルカ悪クナルカ、ドウ云フ不都合ガ起リ、ドウ云フ缺陷ガ起ルカ分ラヌカラ、原則トシテハ配付稅ノ如キ道府縣ニハ第一種、第二種、大都市ニモ第一種、第二種シカナイ、ソレヲ第三種マデ附加ヘ、都市及ビ町村ニ於テハ第三種ノ上ニ當分五年間ダケ第四種マデ附加ヘテ、マア何トカ五年ノ間之ヲ按排シテ見ヨウト云フヤウナ、アタナクガドウシテモ直チニ平年度ノ狀態ニ入ルヤウニ計畫ガ出來ナカツタ是ハ證據デハナイカ、成程家屋ノ賃賃價格ヲモウ一遍ヤリ直ス、昭和十五年度、十六年度デ更ニ調査ヲシテ、十七年度カラ全國均衡ヲ得タ家屋ノ賃賃價格ヲ決メテ之ニ課稅スル、是ハ當然ノコトデアリマス、二年ノ時日ヲ假サヌケレバナリマスマイ、併シ此ノ稅制ガ當分此ノ改正ニ依ツテ地方ノ財政ニ如何ナル變動ガ起ルカ分ラヌカラ、ソレヲ

緩和スル爲ニ道府縣ニ第一種、第二種シカナイノヲ第三種ヲ加ヘ、都市及ビ町村ニハ第三種マデノ配付額ニナツテ居ルノヲ第四種配付額ヲ附加ヘテ、サウシテ此ノ五年ノ間ニドウナルカ、茲ニ餘裕ヲ付ケテアル、是ハ洵ニ御苦心ノ跡ハ察スルガ、是カラ見テモアタナク方ガ既ニ立案當時ニ此ノ稅制ナルモノヲ此ノ儘完全ニ實行シテハ大キナ缺陷ガ起ルト云フコトヲ豫想セラレタモノデアルト私ハ思ツテ居ル、此ノ五年間ノ第一種、第二種、第三種、或ハ第四種マデ配付ノ種類ヲ分ケルト云フコトノ内容ノ御説明ヲ見マスルト是ハ時間ガアツタラ御聽シマス、是ハ事務的ノ御説明ヲ聽クニ過ギマセヌガ、要スルニ斯ウ云フコトヲ五箇年ノ長キニ互ツテヤル、一年、二年ナラ宜イトシテモ、五箇年ノ長キニ互ツテ、折角新稅法ヲ實施シナガラ五年間ハ曖昧ナ、模樣ヲ見ルヤウナ、其ノ間ニ何トカナラウト云フヤウナ稅制ヲ附則ニ於テ補ツテアルト云フコトハ、是非非常ニ立派ナ御考、立派ナ工夫デアアルガ、又反面ニハ一大缺陷ガ起リ得ル一ツノ現ハレト私ハ思ツテ居ルノデアリマス、ソレデ其ノ事ハソレダケノコトヲ申上ダマシテ、私ハ次ノ質問ニ移リマス、是ハ一番大事ナコトト思フ、此ノ營業稅、地租及ビ家屋稅、此ノ三稅ノ最高限度ガハツキリ現ハレテ居ナイ、一應ハ町村ニ於テハ本稅ノ百分ノ二百、府縣ニ於テハ百分ノ百、詰リ四分ノ二ヲ府縣ガ、四分ノ二ヲ町村ガト、斯ウ一應ナツテ居ル、又非常災害、傳染病或ハ學校ノ建築等ノ場合ニ於キマシテハ許可ヲ得ズシテ百分ノ二百四十マデハ増徴シテ宜イヤウニナツテ居ル、ソレダケデハナイ、其ノ變更ニ已ムヲ得ザル場合ハ増徴シ

テモ宜シイ、何處マデ増徴スルカト云フコトハ、先達テ來ノ委員會ニ於テハツキリ御示ニナラヌ、是ハ今ノ所デハ無制限ト聽イテ居ル外ハナイ、ドウシテモ茲ニ無制限、デハナク、少クトモ地租、營業稅、家屋稅ノ附加稅トシテ納稅者ガ負擔シ得ル最高限度ノ負擔力ヲ凡ソ豫想シテ——是ハ時勢ノ變化ニ依ツテ、物價ノ高下ニ依ツテ固ヨリ今日完全ニ豫想スルコトハ出來マセヌガ、先ヅ今日カラ豫想ノ出來ル限リ最高限度ヲ決メテ置カナケレバ、茲ニ私ハ地方稅制ノ一大缺陷ガ將來起ツテ來ルと思フ、殊ニ地方農山漁村ニ於キマシテハ此ノ三稅ノ中、營業稅ノ附加稅ハ極ク僅カデアリマス、假ニ十四年度ノ現行法ノ所謂營業稅收益稅ノ附加稅ヲ見マシテモ、私ノ調ベタ所デハ全國デ七千八百萬圓バカリニナツテ居ル、其ノ七千八百萬圓ノ營業稅收益稅ノ附加稅ノ中デ、道府縣ガ三千二百萬圓、市ガ三千五百萬圓、町村ハ僅ニ千二百萬圓、全體ノ七分ノ一ニモ過ギナイ、是カラ見テモ、將來農山漁村ニ於ケル此ノ三收益稅ノ中ノ營業稅ノ附加稅ハ殆ド眼中ニ置ク必要ハナイ、歸スル所ハ殘リノ二ツ、是ガドレダケノ伸張力ヲ持ツテ居ルカ、是ガドレダケノ最高限度ノ負擔力ヲ持ツテ居ルカ、茲ニ私ハ地方、殊ニ町村ノ財政力ガ此ノ二ツニ集中サレルト思フ、私ハ收益稅ト云フ租稅學上ノ言葉ノ意味ハ、其ノ方ノ學者デナイカラ能ク分リマセヌガ、收益稅ハ或ル一定ノ收益ヲ生ズルモノガ收益稅ト假定致シマスナラバ、少クトモ地方農山漁村ニ於ケル家屋ハ收益ノ源泉デアリマセヌ、唯百姓ノ漁師ガ寢泊リスルダケ、雨露ヲ凌グダケノ家、別ニ自分ノ家ヲ貸シテ家賃ヲ取ツテ暮サヤ

ウナ者ハ殆ド居ナイ、即チ生活ノ根據デアール、雨露ヲ凌グニ足ルダケノ家屋デアリマスカラ、收益ハ總一文モ入ツテ來ナイ、殘ル所ハ土地デアアル、土地ガ果シテソナニ無限ノ伸張力ガアルノデアアルカ、私ガ言フマデモナク、日本ノ土地ハ世界デ一番集約的ニ耕作サレテ居ル、一反ナラ一反、「エーカー」ナラ一反、「エーカー」ノ或ル一定ノ面積ニ於テ世界最高ノ收穫ヲ擧ゲテ居ル、世界最高ノ集約農法ヲ行ツテ居ル、成程肥料ノ増産ヲ圖ツテ、肥料ヲ澤山供給シ、或ハ栽培耕作ノ方法ヲ改良シ、幾多ノ人爲的ノ力ニ依ツテ日本ノ農業ヲ發達サセナケレバナラヌガ、是ハ先ハ知レタモノデアアル、現在一反ニ七俵カ八俵カ穫レルモノガ、到底二十俵モ三十俵モ五十俵モ穫レルヤウニハナラナイ、日本ノ土地ハ現在ノ世界ニ於テハ最高限度ノ收益ヲ擧ゲテ居ル、世界最高ノ集約農法ヲ行ツテ居ル、是カラ此ノ後澤山ノ收益ヲ擧ゲテモ、稅ノ源トシテノ伸張力ハ最高限度ガ決ツテ居ル、是カラ考ヘマスト、アナタ方ノ此ノ稅ノ建前ハ、收入ノ普遍性ト安定性ハ之ヲ三ツノ收益稅ニ求メテ居リ、彈力性ヲ配付稅ニ求メテ居ルト仰シヤルガ、彈力性ヲ有スル配付稅ハ、先刻申シマシタ通り彈力ガ膨レル方ノ彈力ハ有難イガ、縮ンダ場合ニハ行詰ツテ來ル、ドウシテモ一應ハ一定不動ノ率ト仰シヤル十六・五五ヲ、或ハ五割マデ場合ニ依ツテハ増率センケレバナラヌ、サウ云フ彈力性ハ甚ダ困ル、又此ノ三收益稅ハ確ニ普遍性ト安定性ハアリマス、日本到ル處ニ家モアレバ田畑モアル、是ハ又誰モ持ツテ行カナイカラ安定性モアル、此ノ安定性ト普遍性ハ間違ヒガナイガ、其ノ安定性ト普遍性ノ外ニ、

更ニ伸張力モ之ニ求メルト云フコトガ、アナタ方ノ稅制ノ建前ノ根本デアアル、其ノ伸張力タルヤ、今申ス通り地方農山漁村デハ、其ノ伸張力ノアル營業稅ハ殆ド言フニ足ラヌ、家屋ハ唯自分ノ雨露ヲ凌グニ足ルダケノモノデ、是ガ收益ノ源泉トハナラナイ、地租ハ、日本ノ土地ハ今申ス通り集約農法ニ依ツテ最高限度ノ收益ガ今擧ツテ居ル、是レ以上ハ何割増スカノ問題デアアル、此ノ三ツノ收益稅ガ地方稅ノ中心ニナツテ居ル、參考資料ヲ見ルト、是ガ殆ド地方町村ノ稅收入ノ中心ニナツテ居ルコトハ申スマデモナイ、此ノ中心ニナツテ居ル三稅中ノ二ツノ稅ガ、此ノ後ノ伸張力ガ實際ナイ、最高限度ノ負擔モモウ先ガ見エテ居ル、之ヲドウスル、茲ニ此ノ稅制ノ將來ニ恐ルベキ一大缺陷ガアリ、大キ穴ガ待ツテ居ル、之ヲドウナサル積リデアアルカ、サウ云フ實際ノ狀態ヲ顧ミナイデ、唯立案當時ノ原則一本槍デ之ヲ無制限ニ課シテ行ツタラ、是ハ戶數割ドコロデハナイ、非常ナ惡稅ニナツテ來ル、收益稅、所得稅等モアリマスガ、他ニ如何ナル有利ナ條件、幾ラ豐富ナ條件ガアツテモ、市町村民稅ハ千圓ガ最高限度デアアル、是モ固ヨリ伸張ハ出來ナイ、地方農山漁村ニ於ケル唯二ツノ稅源ガ斯様ニ將來ハモウ分ツテ居ル、大體アナタ方ハ此ノ立案當時ニ當ツテ何處マデモ是ハ課ケルカ、無制限デハ是ハ絕對ニイケナイと思フ、假ニ百分ノ二百四十、百分ノ三百、百分ノ五百ト、斯ウハツキリ決メルコトガ出來ナクテモ、何トカソコニ多少ノ融通性ヲ付ケ得ル最高限度ヲ茲ニ設ケ得ルト私ハ思ツテ居ル、ソレハアナタ方ノ方デ技術的ニ御考ニナレバ分ル、例ヘバ其ノ町村ニ於ケル歲入總

額或ハ稅收入總額ノ何割以上ニ達スルコトハ出來ナイト云フヤウナコトモ、是ハ一ツノ方法カモ知レナイ、私ハ最近土地ノ賃賃價格ガドンナ風ニニナツテ居ルカ知リマセヌガ、假ニ一反ノ田ノ賃賃價格ガ六十圓デアツタトスル、其ノ地方ノ財政需要ガ非常ニ旺盛ニナツテ、他ニ稅源ハ無イカラ、地租ノ附加稅ヲ段々増シテ行ツタトスルト、是ガ百分ノ二百、百分ノ三百、百分ノ五百トナツタ場合ハ、一反ニ付テ數十圓ノ課稅ヲシナケレバナラヌヤウニナリハセヌカト思ツテ居ル、現在ノ一反六十圓ノ賃賃價格デアレバ、現在ノ地租及ビ其ノ附加稅ハ約ソ五圓位ニナツテ居リマス、是ガ段々増シテ行ツテ二倍ニナツタラ十圓、三倍ニナツタラ十五圓、五倍ニナツタラ二十五圓、是ハ唯私ガ空想的ニ其ノ率ヲ増スノデハナイ、ドウシテモ財政需要ハ増加スル、他ニ稅源ハ無イ、配付稅ハ一定不動デモウ率ガ決マツテ居ル、市町村民稅ハソレ以上取レナイ、何ニモ無イ、地方ニ於テ家屋ニサウ澤山課ケル譯ニ行カヌカラ、結局又土地ニ集中スル、集中スレバ百分ノ二百、百分ノ三百、百分ノ五百、或ハ百分ノ千ニナルカモ知レナイ、私ハ恐ルベキ大キナ缺陷ノ穴ガ茲ニ出來テ居ルノデヤナイカト思ツテ居ル、之ヲドノ邊マデ伸バスカ、其ノ時ノ地方ノ狀況ニ應ジテ監督官廳ガ課率ノ増加ヲ許可スルトナツテ居リマスガ、是モ洵ニ危險千萬デアアル、此處ヲモウ少シ私ハ明確ニシテ置カナケレバイカスト思フ、他ノ點ハ心配ハナイガ、私ハ此處ガ心配デアアル、此處ニ此ノ制度ノ一大缺陷ガアルト思フ、之ニ對シテドウ云フ御考デアリマスカ、正直ニ事務的デナク、アナタノ御考通りニ御説明願ヒ

マス

○**擴間政府委員** 先ツ配付稅ノ經過規定ノコトニ付テ御述ニナリマシタガ、是ハ決シテ此ノ制度ニ缺陷ガアルカラデハナイノデアリマシテ、今マデ地方財政ガ各團體毎ニ非常ニ負擔ノ均衡ヲ失シ、負擔ノ過重ニナツテ居ル地方團體モアリマス、之ヲ今回ノ稅制改正ニ依ツテ財政ヲ調整スルノデアリマスカラ、ソコニ相當ノ負擔關係ニ地方財政ニ於テ變動ガ來ルト思フノデアリマス、此ノ變動ヲ一舉ニシテ解決シテシマフト云フコトハ、各團體カラ見マスト相當ノ激變ニナル虞ガアリマスノデ、經過年度ヲ設ケテ其ノ激變ヲ濟崩シ的ニ、經過的ニ變更シテ行ク必要ガアルト思フノデアリマス、是ハ常ニ稅制改正ノ時ニ行フ手段デアリマシテ、御存ジノヤウニ地租法改正ノ際ニ於キマシテモ七年間ノ經過年度ヲ設ケテ居リマス、又我國バカリデナク英吉利ガ交付金制度ヲ立テマシタ時ニモ、是ハ五年六年デナク、モツト長イ十數年ノ經過年度ヲ設ケテ、經過的ノ措置ヲ講ジテ居ルヤウナ狀況デアリマス、今回ノ改正ニ於キマシテモ先ヅ五箇年ノ經過年度ヲ以テ其ノ不自然ナル狀況ヲ、自然ニシテ適正ナル狀態ニ戻ス爲ニ、其ノ激變ヲ經過的ニ漸次變ヘテ行カウト云フノデ、其ノ經過年度ヲ設ケテ居ルノデアリマス、左様御諒解ヲ願ヒタイト思ヒマス

ソレカラ三收益稅ノ課率ニ付テ別段法律ガ最高限ヲ定メテ居ナイ、是ガ非常ニ地方財政ヲ紊亂セシムル本ニナリハシナイカト云フ御懸念デアリマシテ、吾々トシテモ三收益稅ノ賦課率ニ依ツテ、地方財政ノ伸縮性ヲ持タセルト云フコトハ、一面ニ於テ是ガ地方財政ノ彈力性ヲ持ツ非常ニ大切ナ點

デアルト同時ニ、其ノ運用如何ト云フコトガ又一面ニ於キマシテハ非常ニ心配ニナル點デアリ、此處ガ同時ニ地方財政ノ妙味デアルトモ考ヘテ居ルノデアリマシテ、其ノ意味ニ於キマシテハ、或ル意味ニ於テ御意見ニ同感ノ意ヲ表スルノデアリマス、從來ノ地方稅制限法ニハ制限率ヲ設ケテ居リマシテ、今回ノ制度ニハ制限率ヲ設ケテ居ナイノデアリマス、一應百分ノ百、百分ノ二百ト致シテ居リマシテ、是レ以上ニ於キマシテ何處マデ取り得ルカ、ドノ率以上ハモウ制限ニ達シタカラ課稅スルコトガ出來ナイト云フコトヲ法定致シテ居リマセヌガ、是ハソコニ地方自治ト云フモノノ一ツノ妙味、旨味ヲ現ハシタイト云フコトヲ吾々非常ニ考ヘテ居ルノデアリマシテ、又一面ニ於キマシテソコニ地方財政上ノ監督ノ面白味モアルノデアリマス、元來地方團體ノ自治ト云フコトヲ稅制ノ上ニ於テ現ハシマス爲ニハ、成ベク團體ノ自主獨立ノ立場ニ於テ其ノ必要ナル施設ヲ運營セシメルト云フコトヲ、制度ノ上ニ於テ保障致シタイト思フノデアリマス、其ノ團體ノ負擔ガ重イカ輕イカト云フコトハ、唯課率ガ高イカ安イカト云フコトガテラ以テシテハ、之ヲ決定スルコトガ出來ナイノデアリマシテ、課率ト同時ニ其ノ團體ノ施設ノ善惡良否ト云フコトヲ比較シテ見ナケレバナラヌト思フ、若シ其ノ團體ノ施設ガ非常ニ進ンデ居リマス場合ニハ、假令三收益稅ニ對スル課率ガ高クトモ、其處ニアル土地、家屋、營業ト云フモノハ、其ノ限度ニ於テ十分利益ヲ享受シテ居ルノデアリマスカラ、假令課率ガ百分ノ百ヲ超エテ居リマシテモ、決シテソレノ不當ノ負擔ヲシテ居ルト云フコトハ言ヘ

ナイト思ヒマス、併シナガラ施設ヲ十分ニ致サズシテ百分ノ百ヲ超エタ稅率ヲ課シテ居リ、又市町村ガ百分ノ二百ヲ超エタ課率ヲ用ヒテ居ルトシマスレバ、是ハ負擔ガ過重デアルト云フコトニナルト思フノデアリマシテ、結局是ハ地方施設ト、其ノ團體ノ賦課率トヲ睨ミ合セテ負擔ノ過重ナリヤ適當ナリヤト云フコトヲ考ヘテ行カケレバナラヌト思フノデアリマス、ソコニ地方自治ノ妙味ガアリ、又財政監督ノ上手下手ガアルト思フノデアリマスノデ、今回ノ制度ニ於キマシテハ法制ノ上ニ於テハ最高限ト云フモノハ定メテ居ナイノデアリマス、地方團體自身ヲシテ適正ナル賦課率ト云フモノヲ考慮セシメタイト考ヘテ居リマス、サウシテ其ノ賦課率ニ付テ若シ法律ニ於テ一應定メマシタ賦課率ヲ超エル場合ニ於テハ、ソレガ果シテ其ノ團體ノ施設ト鈞合ツテ居ルカドウカ、又其ノ負擔ガ適當ナリヤ否ヤト云フコトハ、監督官廳ガ十分ニ各方面カラ資料ヲ集メ研究ヲ致シマシテ、ソレニ對シテ許可ヲ與ヘル方針デアアルノデアリマス、不當ナル課稅ニ付キマシテハ許可ヲ致サナイ、或ハ適當ナル限度ニ更正ヲシテ許可スルト云フコトニシテ、此ノ三收益稅ノ彈力性ト云フモノヲ適當ニ運用シテ行キタイト考ヘテ居ルノデアリマス、尙ホ三收益稅ノ中デ御話ノ通り最モ伸張性ヲ持ツテ居リマスノハ營業稅デアリマス、現行法ニ依ル營業稅附加稅ハ道府縣市町村ヲ通ジマシテ一億三千万圓デアリマスカ、改正法ニ依リマズレバ二億九千万圓ノ基礎額ニナリマス、隨テ其ノ伸縮性ハ今回ノ改正法ノ方ガ餘程強イ稅ニナルト云フコトモ併セテ御考ヲ願ヒタイト思ヒマス

○**小見山委員** 私ハ營業稅ノ附加稅ガ伸縮性ノアルコトハ十分承知シテ居ルノデアリマス、唯其ノ伸張性ノアル營業稅ノ附加稅ハ不幸ニシテ地方農山漁村ニ少ク、伸張性ノ最モ乏シイ土地ト家屋ガ地方ニアルカラ、私ハ地方ノコトヲ考ヘテ心配シテ御尋シタノデアリマス、又三附加稅ノ最高限度ヲ先ヅ一應府縣ニ於テハ百分ノ百、市町村ニ於テハ百分ノ二百、更ニ二百四十マデハ法令ニ示サレタ場合ニ許可ナクシテ増徴スルコトガ出來ル、其ノ上ハ無制限ダト云フ、其ノ無制限ガ困ル、是ガ將來恐ルベキ禍根ニナルト私ハ申シタノデアリマスカ、御答辯ノ趣旨ヲ要約致シマス、ソコガ面白イダ、ソコニ融通性ガアル、果シテ適當ナ施設ヲシテ居レバ課率ノ増進モ認メル、不適當ナラバ許可ヲシナイ、ソコニ監督上ノ面白味ガアル、斯ウ仰シヤル、成程是ガ完全ニ行ハレルナラバソレモ宜シイ、總テノコトガ監督官廳ノ頭ニ依ツテ左右サレテ、地方自治ガ旨ク運用サレルナラバ元來法律規則ハ要ラヌ、ドウシテモ人間ト云フモノニハ色々ナ間違ヒガアル、能アリ不能アリ、善アリ惡アリ、各種ノ人ガ錯綜シテ社會ヲ構成シテ居ル、何方故ニ法律ヲ作ルカト云フト、サウ云フ人ガ惡イコトガ出來ナイヤウニ作ルノダカラ法律ハ要ル、アナタノ今ノ御議論ハ、官吏、監督官廳ニ萬能性アリト云フコトヲ前提トシテノ御議論ニ過ギヌ、私共ハアナタヲ非常ニ尊敬モシ信用モスルガ、遺憾ナガラ日本ノ監督官廳ニ於ケル官吏ハ萬能ナリナドト云フ前提ノ下ニ於テ出來タ法律ニハ贊成出來ナイ、決シテ萬能デアナイ、萬能デアナイドロカ、吾々ハ今日此ノ官吏ノ中ニ變ナ思ハシキ、色々ナルベカラザル風

説モ聞ク、所謂官僚獨善ノ聲ガ朝野ニ滿チテ居ル、今日之ヲ萬能ナリトシテ、之ヲ前提トシテ法律ニハ吾々ハドウシテモ贊成スルコトガ出來ナイ、今日贊成不贊成ヲ言フノデハアリマセヌガ、之ニハ同意ガ出來ナイ、今日ハ昔ノ徳川時代ノヤウナ惡代官ガ居ツテ、ウント取ルヤウナコトハアリマスマイガ、併シサウ云フコトガナイヤウニ此ノ法治國ニ於テハ法律ヲ決メテ、少クモ土地及ビ家屋ニ對スル課税ノ最高限ノ見透シ、最高限ノ標準ヲ付ケナイデ放置シテ、無制限ニ監督官廳ノ認定ニ依ツテ之ヲ定メルト云フコトハ、非常ニ危險千萬デアツテ、是ハドウシテモ最高限ヲ或ル方法ヲ決メテ置カナイレバイカヌト思フ、先刻申ス通り今日デハ百分ノ五百トカ、百分ノ三百トカ云フコトヲ決メルノハ困難デアリマセウガ、四年ヤツテ見テ後デナケレバ出來マスマイガ、併シナガラ何カ先刻申ス通り、其ノ町村團體ノ歳入ノ何割、或ハ稅收入ノ何割ヲ超ユベカラズ、コンナ風ニシナケレバ私ハ非常ナコトニナルト思フ、之ヲドウスレバ宜イカ、何處ニ最高限度ヲ豫想シテ決メテ置カナケレバナラヌカト云フ、其ノ程度、其ノ方法ハ此ノ後數日ノ間ニ研究シタイト思ツテ居ルガ、アナタノ方デモ御考ニナツテハドウカ、何カソコニ最高限度ノ目安ヲ立テテ置ク必要ガアルト思ヒマス、アレバ何トカソレヲ考慮シテ見ヨウト云フ御考ハアリマセヌカ、此ノ點ヲハツキリ伺ヒタインデアリマス。

○**換間政府委員** 別ニ賦課率ニ制限ヲ設ケズ、一定ノ監督ノ標準トシテ百分ノ百、百分ノ二百ト云フコトヲ規定致シマシタコトハ、私ノ言葉ガ或ハ不十分デアツタカモ知

レマセヌガ、私ハソコニ地方自治ノ妙味ガアリ、監督ノ善惡良否ガアルト云フヤウニ申上ゲタト思フノデアリマス、決シテ之ニ依ツテ官僚獨善ト云フコトヲ申上ゲタノデハナクシテ、監督ノ善惡良否ガソレニ依ツテ現ハレルノデアツテ、此ノ規定ハ地方自治ノ妙味ヲ十分發揮セシムル積リデアアル、詰リ地方議會ガ其ノ團體ニ於テドノ程度ノ賦課ヲ致シタイカト云フコトヲ、團體施設ト祝ミ合ツテ十分研究ノ上地方議會ニ於テ議決ヲスルト云フコトヲ吾々非常ニ尊重致シマシテ、斯ウ云フ制度ヲ立テタノデアリマス、最高限ヲ定メルト云フコトニ付テノ御心配モ吾々十分拜承スルノデアリマスガ、此ノ立テ方ニ依リマシテ十分地方自治ヲ尊重シ、又監督官廳ト致シマシテハ、最モ適正ナル監督ヲ致シマシテ、地方財政ヲ導キ、地方自治ヲ伸張セシメルヤウニ進メテ行キタイト考ヘテ居ルノデアリマス。

○**小見山委員** 此ノ點ハ幾ラ押問答シテモ同ジデアリマスガ、假ニ私ガ村ノ町村民デアリ、アナタガ何處カノ監督官廳ノ長官、假ニ府縣知事デアルトスレバ、アナタノヤウナ立派ナ人ガ居ツテ、サウシテ私ガ斯ウ云フ申請ヲシタ場合ニ、自分ノ方ノ村ハソレデ適當ダト云フ話ガ付クカモ知レナイ、併シ先刻カラ申シマス通り、地方ニ於テ各種ノ施設ヲ致スノニモ、見様ニ依ツテハ是ガ緊急ノ專業デアルカ、不急ノ專業デアルカ異ル、又才役人ハ其ノ人ノ氣風ニ依ツテ違フ、ドウシテモ百分ノ百、百分ノ二百、或ハ二百四十、斯ウ云フ課率、ソレ以內ハ構ヒマセヌ、ソレ以上ニ今後伸張スベキ場合ニ監督官廳ノ監督上ノ面白味ニ依ル、融通性ニ依ル、監督官廳ノ認定ノミニ依ツテ之

ヲ決スルト云フコトハ、私ハドウシテモ承服出來ナイ、ドウシテモ之ニハ最高限度ヲ決メテ置カネバナラヌト思フ、先刻申ス通り、ハツキリ數字ヲ以テ現ハスコトガ出來ナケレバ、茲ニ抽象的ノ一定ノ制限ヲ定メテ置カナケレバナラヌト私ハ思フテ居リマス、サウ云フ必要ガナイカアルカト云フコトヲ私ハ御尋申シテ居ルノデアリマス、モウ一度御答ヲ願ヒマス。

○**三好政府委員** 只今ノ問題ニ付キマシテハ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ戴イタラドウカト思フノデアリマス、地方稅ノ働キト言ヒマスカ、之ヲ分ツテ見マスト二ツノ側面カラ觀察シナケレバナラヌノデアリマシテ、一ツハ國民ノ稅負擔タル性質、一ツハ地方財源タル性質ヲ持ツテ居ル、斯ウ云フノデアリマスガ、若シ地方稅ノ取扱ヲ國民ノ稅負擔タル見地カラノミ考ヘマスト、負擔ノ均衡ト云フコトノミニヤカマシク重點ヲ置キマシテ、隨テ地方財源タル側面ノ性質ヲ稍、蹂躪スルト云フ問題ニ相成ルカト思フノデアリマス、又地方財源タル側面ノミニ重點ヲ置イテ考ヘマスト、國民ノ稅負擔タル側面ト云フモノガ蹂躪サレト云フコトニ相成ルノデアリマシテ、此ノ兩側面ヲ如何ニシテ調和スルカト云フコトガ、地方稅制上ノ一ツノ問題デアルト思フノデアリマス、例ヘバ還付稅附加稅ト云フ形式ニ於テ三收益稅ノ地方財源トスルノハ怪シカラヌ、是デハ地方財源ノ自主性ハナイデハナイカ、獨立稅ニシタ方ガ宜イデハナイカト云フ御意見ガ過日來アルノデアリマスガ、是ハ技術的ノ問題ト致シマシテ、賃賃價格ノ調査等ヲ個々ノ團體ニ於テヤリマスナラバ、課稅標準ガ不統一ニナリ、負擔ノ不均

衡ト云フコトガアリマス、隨テ技術的ニ困難ナ問題デアリマスカラ、地方財源タル側面ヨリモ、寧ロ國民ノ稅負擔タル側面ニ重キヲ置イテ、負擔ノ均衡ト云フコトニ重點ヲ置イテ還付稅附加稅ノ形式ニシテ、實體ヲ地方財源トシテ、獨立稅トシテ扱ツタト同ジ效果ヲ擧ゲサセル、斯ウ云フ考デ、還付稅附加稅ノ形式ヲ執ルト云フコトガ考ヘラレルノデアリマス、之ニ依ツテ地方財政ノ自主性ト云フモノガ毫モ損ハレナイ、地方財政ノ自主性、是ハドウ云フコトカ、吾等ノ考ニ依リマスレバ、地方團體ガ自分ノ意思デ稅收入ヲ上下シ得ルト云フコトデアリマス、其ノ點ヲ考ヘテ見テ一應サウ云フ制度ヲ立テマシタ上デ附加稅ノ課率ヲ上ゲ下ゲスルト云フコトハ、是ハ地方團體ノ自由意思ニ成ベク任サナケレバナラヌ、是ハ言ヒ換ヘレバ國民ノ稅負擔タル見地ヲ比較的輕ク見テ、地方財源タル性質ノ方ヲ重ク見ル扱ヒデアリマス、ナゼサウ云フ風ニ扱フカト言ヘバ、結局是ハ地方自治ニ對スル信頼ノ問題ニ歸著スルカト思フノデアリマス、若シ地方團體ト云フモノガマルデ無茶ヲヤルノダ、得手勝手ナコトヲヤルモノダト云フコトヲ前提ニ致シマスルナラバ、一定ノ率以上ハ絕對ニ取ラサナイト云フヤウナ制限ヲ設ケルコトハ、是ハ必要デゴザイマセウ、併シナガラ現在一萬數千ノ市町村ト云フモノハ、色々非難ハゴザイマスケレドモ、大多數ハ眞面目ナ團體デアリマス、中ニハ少數ノ不都合ナコトヲスル所ハ勿論ゴザイマスケレドモ、大多數ハ眞面目ナ團體デアリマス、而モ官僚獨善デヤルノデハアリマセヌ、地方自治ノ運營ハチヤント市町村會ガアリマシテ、此ノ市町村會ガ議決

ハ、私ノ言葉ガ或ハ不十分デアツタカモ知

シテヤルノデアリマス、隨テ地方自治ヲ尊重シ、議會主義ヲ信賴スル限リニ於キマシテハ、サウ云フモノニ付テ法律デ以テ強制的ニ強イ制限ヲ設ケル必要ハナイ、併シナガラ一面多數ノ團體ノ中ニハ、或ハ無茶ナコトヲヤルモノガ起リマセウ、其ノ無茶ヲ如何ニシテ防グカト云フコトハ、法制ニ依ツテキチントシテ制限ヲ設ケテ防グト云フ問題デナクシテ、ソレハ監督官廳ノ裁量ニ依ツテ防止スルト云フ考ヘ方デアリマス、サウ云フ考ヘ方デゴザイマスルガ故ニ、獨リ此ノ附加稅ノ賦課率ニ付テ最高ノ制限ヲ定メナイノミナラス、獨立稅ニ付キマシテモ、稅種ノ選擇或ハ賦課率ノ盛リ方等ニ付テ制限ノ規定ヲ置イテ居ラナイノデアリマス、要スルニ此ノ問題ハ地方財政ノ自主性ヲ如何ニ尊重スルカ、或ハ地方自治ヲ如何ニ尊重シ、議會主義ヲ如何ニ信賴スルカト云フ問題ノ考ヘ方ニ依ツテ、自ラソコニ定マル問題デハナイカ、又サウ云フ風ニ見ナクテハイケナイノデハナイカ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○小見山委員 今ノ御答辯デ、三收益稅ニ對スル根本的原則トモ言ヒマスルカ、ソレガ稍、分リ掛ケテ來タノデアリマス、私ハ今ノ御話ヲ御聽キスルト、地方財政ニ自主性、獨立性ヲ認メサセタイ、其ノ自主性ヲ認メルニ付テハ還付稅モ、是ハ一ツノ獨立稅ト見ネバナラナイ、其ノ附加稅モ尙更特殊ノ自主性ヲ帶ビタル獨立稅デアルト云フ見地カラ、此ノ三收益稅ニ制限ノナイ、其ノ地方ニ即應シタル伸縮性ヲ持タセルト云フ御趣旨ノヤウニ今拜聽致シマシタ、ソレハサウデアリマセウ、又一面カラ見マスルト、今日マデハ戶數割ガ謂ハバ唯一無二

ノ自主性ノアツタ獨立稅デアツタノデアリマスガ、此ノ戶數割ナルモノハ、唯其ノ人ノ所得或ハ其ノ人ノ資産等ヲ目標トシテ、餘リハツキリシナイ標準デ、一定ノ課稅標準ナクシテ、大部分ハ見立テテ課稅致シテ居ツタ、之ニハ弊害ガアルカラ、其ノ戶數割ノ長所トモ言フベキモノヲヤハリ之ニモ活力ス爲ニ、何カソコニ課稅ノ標準ガナケレバナラヌカラ、三收益稅ヲ假ニ課稅ノ標準ト定メル、此ノ附加稅ノ増減ニ依ツテ從來ノ戶數割ノ有シテ居ツタ獨立性ヲ之ニ持タセルト云フコトニ私ハ今聽キマシタ、ソレハソレデ宜シイ、サウスレバ、此ノ目的ハ家屋稅ノヤウナ一定セザル標準ニ基イテ課稅スルコトハ、大キナ弊害缺陷ガアルカラ何カ——何デモ宜イ、幸ヒ此ノ三ツノ收益稅ヲ稅ノ據トコロ、之ヲ稅ノ標準トシテヤルト云フコトニナリマス、其ノ意味カラノ附加稅デアレバ、此ノ稅ノ根源デアル土地ノ收益、家屋ノ收益ト云フモノハ度外シテ掛ルコトニ理論上ナリハシナイカ、隨テ無制限ニ是ノ伸張ヲ認メルト云フコトニ歸著スルノデハナイカ、今ノ御說明カラスルト、私ハサウ考ヘラレルノデアリマス、即チモウ一遍繰返シテ申シマス、唯其ノ地方ニ於ケル稅源ヲ一定ノ標準ノナイ所ニ戶數割ノヤウニ課稅スルコトハ、非常ナ不都合ガ起リ、弊害ガ起ルカラ、何デモ宜イ、幸ヒ此ノ三ツノ收益稅ヲ一應ノ課稅ノ標準トスル、之ヲ據ドコロトシテ、此ノ附加稅ヲ伸縮自在ニ賦課スル、隨テ此ノ收益ハ其ノ場合問題デナイ、土地カラ擧ル收益ハ問題デハナイ、家屋カラ擧ル收益ハ問題デハナイ、其ノ地方ノ財政事情ニ應ジテ幾ラデモ課ケルト云フコトニ理論上歸著スルト私

ハ思フ、サウ云フコトニナルノデアリマスカ、是ハ理論ノ問題デアリマス

○三好政府委員 御話ノヤウニ制度ダケヲ眺メマスレバ、收益如何ニ拘ラズ無限ニ此ノ三收益稅ノ附加稅ヲ増率シテ行クト云フ形ニ相成ツテ居ル譯デアリマス、併シナガラソレガ善イカ惡イカト云フ問題ニナリマスナラバ、收益ノ程度ヲ超シマシテ過重ニ稅ヲ課ケルコトハ、是ハ宜シクナイト思ヒマス、併シサウ云フ無理ナ負擔ヲ地方團體ガヤルカヤラヌカト云フ地方自治ニ對スル信賴ノ問題ニナリマスレバ、サウ云フ無理ハヤラナイノガ通例デアラウ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル譯デアリマス、ナゼナラバ從來ノ制度ニ於キマシテハ、分與稅制ノ如キモノヲ採用致シテ居リマセヌ關係上、經費ハ要ル、ドウシテモ財源ヲ工面シナケレバナラヌト云フコトニ相成リマスルト、負擔上無理ガアリマシテモ、戶數割ニ持ツテ行クヨリ外仕樣ガナイト云フコトガアツタト思ヒマス、併シナガラ今回ノ改正案ニ於キマシテハ、普通ノ經費ヲ拂ツテ行クニ付キマシテハ、綜合シテ稅收入ガ大體普通ノ負擔程度デヤツテ行ケル、各團體トモサウ云フ收入デ賄ガ付クト云フ仕組ニ一應致シテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ、三收益稅ノ附加稅ヲ高ク取ル場合ハドウ云フ場合カト申シマス、或ハ災害、傳染病等ノ場合ニ於キマシテ、増徴致スコトモゴザイマセウ、併シナガラサウ云フ異例ノモノヲ除キマシテハ、ドウ云フコトデアルカト云フト、其ノ團體ガ餘所ノ團體ニ比較シテ比較的澤山ナ仕事スルト云フ場合ニ相成ル譯デアリマス、若シ團體ガ餘所ノ團體ニ比較シテ澤山ナ仕事スルト云フコトニナリマ

スレバ、先程局長モ申上ガマシタ通り、其ノ團體ノ負擔ハ餘所ノ團體ノ負擔ニ比ベテ、少々高クテモ宜シイ、仕事ヲ澤山シテ居ル所ガ課率ガ高イ、仕事ヲ少クシテ居ル所ガ課率ガ低イト云フコトガ負擔ノ均衡ヲ得テ居ルノデアアル、斯ウ云フ風ニ考ヘラレタルノデアリマス、今回ノ稅制ノ改正ニ於キマシテハ、要スルニ仕事ヲ澤山スレバ其ノ團體ハ負擔ヲ澤山シテ貫ハナケレバヤツテ行ケナイ、團體ノ自治ノ方針ニ依リマシテ、自分ノ團體ハ稅ハ高クテモ仕事ヲ澤山ヤラウト云フナラバ、高ク取ルコトモ出來ル、又團體ノ自治ノ方針ニ依リマシテ、仕事ハシナクテモ稅ガ安イ方ガ宜シイト云フ所ハ、仕事ヲシナイデ小デシマリヤツテ行ケルヤウニシヨウ、斯ウ云フコトガ狙ヒニナツテ居リマス、隨テ地方自治モ亦サウ云フ行キ方ヲ認メマス以上ハ、數字デ見マシタ賦課率ノ間ニハ食違ヒガ各團體毎ニ出テ來マスクレドモ、其ノ違ヒハ仕事ト關聯シテ見マス、均衡ヲ得タモノデアアル、違ツテ居ル方ガ却ツテ均衡ヲ得タモノデアルト云フ制度ニ相成ルノデアリマス、サウ云フ見地カラ眺メマスタラバ制度上一應無制限ニナツテ居リマスケレドモ、サウ無茶ナ負擔ヲ課ケルコトハシナクテ濟ムコトデアルカラ、隨テサウ云フ無茶ヲヤルコトハ起ラナイデハナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘラレルノデアリマス

○小見山委員 私ハ別ニ其ノ地方制度ニ於ケル突發的財政需要ノ場合ヲ言ツタノデハナイ、此ノ後十年ト共ニ地方ノ財政ハ膨脹スル、又膨脹シナケレバ地方デハヤツテ行ケナイ、一般的ニ自然的ニ膨脹スル場合ハ今豫想シテ居ルヤウナモノデ行クカドウカ分ラナイ、今申シタヤウナ收益稅賦課率デ

スレバ、先程局長モ申上ガマシタ通り、其ノ團體ノ負擔ハ餘所ノ團體ノ負擔ニ比ベテ、少々高クテモ宜シイ、仕事ヲ澤山シテ居ル所ガ課率ガ高イ、仕事ヲ少クシテ居ル所ガ課率ガ低イト云フコトガ負擔ノ均衡ヲ得テ居ルノデアアル、斯ウ云フ風ニ考ヘラレタルノデアリマス、今回ノ稅制ノ改正ニ於キマシテハ、要スルニ仕事ヲ澤山スレバ其ノ團體ハ負擔ヲ澤山シテ貫ハナケレバヤツテ行ケナイ、團體ノ自治ノ方針ニ依リマシテ、自分ノ團體ハ稅ハ高クテモ仕事ヲ澤山ヤラウト云フナラバ、高ク取ルコトモ出來ル、又團體ノ自治ノ方針ニ依リマシテ、仕事ハシナクテモ稅ガ安イ方ガ宜シイト云フ所ハ、仕事ヲシナイデ小デシマリヤツテ行ケルヤウニシヨウ、斯ウ云フコトガ狙ヒニナツテ居リマス、隨テ地方自治モ亦サウ云フ行キ方ヲ認メマス以上ハ、數字デ見マシタ賦課率ノ間ニハ食違ヒガ各團體毎ニ出テ來マスクレドモ、其ノ違ヒハ仕事ト關聯シテ見マス、均衡ヲ得タモノデアアル、違ツテ居ル方ガ却ツテ均衡ヲ得タモノデアルト云フ制度ニ相成ルノデアリマス、サウ云フ見地カラ眺メマスタラバ制度上一應無制限ニナツテ居リマスケレドモ、サウ無茶ナ負擔ヲ課ケルコトハシナクテ濟ムコトデアルカラ、隨テサウ云フ無茶ヲヤルコトハ起ラナイデハナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘラレルノデアリマス

○小見山委員 私ハ別ニ其ノ地方制度ニ於ケル突發的財政需要ノ場合ヲ言ツタノデハナイ、此ノ後十年ト共ニ地方ノ財政ハ膨脹スル、又膨脹シナケレバ地方デハヤツテ行ケナイ、一般的ニ自然的ニ膨脹スル場合ハ今豫想シテ居ルヤウナモノデ行クカドウカ分ラナイ、今申シタヤウナ收益稅賦課率デ

ハ足ラナイ、其ノ場合ハドウシテ行クカ、天災火災ガ起ルト云フバカリデハナイ、或ハ一時的ノ大キナ土木事業ヲ起スト云フヤウナ場合バカリデモナイ、全體的ノ場合ニドウスルカト云フコト御問シタノデアアル、併シ此ノ善シ惡シハ別トシテ、アナタノ立案ノ趣旨ハハツキリ分リマシタ、是ハ言葉ヲ換ヘテ言ヘバ戸數割ノ代リデアアル、戸數割ト云フ一ツノ本尊デハイケナイモノデアアル、三收益稅ト云フ三ツニ分ケテ、其ノ三ツヲ中心トシテ、斯ウ云フモノニシヨウ、彈力性ヲ認メヨウ、斯ウ云フコトニナル、サウスルト戸數割ト變ラナイ、是ハ無制限ニ出來ル、出來ルガサウハシマイ、斯ウ云フ御説デアアルガ、私ハサウスルト思フ、戸數割デスラ殆ド無制限ニ課ケテ來タ、無制限ト云ツテモ許可ガナケレバ出來マセヌガ、實際上ノ需要ガアレバ監督官廳モ許可シナイ譯ニハ行キマセヌカラ、無制限ニ許可シテ行ク、此ノ三收益稅モ結局ハ無制限ニナル、非常ナ將來苛斂誅求ニナリハシナイカ、苛斂誅求ト云ツテモハ別ニ國稅デハナイ、地方民ガ自ラ甘シジテ苛斂誅求ヲ受ケルノデアリマスカラ、ソレハ其ノ人ノ自治性、自主性ガ其處ニアルト云ヘバサウデアリマスカ、是ハ恐ラク結局ハサウナツテ行ク、戸數割ダツテ同ジデス、戸數割ダツテ澤山其ノ町村デ仕事ヲスレバ戸數割ガ膨脹シテ、各自ノ懐ロカラ税金ノ出ルコトハ分ツテ居リナガラ、今日マデ戸數割ハ膨脹シテ來テ居ル、是ハヤハリ少シモ變リハナイ、是ダケ分レバ私ハ結構デアアル、是レ以上ハ意見ノ相違デアルカラ、是レ以上ノコトハ後申上ゲマス、私ノ見ル所デハ今假ニ定メラレタ地租附加稅、家屋稅附加稅トモ、是ハ

實際昭和十二年、十三年、十四年ノ最近二年ニ比ベテ輕イ、確ニ輕イ、數字カラ見マシテモ昭和十三年ノ地租及ビ其ノ附加稅ノ調定額ハ一億四千八百万圓、平年度ハ一億一千八百万圓デアリマスカラ、是ハ三千万圓位マダ餘力ガアル、家屋稅及ビ其ノ附加稅ガ昭和十三年ハ一億二千三百万圓、今度ハ平年度一億五百万圓、是モ一千何百万圓カノ餘力ガアル、是ハ最近ノ現行法ニ於ケル課稅能力ヲ限度トシテモ、亦率カラ云ツテモ、マダ相當ノ專實餘裕ガアルガ、併シ此ノ位ノ餘裕ハ直チニ踏破ツテシマフ、是ダケノ餘裕ヲ見セテ居リマスカ、モウ數年ナラズシテ此ノ從來ノ率ハ踏割ル、戸數割ノ代リニドン／＼上ツテ行ク、ソコニ私ハ危險ガアルカラ理論上カラ言フト、アナタノ言フノハ明晰デ、學理ニ即應シタ理論デアリマスカ、實際ハ恐レベキ結果ニナルト思フノデアリマスカ、此ノ點ハ此ノ儘ニシテ置ク方ガ宜イト御考ニナリマスカ、セメテ最高限度ダケハ其ノ土地、其ノ家屋ノ收益ノ最高限度マデ課ケルカ、或ハ收益ノ最高限度ヲ超エテモ宜イト云フヤウニ此ノ原則ハ行ケルガ、ソレヲ抛ツテ置イテ宜イノカ、モウ一遍ソコノ所ヲ伺ヒマス

○挾間政府委員 度々申上ゲタノデアリマスカ、更ニ附加ヘテ申上ゲタイ、小見山サンノ御心配ハ、三收益稅ト云フモノガ大體地方財政ノ收入ノ全部ヲ「カバ」スルト云フ場合デアレバ、モウ全ク御心配ノ通りデアルト思ヒマス、先年此ノ分與稅ヲ考案セズシテ地租、營業稅ヲ地方ニ委讓スルト云フ立案ヲ政府ガ致シタコトガアリマス、其ノ場合ニ於テノ心配ハ小見山サンガ御心配ニナリマシタ通りデアリマス、課稅力ノ非常ニ弱イ團體ニ於テハ、財政上ノ必要ニ應ズル爲ニハ、ドウシテモ此ノ地租、營業稅ト云フモノヲ非常ニ高率ニ課ケナケレバ團體ノ財政需要ニ應ズルコトハ出來ナイ、斯ウ云フコトニナリマスノデ、貧弱ナル團體ニ於テハ益、負擔ガ過重ニナルト云フ非常ナ缺點ガアツタノデアリマスガ、今回ノ稅制ニ於キマシテハ、團體ノ財政需要ニ即應スル爲ニハ、獨立財源ト、一面ニ於テ調整財源トシテノ配付稅ガソレニ按排シテアルノデアリマス、配付稅ハ法人稅ト所得稅ト云フヤウナ有力ナル財源ガ配置シテゴザイマスカラ、ソレニ對スル減收ノ場合ハ、先程申上ゲマシタヤウニ率ノ變更モ必要ト思ヒマスガ、大體ニ於テ此ノ社會情勢ニ於テハ、所得稅、法人稅等ハ漸次自然增收ガアルト、斯ウ見得ルト思ヒマス、サウシマスソレニ依ツテ相當ノ增收ガアリ、地方團體ノ財政需要ニ相當ニ應スルコトガ出來ルト思フノデアリマス、ソレト此ノ三收益稅ト云フモノガ一緒ニ組合ツテ、地方團體ノ財政ノ經理シテ行クコトニナルノデアリマス、更ニ今回ノ三收益稅ノ稅率ト云フモノハ、現在ノ稅制ニ於ケル各課稅ヲ見マシテ、其ノ制限外課稅ヲ致シテ居リマスカラ、言葉ヲ換ヘテ上デ課率ガ定メテアルノデ、言葉ヲ換ヘテ申スト、昭和十五年度ニ於テ各團體ガ其ノ財政需要ニ應ズル所得稅附加稅ニ致シマシテモ、營業收益稅ノ附加稅ニ致シマシテモ、地租、家屋稅、總テ其ノ制限及ビ制限外ノ課稅モ包含シタモノヲ以テ財政需要ガ是ダケアル、ソレヲ「カバ」スルノニハ十億三千二百万圓デアルト云フノデ、此ノ數字ガ出テ居ルノデアリマスカラ、大體ニ於テ昭和十五年ニ於テハ十億三千二百万圓ト云フモノガ

アレバ、ソレデ必要ナル施設ハ全部出來ル、斯ウ云フコトガ十分保證出來ル譯デアリマス、ソコデソレニ加ヘテ制限外課稅ト申シマスカ、此ノ百分ノ百、百分ノ二百ト云フモノニ對スル超過課稅スルト云フコトニナリマスレバ、サウ御心配ニナルヤウニ、非常ニ超過ヲ致サナイデモ、必要ナル施設ヲ其ノ團體ガヤルト云フ場合ニハ、僅少ナル超過ヲ以テ十分其ノ財政ノ需要ニ應ズルコトガ出來ルト思フノデアリマシテ、是ガ驚異的ナ超過ニナルト云フコトハ、吾々此ノ立案ヲ致シマシタ計數ノ上カラ考ヘマスト、先ヅ豫測スル必要ハナイノデハナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマスカラ、折角ノ御尋ゴザイマスカ、各稅ニ付キマシテ最高限ヲ法定スル必要ハナイト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○小見山委員 其ノ點ハモウ大體趣旨ハ分リマシタ、私ハ贊成出來マセヌケレドモ、分リマシタ、唯今地方ノ財政ハ此ノ附加稅ノミデ「カバ」サレテ居ルモノデハナイト云フ御説デアリマス、成程此ノ附加稅バカリデハアリマセヌガ、町村ノ例カラ見マシテモ、町村ノ財源トシテ四億九千六百万圓ノ内三億七千二百万圓ト云フ驚クベキ重要部分ガ附加稅ト獨立稅デアアル、獨立稅ト云フモノハ極ク僅カデアアルカラ、三億六七千万圓ハ附加稅デアアル、決シテ全部デハナイガ、重要部分デアルト云フコト、ソレカラ十億數千万圓ノ現在ノ數字ハ、是ハ明年或ハ明後年ノ目前ノ一兩年ノ間ノ數字デアリマシテ、私ハソナコトデハナイ、ココ三年五年、七年十年經ツタ時ニ、自然的膨脹ノ場合ハドウデアアルカト云フコトデアリマスカ、其ノ點ダケハ打切りマス、唯簡單ニ私モウ

一點御尋シテ置キマス、今度ノ稅制改革ニ依ツテ從來行ハレテ居ツタ三部制ノ府縣ニ於テ此ノ三部制ナルモノガ撤廢サレルノハ當然デアリマス、併シ私共ノ聞ク所、私共ノ見ル所デハ、是ハ心ズ相當ノ摩擦混亂ガ起ル、之ニ付テハ事前ニ相當ナ工作ヲシ、諒解ヲ得、調停ヲシテ居ルノデアルカ、例ヘバ郡部ニ於テ澤山ノ郡部債ヲ持ツテ居ル、市部ハ比較的ニ少イ、或ハ財産ニ於テモ非常ナル違ヒガアル、サウ云フモノニ依ツテ生ズル紛亂ダケハ是ハ何トカシナケレバナラヌガ、突如トシテ地方稅制ノ改革ト共ニ此ノ三部制ガ廢止サレラバ、今殘ツテ居ル愛知縣及ビ兵庫縣ハ必ズ相當ノ混亂ガ起リ、相當ノ摩擦ヲ生ジ、相當ナル不幸ヲ見ルト私ハ思ツテ居リマスガ、之ニ對シテハ相當ノ用意ト、見透シガ付イテ居ルノデアルカト云フコトヲ御尋シタイノデアリマス

○**揆間政府委員** 三部制廢止ノ問題ハ、此ノ稅制改正ニ伴ヒマシテ、先ヅ吾々ハ必然的ノ問題デアルト考ヘテ居リマス、ソレデ此ノ稅制改正ヲ立案致シマシタ前後カラ、此ノ問題ハ話ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、實ハ地元ノ縣ノ方デ三部制ノ廢止ニ付キマシテハ、當初反對ノ意向ガゴザイマシテ、其ノ熱ガ中々冷メナカツタノデアリマス、唯結論ト致シマシテ、今回ノ分與稅制度ガ立テラレテ參リマス、稅制ノ理論ノ問題ト致シマシテ、又此ノ分與稅ノ技術ノ問題ト上カラ考ヘマシテ、此ノ三部制ヲ存置スルト云フコトハ結局出來ナイ譯デアリマス、ソコデ結論トシマシテハ、三部制ハ之ヲ廢止スルト云フコトハ必然的ノ問題デアルト思フノデアリマス、併シナガラ然ラバ

此ノ稅制ヲ施行スル時ニ、無條件ニ三部制ヲ廢止シテ宜シイカト云フコトニナリマス、吾々左様ニハ考ヘテ居ナイノデアリマス、ト申シマスノハ、今御述ニナリマシタ通り、市部、郡部ト云フモノガ別箇ノ經濟的ノ團體トシテ、今財政經理ヲ致シテ居ルノデアリマスカラ、其ノ間各事情ガ異ツテ居ルノデアリマス、隨テソレヲ一體ノ經濟團體ト致シマス爲ニハ、ソコニヤハリ經過的ニ適當ナ善後措置ガ必要デアルト考ヘテ居リマス、稅制改正ニ伴フ必然ノ結果トシテ、三部制ヲ繼續スルト云フコトハ出來マセヌガ、之ヲ廢止スルニ必要ナル善後措置ニ付テハ、政府トシテモ適當ナル手段方法ヲ講ジナケレバナラナイ、無論ソレニハ事業ノ配分ノ問題モアルト思ヒマス、又市部債、郡部債ノ善後措置ノ問題モアルト思ヒマス、其ノ他色々行政的ノ措置ノ問題モアルト考ヘルノデアリマスガ、何レニ致シマシテモ、是等ハ地元ノ縣當局ニ於キマシテ適當ナル案ヲ考究シタ上デ、縣會ノ議決ヲ經テ決定スルト云フノガ、通常ノ筋道デアルト考ヘテ居ルノデアリマス、ソレニ對シテハ內務當局トシテモ適當ナル案ノ作成ニ付テノ協力ヲ致ス考デアリマス、先般內務大臣ヨリモ御答ヲ致シマシタ通り、關係ノ地方長官ノ會同ヲ求メマシテ、其ノ話ヲシテ、折角今善後措置ニ付テ案ヲ練ツテ居ル所デアリマシテ、其ノ成案ヲ見マシタ上デ、地元ニ於テ話合ヲ付ケテ、縣會ノ議決ヲ經テ解決ヲ圖ルヤウニシタイト考ヘテ居ルノデアリマス

○**小見山委員** 是ハ相當大キナ問題ダト思ヒマスカラ、其ノ地元ニ於ケル府縣廳ハ固ヨリ、內務省ニ於テ決シテ此ノ爲ニ將來大混亂ニ陥レ、地方ノ財政、地方ノ自治制ニ摩擦ヲ起サシメナイヤウニ御善處ヲ要望シテ置キマス、私ノ質問ハ是デ打切りマス、尙ホ大藏大臣ニ對スル分ハ、大藏大臣ノ御出席ヲ俟ツテ致スコトニ致シマス

○**內藤委員長代理** 此ノ際石井君カラ關聯事項デ御發言ガアルサウデアリマスカラ、之ヲ許シマス

○**石井委員** 先程小見山君カラ地方ノ配付稅ノ源泉デアル所得稅及ビ法人稅並ニ入場稅及ビ遊興飲食稅ニ於テ不足ヲスル、斯ウ云フ時ニハドウスルカト云フヤウナ御質問デアツタノデアリマスガ、是ハ私ハ極メテ重要ナ問題デアルト考ヘテ居リマス、之ニ對シテ先程來局長ノ御答辯デハ、適當ニ考慮スルト云フコトノヤウニ聽及ビマシタガ、此ノ點ヲモウ少シ明瞭ニ御答辯願ツテ置キタイト思ヒマス

○**揆間政府委員** 只今ノ見込ト致シマシテハ、所得稅、法人稅等ハ漸次增收ニナツテ參ルト一應考ヘテ居リマスガ、併シナガラ是ハ將來ノコトデアリマシテ、此處デハツキリト申上ゲルコトハ、無論何人モ出來ナイコトデアルト考ヘマス、併シナガラ是ハ地方團體ノ財政經理ノ問題ト、財源トノ問題ガ不可分ノ關係ニアルコトデアリマスカラ、財政收入ト云フモノハ、自然ニ財政膨脹ト財政緊縮トニ並行シテ行クモノデアルト云フコトモ一應ハ考ヘ得ル問題デアリマシテ、若シ自然增收ガ多イ場合ニハ、地方團體ノ經費モ自然ニ膨脹スルデアラウ、又自然減ヲ來ス場合ニハ、團體財政トシテモ之ニ伴フ財政緊縮ヲスルト云フノガ筋道デアルト思フノデアリマス、ソコデ茲ニ定メマシタ一定ノ率ト云フモノハ、大體是デ配付稅ガ自然減、自然増ヲ致シマスコトガ、同時ニ地方團體ノ財政經理ニ其ノ儘反映シテ行クモノデアルト、吾々ハ一應左様ニ考ヘテ居ルデアリマス、併シナガラ其ノ場合ドウシテモ減收ガ甚ダシクテ地方團體ノ財政收入ニ合ハナイト云フヤウナ場合ニハ、特別會計法ニ於テ一時ノ借入金ヲシテ、其ノ年度ノ配付稅ヲ賄フコトガ出來ルヤウニナツテ居ルノデアリマス、併シ假ニ數字ニ見込違ヒガアツタト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、其ノ率ヲ訂正スルト云フヤウナコトハ當局トシテモ考慮シテ居ルノデアリマス

○**石井委員** 大體分ツタヤウニ思ヒマスガ、數字ノ見込違ヒガアレバ訂正スル、斯ウ云フ御話デアリマシタガ、大體配付稅ノ問題ニ關スル限リニ於キマシテハ、假ニ今三億二千七百萬圓、斯ウ云フヤウニ抑ヘテアルノガ、ソレニ對シテ一割マデハ之ニ依ツテ増額シテ配付シテモ宜イ、或ハ又一割減ルモノハ辛抱シテ貰フノダ、斯ウ云フコトニナツテ居ルヤウデアリマス、ソレマデノコトハ大體豫想サレテ居リマスガ、詰リ三億二千七百萬圓ニ對スル九〇%シカナイ、九〇%以下ニナツタ場合ニハ、結局特別會計ニ於テ借金ヲシテソレヲ埋合ハセルノダ、斯ウ云フコトニナルノデゴザイマス、隨テ基本數字デアル今ノ三億二千七百萬圓ガ、所得稅及ビ法人稅ノ百分ノ十六・五五並ニ入場稅及ビ遊興飲食稅ノ百分ノ五十、是デ計算シタ高ガ三億二千七百萬圓ニ假ニナラヌト云フ場合ニハ、之ヲ増額スルノダ、斯ウ云フ風ナ御話デスネ

○**揆間政府委員** 其ノ通りデアリマス

○**石井委員** 大體分リマシタ

○内藤委員長代理 ソレデハ是デ一時休憩致シマシテ、午後一時カラ再會致シマス

午後零時十二分休憩

午後一時三十八分開議

○小山委員長 休憩前ニ引續イテ開會致シマス——内藤正剛君

○内藤委員 過日來委員會ガ屢開會サレテ、各委員諸氏カラ御質問ガアリ、當局カラモ懇切丁寧ナ御質問ガアツタノデアリマスガ、何時モソレハ先ツ金ガ要ルコトバカリノ質疑應答デアリマシテ、取立テルコトシカナイノデアリマス、非常ナ場合ニ於ケル質疑應答ガ拔ケテ居ルノヲ悲シムノデアリマス、ソコデ先ツ大體ニ於テ分與稅ノコトニ付テ御尋ヲ致シタイト思フノデアリマスガ、近來大キナ都會デハ、例ヘバ神戸デハ水害ガアリマシタシ、静岡デハ火災ガアリマシタ、其ノ他各府縣ニ大キイ災害ガアリマスガ、サウ云フ時ニハ各都市ニ於テハ稅外收入ニ依ツタモノモ澤山アルノデアリマスガ、一朝ニシテサウ云フモノガナクナルノデアリマス、サウ云フ場合ニ處スル方法トシテハ今マデノ當局ノ御説明ダケデハ救濟サレナイコトニナラウト思フノデアリマス、サウ云フ場合ニ處スル考ヘ方トシテハ今マデノ御説明ダケデ足リルデセウカ、其ノ點ヲ御伺致シタイト思ヒマス、即チ稅收入ノ對象トシテ何等稅外收入ニ付テ考慮サレテ居ラナイ、ソレニ付テ大キナ所ハ何トカナルカモ知レマセヌガ、餘リ大キクナイ所ハ隨分稅外收入ガ何百万、何千万トアル所モアル、一朝ニシテサウ云フモノガ烏有ニ歸シテシマフ譯デス、今ノ分與方法デハ一寸困ルノデハナイカ、又過日來ノ御説明カラ見ルト

平年度六百万圓位、十五年度五百万圓位ニナツテ居ルモノガアルノデスガ、サウ云フモノヲ假ニ按分シタ所デ、恐ラクハ九牛ノ一毛位ニシカ金ガ渡ラヌト思フ、ソレニ對スル當局ノ御考ヘ方ヲ一ツ御聽致シタイ

○挾間政府委員 今回ノ地方稅制改正ハ稅收入ノ對象トシテ立テタモノデアリマスカラ、稅外收入ノ問題ハ是ハ別箇ノ問題トシテ、稅制改正ノ對象トハナツテ居ナイノデアリマス、併シナガラ地方團體ノ財政ノ經理ト云フ點カラ見マスト、地方財政ヲ監督シテ居ル當局トシマシテハ、別箇ノ地方財政監督指導ト云フ立場ニ於テ、只今御述ニナリマシタヤウナ點ハ十分考慮シナケレバナラスコトデアラウト思ヒマス、例ヘバ大キナ災害ガゴザイマシテ其ノ團體ノ財政ガ非常ニ困難ニナツテ參リマシタヤウナ場合ニ付テ、一二私共想像致シマス場合ヲ例示シテ申上ゲマスト、或ル團體ガ非常ニ大キナ災害ヲ受ケタ、其ノ爲ニ團體ノ財政經理ガ非常ニ困難ニナツテ來タト云フ場合ニ於キマシテ、此ノ分與稅制ヲ以テ之ヲ救濟スルト云フコトガ果シテ適當デアリヤ否ヤト云フコトハ、其ノ災害ノ限度ニ依ツテ考ヘナケレバナラヌト思ヒマス、此ノ稅制其ノモノハサウ云フ非常ノ場合ニ付テノ財政救濟ト云フヤウナコトハ考慮ノ中ニハ入レテナイノデアリマス、無論配付稅ノ中ニ三種配付額ト云フモノガアリマシテ、特別ノ事情ヲ考慮シテソレニ對スル處置ヲ講ズルコトニナツテ居リマスケレドモ、之ニモ自ラ限度ガアルト思フノデアリマス、非常ニ大キナ災害ガアリマシタ場合、例ヘバ關東地方ノ大震災ノヤウナコトガアツタト云フヤウナ場合ニ、而モ之ヲ

今回ノ稅制自身ニ依ツテ解決スルト云フコトハ是ハ全然不可能ナ場合デアリマシテ、斯様ナ場合ニハ恐ラク特別ノ立法ヲ必要トスルト云フコトニナルノハ、過去ノ實績ニ徵シテモ自ラ明カデアルト思ヒマス、併シ其ノ程度ニ至ラザル場合ニ於キマシテハ、別箇ノ意味ニ於テノ財政救濟ノ手段ヲ考慮シナケレバナラヌカト思フノデアリマス、普通ノ災害程度ノモノニ至リマシテハ、是ハ今回ノ稅制改正ニ依ル分與稅制ノ運用ニ依リマシテ救濟ガ出來ルコトニナルト思フ

ノデアリマス、畢竟是ハ其ノ災害ノ程度、其ノ規模ト云フヤウナコトヲ各場合ニ付テ考ヘマシテ、政府トシテ對策ヲ考究スベキモノデアアルカト思フノデアリマス、尙ホ稅外收入ガ非常ニ澤山アツタ場合、其ノ特別會計收入ガ一般會計ニ繰入ラレテ居ツタモノガ繰入ラレナクナルト云フヤウナコトガアリマシタ場合ハドウスルカト云フヤウナコトニ付キマシテハ、是ハ恐ラクサウ云フ團體ハ非常ニ稅ノ課率ガ低イ團體デハナイカト思フノデアリマス、其處ニマデ財政上ノ救濟ヲ致スト云フコトハ是ハ難カシイノデハナイカト思ツテ居ルノデアリマス、斯ル場合ニ於キマシテハ其ノ團體ニ於テ急ヲ救フ爲ニ一時ノ起債ヲ致シマシテ其ノ場ヲ凌イデ行クト云フコトニセザルヲ得ナイカト思ヒマス、之ヲ更ニ今回ノ稅制ヲ適用シテ考ヘマスト、サウ云フコトニナリマシタ場合ニハ、恐ラク或ル程度ニ於テ其ノ意味ニ於ケル三種配付額ト云フヤウナモノガゾコニ働イテ來ルノデハナイカト考ヘテ居リマス

時分ニハ地方局長トシテハ相當御考慮ニナツタサウデスガ、大藏省ノ方デハ中々御採用ニナラナクテ、ソレガ爲ニ折角御配慮ニナツタコトガ潰レタト云フ話デアリマス、長局ニシテ御諒解ガアツタ事項デモ大藏省デ潰レルコトガアルノデスガ、今ノヤウナ御考ヘ方デ分與稅ノ過日カラ御示ニナツタ數額デハ、平年度ト云フモノハ極ク微々タルモノデアリマシテ、ソレヲ全國ニ割ツテ行クノデスカラ、第三種デ旨ク取計ヒガ出來ナイト思フノデアリマス、サウスレバ今マデニ御發表ニナツタ法案ノ中デ、多少修正スルヤウナ場合ニ處スル爲ニ、平生バカリ見ル譯ニハ行キマセヌカラ、非常ナ場合ニ處スル爲ニ何カ特別ノ規定デモ設ケルト云フコトニ付テ政府ハ御考ガアリマスガ、ソレハ議員ノ方デ修正スレバ之ニ同意スルト云フヤウナ御考ガアルノデスカ、一寸伺ヒマス

○挾間政府委員 具體的ノ問題ニ付テノ御尋デゴザイマスガ、静岡市ノ今度ノ火災ニ付テノ救濟手段ニ付キマシテハ、目下是ハ大藏當局ト折衝ヲ致シテ居ルノデアリマス、マダ是ガ決定ニ至ツテ居リマセヌ、先程申上ゲマシタ例ノ一ツハ、或ル團體ニ於テ其ノ團體トシテ非常ニ大キナ災害ガアツタ場合ノ方法トシテ、特別立法ニ依ル程度デハナイガ、別箇ノ財政救濟ノ手段ヲ執ル必要ガアルノデハナカラカト申上ゲマシタノハ、只今ノ静岡市ノ如キ場合ヲ御話致シタノデアリマス、詰リ今度ノ配付稅ト云フモノガ豫想シテ居リマシタ限度ヲ超エテノ災害ニ付キマシテハ、内務當局トシマシテハ別箇ノ救濟手段ヲ考慮スベキモノデハナイカト考ヘテ居ルノデゴザイマス、其ノ點ハ

大藏當局ト折衝ヲ致シテ居リマスノデ、マ
 ダ決定ニ至ツテ居ナイノデゴザイマス、ソ
 レカラ尙ホ具體的ノ問題ニ付テ御話デゴ
 ザイマシタカラ一應申上テ置キタイト思
 ヒマスガ、靜岡市ノ問題ニ付キマシテハ、
 燒失致シマシタ家屋ニ付テ家屋稅ガ取レマ
 セヌカラ非常ナ歲入缺陷ニナリマス、其ノ
 歲入缺陷ハ御承知ノヤウニ第一種配付額ノ
 單位稅額ト云フモノガ非常ニ低下致シマス
 カラ、第一種配付額ガソレニ伴ツテズツト
 増額セラレテ參リマス、其ノ意味ニ於テ相
 當ノ財政上ノ救濟ガ出來ルコトニナル譯デ
 アリマス、ソレカラ第二種配付額モハ先日
 此ノ委員會代表的ニ例示ヲ致シマシタガ、
 災害其ノモノノ救濟ト云フコトハ申上テテ
 居リマセヌガ、市町村ノ災害ガ多カッタ場
 合ニ於テ、ソレニ對スル救濟等モ考慮ノ中
 ニ入ルト云フコトヲ申上テ置キマシタガ、
 サウ云フ風ニ致シマシテ第一種配付額、又
 第三種配付額等ニ依ツテ相當救濟ノ手段ガ
 講ゼラレルコトニナツテ居リマスノデ、當
 局ト致シマシテハ此ノ案ヲ以テ十分普通ノ
 程度ノ災害等ニ對シマシテハ、團體ノ財政
 救濟ハ目的ヲ達シ得ルデアラウト思ヒマス
 カラ、此ノ案デ適當デアラウト思ツテ居リ
 マス、靜岡市ノ問題ニ付キマシテハ、今申
 上ゲマシウヤウナ理由デ別個ノ手段ヲ只今
 考究進行中デゴザイマスノデ、左様御承知
 ヲ願ヒタイト思ヒマス

○内務委員 今度ハ法文上ノ趣旨ニ付テ伺
 ヒマス、過日他ノ委員カラ自動車稅ニ付
 テ御質問ガアツタノデアリマシテ、其ノ際
 ノ當局ノ御答トシテハ、自動車ハ動ク範圍
 ガ多イカラ、成程市町村稅ニシタ方宜イ
 ト云フ理窟モ通ルコトダケレドモ、是ハ道

府縣稅ニシタ方宜イ、斯様ナ御回答ガア
 ツタノデアリマス、私ハ其ノ際關聯質問ト
 シテ、課率ガ各府縣毎ニ異ル場合ニ於テハ、
 車ガアツテハ動イタリコツテハ動イタリシ
 テ、稅ノ安イ方ヘ、安イ方ヘ車ノ籍ヲ移ス
 ト云フコトヲ申上ゲタ所ガ、當局ハソレニ
 對シテ御同意ノ意見デアツテ、成ベクサウ
 シタイガト云フコトデ、他ニ特殊ノ理窟ヲ
 御付ケニナツテ、ヤハリ自分ノ説明ガ宜イ
 ノダ、斯ウ云フヤウニ御説明ニナツタノデ
 アリマスガ、法規ノ上カラ見マスト、市ニ
 於キマシテハ、道路ノ管理權ハ市長ニ移ツ
 テ居リマスシ、隨テ府縣ガ御世話ナラヌ
 ノデアリマスカラ、難カシイコトヲ言フノ
 デハアリマセヌガ、一例トシテハ、六大都
 市ノヤウナ道路法第十七條ノ但書ノ規定ニ
 依ツテ指定致シテ居リマシヤウナ市ニ於キ
 マシテハ、特別ニ考慮スル必要ガアルノデ
 ハナカラウカ、サウシテ市内ニ籍ヲ持テバ、
 働ク場所ハ市内デアリマス、ソレハ限定サ
 レル譯デアリマセヌケレドモ、殊ニ自家
 用ノ如キモノハ、市内ヲ走ルコトガ多イノ
 デアリマシテ、唯郊外ノ宅カラ市内ニ來ル
 道筋ダケヲ市外ヲ走ル譯デアリマスノデ、
 斯ウ云フコトニ付テ色々規定ガアリマスガ、
 例ヘバ、是ハ自動車稅ニ限リマセヌガ、四
 十六條ニ致シマシテモ、或ハ五十八條ニ致シ
 マシテモ、六十一條ニ致シマシテモ、人口
 七十万以上ノ都市ニ付テハ、十分ニ考ヘナ
 ケレバナラヌト云フ人モ出來テ來ルノデア
 リマスガ、此ノ點ニ對シテ當局ノ御再考ノ
 餘地ガアルカドウカ、或ハ將來ソレニ付テ
 再考シテ見タイ、斯ウ云フ御考ガアルカド
 ウカ、或ハ今マデノヤウナ御意見ヲ、如何
 ナル場合ニ於テモ押切ツテ行クベキデア

ト云フ御考カドウカ、モウ一遍伺ツテ置キ
 タイト思ヒマス

○揆間政府委員 六大都市ニ付キマシテハ
 其ノ事情ガ他ノ中小都市ト大イニ變ツテ居
 リマスノデ、法令上特別ノ取扱ヲ致スコト
 ニナツテ居ル分モ相當アルノデアリマス、
 又更ニ進ンデハ制度全體トシテ別個ノ特別
 制度ヲ立テルト云フコトガ必要デアルト云
 フ考モ持ツテ研究ヲ致シテ居ルノデアリマ
 ス、是ハ先般來大臣並ニ私ヨリモ度々申上
 ゲタノデアリマス、只今御述ニナリマシタ
 道路ノ管理權ニ付キマシテハ、現在道路法
 ニ特別ヲ設ケテ居ルヤウナ譯デアリマスガ、
 此ノ自動車稅ニ付キマシテハ、成程御述ニ
 ナリマシタヤウニ、六大都市ニ車庫ヲ持ツ
 テ居ル者ノ利用範圍ハ六大都市ノ市内ガ大
 部分デアルト云フコトモ言ヘルノデアリマ
 スガ、然ラバ六大都市ニ限ツテ自動車稅ヲ
 市稅ニ移スト云フコトニナリマスト、其ノ
 殘存郡部ニ於ケル自動車ノ問題ヲ解決スル
 コトガ出來ナイノデアリマシテ、隨テドウ
 モ稅制ト致シマシテハ、ヤハリ自動車稅ハ
 府縣稅ニ置ク方適當デアナイカト思フノ
 デアリマス、此ノ前モ申上ゲマシタヤウニ、
 若シ餘程ノ理由ガゴザイマスレバ、是ハ府
 縣稅ト致シテ居リマシテモ、府縣ノ課稅ヲ
 セザルコトニ致シマシテ——サウスルト其
 ノ府縣ノ課稅セザル稅目ヲ市町村稅トシテ
 賦課スルト云フ方法ヲ執ルコトガ出來ルノ
 デアリマスカラ、實際ノ扱トシテハサウ云
 フ形ヲ取ルコトモ可能デアリマスシ、稅制
 ノ建前トシマシテハ、ヤハリ自動車ト云フ
 モノノ道路ノ利用關係等カラ考ヘマシテ、
 府縣稅ニ致シテ置クノガ適當デアラウト考
 ヘテ居リマス、六大都市ノ特異性ト云フモ

ノニ付キマシテハ、更ニ別ノ立場カラ特別
 ノ制度等ヲ考究シテ參ルノガ筋道デヤナイ
 カト考ヘテ居リマス

○内務委員 尙ホ法文ノ二十五條、二十六
 條ニ分與稅ノコトガ書イテアリマス、第二
 十五條ノ第一項ニハ「單位稅額ガ大都市標準
 單位稅額ノ一倍半ヲ超過スル市ニ對シテハ
 第二種配付額ハ之ヲ分與セズ」トアリマシ
 テ、サウ云フコトニナルト分與シナイ金ガ殘
 ツテ行クノデスガ、「前一條ノ規定ニ依ル」
 云々ト直グ後ヘ承ケテ居リマスカラ、此ノ
 分與セズト云フ金ノ行方ハ何處ヘ行クノデ
 セウカ、一ツ伺ツテ置キマス

○三好政府委員 只今御尋ノ問題デアリマ
 スガ、是ハ初メカラ分與ノ算盤ニ立テマセ
 スカラ、何處ヘモ行キマセヌデ、元ノ額ニ
 殘ツテ居ル譯デアリマス

○石井委員 分與稅ノ問題デアリマスガ、
 先程來特別ノ災害ガアツタ場合等ニ對スル
 問題ニ付テ内藤氏カラ御質問ガアリマシタ
 ガ、ソレニ關聯シテ居ル問題デアリマス、
 此ノ第七條ニ「地方財政ノ情況上必要アルト
 キ」斯ウナツテ居リマスガ、地方財政ノ情
 況上必要アルトキト云フノハ、一體ドウ云
 フコトニナツテ居ルノデゴザイマセウカ

○三好政府委員 此ノ七條或ハ八條ニ地
 方財政ノ情況上ト云フ言葉ヲ今御話ノ通
 リ使ツテ居リマスガ、是ハ地方總體ノ財政
 ノ情況上、斯ウ云フ意味デゴザイマス、七
 條ノ場合ヲ申上ゲマシタラバ、例ヘバ今回
 ノ支那事變ノヤウナ事變ガ起ツタ爲、各團
 體トモ事變費ヲ相當巨額ニ要スル情況デア
 ル、當然法律上決ツテ居ル稅收入、即チ第
 六條ノ規定ノ適用ノ結果入ル稅收入、サウ
 云フモノデハヤツテ行ケナイダラウ、斯ウ

云フ見込ノ時ニ増額スル、サウ云フ意味デ
地方財政ノ情況上ト云フ言葉ヲ使ツテ居ル
ダケデゴザイマシテ、個々ノ團體ノ財政情
況ト云フコトハ考慮ニ置カナイ意味デアリ
マス。

○石井委員 サウシマスト、此ノ地方財政
ノ情況上ト云フノハ、一般的ノ場合ヲ指シ
タモノデ、個々ノ市或ハ町村ノ事情ヲ指シ
タモノデハナイ、斯ウ云フ風ノ御説明デア
リマス、ソレカラヤハリ第七條ノ中ニ「前條
ノ規定ニ依リ分與スベキ配付税ノ額ニ左ノ
各號ノ一ニ定ムル額ヲ増額スルコトヲ得」
斯ウナツテ居リマスガ、此ノ増額スルコト
ガ出來ルト云フ財源ハ、一體何處ニアルノ
カ、質問致シタイト思ヒマス。

○三好政府委員 是ハ第六條ノ第二項ノ規
定ニ依リマシテ、前年度ニ於ケル分與額ノ
百分ノ百十ヲ超過スル分與額ノ額ハ、特別
會計ニ於キマシテ積立金トシテ積立テテ行
タ譯デゴザイマス、其ノ金ガアリマシタモ
ノヲ七條ニ於テヤツテ居ル、斯ウ云フコト
ニナルノデアリマス。

○石井委員 サウシマスト、假ニ地方ノ財
政ノ情況上極メテ必要ナコトガアルト致シ
マシテモ、特別會計ノ方ニ餘裕ガナケレバ
此ノ増配ハ出來ヌ、斯ウ云フコトニナル譯
デアリマス。

○三好政府委員 其ノ通りデゴザイマス
○内藤委員 地方税ノ九十一條デ一ツ伺ッ
テ置キタイ、九十一條ニ依ルト「市制第六
十七條第六號又ハ町村制第四百七條第六
號ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル特別税ニシ
テ本法施行ノ際現ニ存スルモノハ内務大臣
及大藏大臣ノ指定スル税目ニ限リ第六十三
條第四項ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル獨立

第六類第二號附屬 所得税法改正法律案外三十件委員中地方税法案外七件小委員會議錄

税ト看做ス、斯ウ云フ規定ガアリマスノデ、
其ノ際ニハ内務大臣及ビ大藏大臣ハ施行ノ
際現ニ存スルモノハ新ニ指定ヲサレルノデ
スカ、或ハサウデナクテ從來アルモノハ其
ノ儘デ行クノデセウカ、詰リ一遍消エテシ
マツテ、更ニ指定ヲサレルノカ、消エナイ
デ一旦指定シタノト同ジヤウナ御取扱ガア
ルモノカ、其ノ法規ノ解釋ヲ伺ヒタイノデ
アリマス。

○挾間政府委員 新シク兩大臣ニ於テ指定
ヲ致スノデアリマス
○内藤委員 サウスルト今マデノハ消エ
モノト心得テ宜イデスネ、一度消エテ新ニ
指定サレル譯デスネ

○挾間政府委員 法律ガ變リマスカラ當然
消エマシテ、新シク指定スルコトニナリマス
○内藤委員 是ハ全般ノ議論トシテ伺フ
デスガ、規則ノ改正ガアリマス、府縣ノ
獨立税トシテ課税スベキ税目デアリマスガ、
一例ヲ取ツテ言ヘバ、藝妓税ノ如キモノデ
ス、斯ウ云フモノハ新シイ規定ガ出來ルマ
デハ廻ツテ取ルコトハイケンナイコトニナル
ノデスガ、ソレハドウ云フ工合ニナルノデ
セウカ、一遍消エテシマヒマシテ、政府ノ
方デ色々準備モアリマセウカラ、準備ス
ルマデハ兎ニ角取ル方法ガアリマセヌ、此
ノ案ガ通過スルマデニ三月マデニ通過
スルモノトシテ、一ツノ案デモ御成案ガア
ツテ、通過スレバ直チニ出シテ行クト云フ
ヤウニ御準備ガ出來テ居リマスガ、準備ガ
出來テ居ナイトスレバ、切レテシマツテド
ウスルコトモ出來ナイト思ヒマスガ、其ノ
御考ヲ一ツ承リタイ

○三好政府委員 只今御尋ノ問題御尤モデ
ゴザイマスガ、是ハ御手許ニ差上ゲマシタ

地方税法案關係命令案要綱ノ最後ノ法案第
九十六條關係ト云フ項ニ掲ゲテ置キマシタ
ガ、此ノ新シク出來マス税法ニ依リマシテ
地方團體ガ條例ヲ以テ定メナケレバナラナ
イ事項ニ關シマシテ、從前ノ規定ニ依ツテ
定メタモノガアリマスレバ、本法ニ軋觸シ
ナイ限リ本法ニ依ツテ定メタ條例ト見做ス
ト云フ措置ヲ講ジマスノデ、藝妓税ノ如キ
ハ當然其ノ儘古イ條例ガ生キテ取レルト云
フコトニ相成ル譯デアリマス

尚ホ一寸立チマシタ序ニ、先程石井サ
ンノ質問ニ御答シマシタノガ、不完全デゴザ
イマシタカラ補足致シテ置キマス、第七條ノ
増額ノ場合ノ一般的ノ財源ハ積立金デゴザ
イマスガ、其ノ外ノ場合ガゴザイマス、即
チ前々年度ノ額ニ比較シテ今年ノ收入見込
額ガ多イト云フ風ナ場合ニハ、其ノ差額ヲ
増額スルコト云フコトガ出來ル譯デアリマス
○内藤委員 一ツ飛ンデ伺フノデスガ、一
體稅收入ニ付テ何々稅何々稅ト色々アルノ
デスガ、大藏省或ハ商工省ガ業種別ニ依ツ
テハ其ノ儘直グ認定シテ疑義ノ挾マヌモノ
モアリマセウガ、斯ウ云フモノハ如何デセ
ウカ、私等ノ所ヘ毎日々々葉書ガ來ル、全
國カラ何百枚モ、殆ド机ノ上ニ山ヲ成シテ
陳情書ガ來テ居ルノデス、ソレハ入場稅ト
カ、遊興飲食稅ノコトニ關シテノ陳情書デ
アリマス、持ツテ來テ御目ニ懸ケテモ宜イ
ノデスガ、澤山來テ居リマス、是ハ地方稅
ノ方ニ關係シマスカラ申上ゲマスガ、段々
考ヘテ見ルトドウモ缺陷ガアルノデハナイ
カト思ハレルノデス、稅ハ今度ノ規定カラ
行クト從來地方稅デアツタモノヲ國稅ニ移
管シテ取ツテシマフ譯デアリマス、ソコデ
大藏省ノ御認定ニナルノハ、内務省ノ御考

へ方ガ基礎ニナツテ大藏省ガ稅ヲ取ル、斯
ウ云フコトニナル譯デアリマス、ソコデ其
ノ考ヘ方ニハ内務省關係トスレバ、或ハ地
方局長デ御答ガ出來ナイカモ分リマセヌガ、
陳情書ノ中ヲ見ルト、騷イデ居ル人ハ大藏
省ノ大矢局長ナリ、或ハ其ノ他ノ方ノ御説
明ガ騷ガレテ居ルノヂヤナイノデス、書面
ヲ詳シク見マス、御説明ニ漏レテ居ル、
例ヘバアノ人々ガ抱イテ居ルヤウナ觀念的
ノモノデナイ、小サナ所ガ騷ガレテ居ルヤ
ウニ見エルノデス、其ノ趣旨ハ例ヘバ飲食
稅デ言ヘバ料理屋ト云フモノニ付テハ、ア
ノ方々ハ例ヘバ星岡茶寮アルトカ、或ハ
錦水デアルトカ云フヤウナモノヲ料理屋ト
見テ居ルヤウデス、所ガ騷イデ居ル連中ハ
サウ云フ大キナ所デナク、小サナ料理屋デ
ス、疊ヲ敷イタ普通ノ料理屋ナリ、或ハ又
政府當局ガ「カフエ」「パイ」ダト云ウテ居
ラレル所ヲ、他ノ人ハ名前ハサウ云フヤウ
ナ名前ヲ付ケテハインチキヤツテ居ルケ
レドモ、所謂政府ノ思ツテ居ル「カフエ」
「パイ」ヂヤナイ、ソコデ取締法規ヲ見ルト、
是ハ内務省關係デ監視廳令デ出テ來テ居
ル、サウシテ監視廳ガ特殊飲食店ト云フ名
稱ヲ付ケテ、或ハ當リ前ノ飲食店ト云フ名
稱ヲ付ケテ居ルノデ、隨テ政府ノ考ヘテ居
ルノト違ツテ、唯腰掛デ家族ガ三十錢五十
錢、若クハ一圓位ノ「ランチ」ヲ食ツテ歸
ル、サウ云フ所ニ女ガ居ルトカ、居ラヌト
カ云フコトデ、洋風デアルトカ洋風デナイ
トカ云フコトデ、特殊飲食店ト飲食店デナ
イトノ差別ヲ設ケテ居ラレルヤウデス、ソ
コニ法案ヲ起草サレル時ノ間違ヒガアルダ
ラウト思ヒマスノデ、斯ウ云フ事柄ニ付テ
ハ稅ノ收入ニモ多少ハ影響スルカモ知レマ

昭和十五年三月七日

昭和十五年三月七日

セヌガ、大シタ影響ハナイト思フノデス、斯ウ云フ事柄ハ内務省ハ本人ノ營業者ノ意思ニ依ツテ、自分ガ料理屋トシテノ取締ヲ受ケタイト云フ時ニハ、「カフエー」「バー」トシテ面ヲ出サセ、或ハ「カフエー」「バー」トシテ行キタイト云フ時ニハ、「カフエー」「バー」トシテシテノ書面ヲ出サセル、即チ營業者ノ意思ニ基イテ法規ノ取締ヲ二三ニシテヤルト云フ考ハナイデセウカ、ソレガ決レバ大勢ノ相剋摩擦ノ状態モナクナリマスシ、政府當局ノ意圖ノアル所モ達成サレルノデハナカラウカト思ヒマス、ソレヲ無暗ヤ

テ無理ナ取締ヲスル、騒イデ居ルノハ内務當局ナリ、大藏當局ガ御説明ナサツテ居ラツシヤルヤウナガ騒イテ居ルノデハナイ、大キナモノハドツチデモ同ジコトダト言ツテ居ル、却テ小サイ五十錢一圓ノ飯ヲ食ハシテ居ル所ガ騒イデ居ル、ソコデ此ノ法規ノ解釋上、自分等ハ地方稅ニ付テハ何カ一定ノ飲食稅ト云フ考ヘ方ヲ持ツテ居ルト云フコトヲ、斯ウ云フ機會ニ御釋明ニナツタラドウデスカ、サウスレバ騒ギモ治マルデアラウト思ヒマス

ノ方デ内務省ノ方針ヲ御決メニナレバ、大藏省ノ方ニモ響クノデアリマス、殊ニ茲ニ遊興飲食稅トカ、色々書イテアリマスガ、片方ノ料理屋ハ免稅點ノ三圓以下ハ税金ガ要ラナイ、片方ハ五錢カラ要ルノデス、失禮デスガ大藏省ニシテモ、内務省ニシテモ、薄給者ノ人ハサウ云フ所ニ始終才出デニナツテ居ル、ダカラ之ヲヤレバ明日カラ五錢ノ「コーヒー」ヲ取ツテモ直グヤラレルノデスカ、ソレマデ虐メルノハドウカト思フ、ダカラ内務省サヘ肚ヲシツカリシテ下サレバ斯ウ云フ騒ギハナクナル、地方局長サンハ一番内務省デモ偉イ、大臣ヨリモ偉イデスカ、大臣ナンカハ翌日デモ送ルコトガアルガ、アナタハ長ク居ラレル、三好サンナンカモ長ク居ラレルノデスカ、アナタ方ノシツカリシタ肚ヲ聽カシテ戴キタイ、サウスレバ大藏省ノ方デモ自然決ツテ來テ、ウルサイコトモナクナリマス

デアルト云フシツカリシタ交渉ヲ致シマシテ、特ニ稅ヲサウ云フ趣旨ニ於テ取ルヤウニ、ハツキリト決メテ貰フヤウニ交渉シタイト思ヒマス

ナカラウカト思ヒマス、ソレヲ無暗ヤタラニ勝手ナ役人ノ考ヘ方デオヤリニナル、ソレハ敢テ之ニ限りハシマセヌ、外ノモノデモサウデスカ、解釋ニ依ツテドウニモナルヤウナモノヲ、本人ノ意思ヲ考ヘテヤラナイデ、政府ノ役人ガ自分ノ「レベル」ノ高イ頭デ、「レベル」ノ高イ所バカリヲ行カレテ、其ノ考ヘ方デ課稅シタリ、三圓以下ハ税金ヲ課サナカッタリ、或ハ五錢、十錢ノ珈琲ヲ飲ンデモ税金ヲ取ル、大シタ金額デハナイケレドモ、時節柄騒ギガ大キイ、ソレデ私共モ陳情々々デ洵ニウルサイ、段々私共ガ調ベテ見ルト、成程是ハ役人ノ方ガ無理ダト云フコトガ分ル、デスカラ是ハ結局地方稅ノ問題ニナツテ來ルノデスカ、國ノ收入トシテ影響ハ餘リナイ、影響シナイデ政府ガ呪ハレルコトニナル、サウ云フコトニ付テ營業者ノ意思ニ基イテ取締ヲ異ニシテヤルト云フ御考ヘ方ガ内務省ニアルカナイカ、若シ本人ノ意思ニ基イテヤレバ此ノ問題ハ解決スルト思フ、私ハ料理屋デヤリタイト云フ者ハ料理屋デヤラセレバ宜シイ、厭ナラ厭デヤラヌデモ宜イ、役人ノ分ラヌ頭デ警視廳令ヲドンク出シ

○挾間政府委員 料理屋「カフエー」「バー」等ノ課稅ノ問題デスカ、營業ノ取締ノ問題ト、遊興飲食稅等ノ課稅ノ問題トハ、別ノ問題デゴザイマシテ、營業警察ノ方ノ料理店ナリ、「カフエー」「バー」ト云フヤウナモノノ取締ハ、届出ニ依ツテヤルノデアリマス、ソコデ此ノ取締課稅ノ問題トハ、別個ノ立場デ考ヘナケレバナラヌグラウト思フノデアリマス

○内務委員 ダカラ私ハ聽イテ居ルノデスカ、ソレハ届出主義デハナク、ヤハリ許可主義デスカ、建築ノ場合デモ料理屋ナラ料理屋ノ用途變更ヲシナケレバ警察ガ許サヌ、詰リ警察權ノ發動ガアル、警察權ノ發動ガアツテ許可主義デアラナラバ、本人ノ意思ニ依ツテ自分ハ此ノ取締ヲ受ケタイ、其ノ取締ヲ受ケテ其ノ下ニ稅ヲ拂ヒタイト云フコトニシテヤツタドウデスカ、ソレニハ大藏省ト御協議ヲナサラナケレバナラヌ、アナタノ方ハ警察權ノ發動ニ依ツテ、料理屋ハ料理屋、飲食店ハ飲食店ノ取締ヲスル、片方ハ料理屋モ飲食店モ別ニ扱ハナイデ税金サヘ取レバ宜イ、ソコニ相剋摩擦ガアル、是ハ日本中ニ澤山アルノデスカ、アナタ

○挾間政府委員 是ハドウモ許可營業トシテ警察取締ノ對象トナルモノト、ソレカラ課稅ノ對象トシテ考ヘルモノトハ別ノ立場カラ行キマスノデ、ドウモ同様ニハ行カナイト思ヒマス

○三好政府委員 稅ノ方ノ問題ト致シマシテハ命令要綱ニ、慥カ大藏省ノ方カラ「カフエー」「バー」ト云フ風ニ出シテアル管デアリマスガ、結局「カフエー」「バー」トハ如何ナルモノデアルカト云フコトヲ命令デハツキリ致シマスナラバ、業者ノ方デモ餘リ困ルト云フヤウナ問題ハナイデハナカラウカト思ヒマス、隨ヒマシテ内務省ト致シマシテモ、關係ノアル問題デアリマスカラ、「カフエー」「バー」ト云フモノハ特ニ免稅點ヲ設ケズシテ、税金ヲ取ツテ然ルベキモノ

○内務委員 能ク分リマシタ、是ハウルサイ問題デスカ、サウ云フコトハ觀念的ニ能ク御注意ヲ願ヒマス、今騒ギノアルモノハ騒ギカラ除クヤウニシテ、サウシテアナタノ仰シヤルヤウニ取ルモノハ取ルヤウニ決メテ貰ヒタイノデアリマス、其ノ次ニ少サナ問題デアリマスガ、是ハ撞球稅ノコトデアリマス、撞球稅モ國稅ニ入ルサウデスカ、是ハ此ノ間ノ御説明カラ行クト金持ガ球ヲ撞ク、ソレダカラアア云フ財政ノ豊カナ者カラ税金ヲ取ツテモ宜イト云フコトデアリマシタ、殊ニ大矢サンハサウデアツタノデアリマス、所ガ私ガ調ベテ見ルト成程役人ノ方トカ偉イ人ガ行ク所ハ宜イガ、端端ノ方ノ撞球屋ナドハ、隨分僅カナ金デ生活シテ居ルヤウデアリマス、サウスルト大矢サンノ説明ハ間違ツテ居ルト云フコトニナリマス、ソコデ是ハヤハリ從來ノヤウニ第二種ヲ第一種ニ入レテヤツタ方ガ宜シイ、稅法ノ本ヲ讀ンデ見マシタガ隨分ヲカシイト思フ、大弓ナンカノ遊戯場ナドカラハ取ラナイデ、撞球カラハ取ル、サウスルト撞球ノ方ガ上品ナンデスカ、上品ダカラ錢ヲ取ル、下品ナモノカラハ取ラヌト云フコトニナツテ、是ハ變ナ話ダト思ヒマス、色々御考モアツタデセウガ、コンナモノハ能ク考ヘル必要ガアリマス、ソレカラ十錢二十錢ノ活動寫眞ヲ入場稅ノ對象トシテ御説明ガアツタノデスカ、活動寫眞ハ成程十錢二十錢ノモアリマスガ、大キナ所モアリマス、撞球ハ厚生省ノ方ハヤハリ室内運動

トシテ、昔ノ撞球ト今ノ撞球トハ違フト云
フコトヲ言ツテ居ルノデスガ、是ハ第一種
ニ入レテヤルヤウナ御考ハアリマセヌカ、
是ハ大シタ税デハアリマセヌガ、大藏省ノ
方ガ御見エニナツテ居ルナラ一ツ考ヘテ載
キタイト思ヒマス

○三好政府委員 國稅ノ問題デゴザイマス
ノデ、大藏省ノ方カラ答辯サレルノガ當然
ト思ヒマスガ、唯入場稅ヲ取リマスモノニ
付テハ、ヤハリ奢侈的ナモノカラ取ルト云
フ觀念デ出發致シテ居ルト考ヘラレルノデ
アリマシテ、例ヘバ麻雀デゴザイマス
カ、或ハ「ダンス・ホール」デアルトカ、ソレ
ト大體撞球モ謂ハバ似タヤウナモノデハナ
イカ、斯ウ云フ考デ出發シテ居ルト存ズル
ノデアリマス

○内藤委員 此ノ間問題ニナツタ庭園稅、
間地稅、或ハ土地増價稅デアリマスガ、色
色ナ都市計畫ニ依ツテ無論受益者負擔ハ取
ツテ居リマス、併シ其ノ受益者負擔ト云フ
モノハ間數ガ決ツテ居ツテ、間口ガ幾ラ與
行ガ幾ラト決ツテ居ル、ソレ以外ノ者ガ相
當ノ利益ヲ受ケルノデアリマスガ、サウ云
フ風ナ者ハ他人ノ揮デ相撲ヲ取ルト云フコ
トニナリマスカラ、斯ウ云フ土地増價稅ナ
ンカモ取ルヤウニシタ方ガ宜イト思ヒマス
ケレドモ、如何デアリマスカ

○挾間政府委員 今度市町村ノ獨立稅ヲ監
督官廳ノ許可ヲ得テ廣ク認メルコトニ致シ
マシタガ、從來モ特別稅デ色々稅ハ認メテ
居ツタノデスケレドモ、御述ニナリマシタ
土地増價稅トカ、間地稅、庭園稅ト云フヤ
ウナモノニ付テハ地方稅制限法ノ關係ガア
リマシテ、大體ハ取ラサナイト云フ方針
デ今マデ來テ居ツタノデス、今度稅制ヲ改正

シテ、斯ウ云フ風ナ建前ニナリマシタシ、殊
ニ今御述ニナリマシタヤウナ色々ノ特別稅
ニ付キマシテハ、是ハ私取ラシタ方ガ宜イ
ノヂヤナイカト思フ、唯其ノ課稅ノ方法ニ
付キマシテハ、初メテ取ル稅デアルシ、色
色内容ニ付テ十分檢討ヲ加ヘナケレバナリ
マセヌガ、課稅ノ方法ガ適當デアル場合ニ
ハ、是ハ十分ソレヲ認メルヤウナ方針デ詮
議スルヤウニ將來致シタイ

○内藤委員 ソレデハモツト突進シテ御尋
シマスガ、ソレハ道府縣稅ヲ取ラスト云フ
御意見デスカ、或ハ市町村稅ヲ取ラスト云
フ御意見デスカ、ソレハ何故御尋シマスカ
ト云フト、市町村稅ヲ取ラスト、市町村ハ
ソレニ依ツテ非常ニ違フト思ヒマスノデス
ガ、例ヘバ私等デ言ヘバ、大阪市内ニ居ル
人ガ大キナ間地或ハ庭園ヲ持ツテ居ルト云
フ場合ニ、市町村稅ヲ取ラレト云フ場合
ト、或ハ府縣稅ヲ取ラレト云フ場合ト、
市ノ財源ガ非常ニ違フ、大キナ金ニナル、
殊ニ東京アタリデソレヲ比較致シマスト、
富豪ノ邸宅ガアルノデスカラ、收入ガ非常
ニ違ヒヤシナイカト思フ、ドチラデ御取リ
ニナリマスカ

○挾間政府委員 今度ノ地方稅法ニ依リマ
スト、府縣ノ獨立稅ハ稅種ヲ限定シマシテ、
四十八條ニ掲ゲテ居ル稅以外ニハ取ラセナ
イコトニナツテ居ル、今申上ゲマシタヤウ
ナ種類ノ稅ハ總テ市町村稅トナリマス、即
チ地方稅法ノ六十三條第三項デ「市町村ハ前
二項ニ掲グルモノノ外別ニ稅目ヲ起シテ獨
立稅ヲ課スルコトヲ得」此ノ規定デ取ルコト
ニナリマスカラ、大阪市デアリマスト、大
阪市ガ市内ノ庭園トカ、或ハ土地増價ニ關
スル稅トカ、間地稅トカ云フモノヲ課稅ス

ル權能ヲ與ヘラレルコトニナリマス
○内藤委員 實ハ質問スル材料ヲ書イタ書
面ガアツタガ、何處へ行ツタカ分ラヌヤウ
ニナツテシマツタ、ソレデ二三點マダ大キ
ナモノガ殘ツテ居ルノデスガ、他ノ時ニ留
保シテ戴イテ、後デ整理シテ、關聯シテ質
問サシテ戴クコトニシマス

○小山委員長 承知シマシタ、ソレデハ官
本君オヤリニナリマスカ、山川サンオヤリ
ニナリマスカ

○宮本委員 山川サンガ御見エニナツテ居
リマスカラ、オ先ヘドウゾ……
○山川委員 私ハモウ大抵皆サンカラ御尋
ニナツテシマヒマシタノデ殆ドナイヤウニ
ナリマシタガ、米ノ方ニ關心ヲ持ツテ居リ
マシテ、コツチノ方ヲ一向ニ調ベナイデ居
リマシタガ、昨日小見山君カラ地方自治ノ
改正ニ付テ縷々御質問ニナリ、又内務大臣ヨ
リ詳細ニ互リ御考ヲ色々ト御答辯ニナツテ
居リマシタ、大體ニ於キマシテ諒承致シマ
シタノデゴザイマスガ、只今町村制ノ法
律ノ趣旨ト、現在行ハレテ居リマス所ノ町
村制ノ現狀トニハ相當ノ相違ガ出來テ居ル
ノデス、ドウ云フヤウナ相違ガ出來テ居ル
カト云フト、法律ノ上カラ見マシテハ別ニ
大シタ缺點ハナイノデゴザイマスガ、事實
ニ於テ非常ニ町村制ノ性質ガ變ツテ來タヤ
ウニ思ウテ居ル、是ハマルデ稅ト離レタヤ
ウニ一寸思ハレマスケレドモ、大變大切ナ
問題デゴザイマスノデ、此ノ機會ニ御話ヲ
申上ゲテ置イテ、他日ノ町村制御改正ニナ
ル時ノ御參考ニモナツタラト存ズルノデゴ
ザイマス、本日小見山サンノ質問ニ對シ
テ地方局長サンカラノ御答辯デゴザイマシ
タガ、町村ハ善良ナル自治ノ運行ガ出來テ

居ルモノト見、又今後モ出來得ルモノト見
テ、總テノコトヲ其ノ町村ノ自治ニ委シテ
是等ノ按排ヲ行ハシメルノデアルト云フ一
般論デアツタ、所ガ中々事實ニ於テハサウ
行ツテ居ラヌ、私モ村長ヲ三期程致シマシ
タ、今度コチラヘ來マスノニ付テ村長ヲ辭
メマシタガ、ソレ等ノ經驗カラ考ヘマシテ
モ、中々妙ナ狀態ニナツテ、村會議員ノヤ
ル村長ノ選舉ト云フコトガ中々ムズカシク
ナツテ來タ、各村トモ其ノ趣ガ變ツテ來テ
居ルノデアリマス、是ハ斯ウ云フ場所デ餘
リ詳細イコトハ申上ゲラレマセヌガ、是ハ
一ツ餘程地方ノ現在ノ狀況ヲ詳シク御調ニ
ナリマシテ、將來ノ市町村制ト云フモノヲ
御改正ナサル資料ニサレンコトヲ希望スル
モノデアリマス、其ノ希望ノ一點トシテ申
上ゲタイノハ、村長ノ選舉デアリマスガ、
是ハ村會議員ノ選舉ニ俟タズシテ普選ニシ
タラ宜イ、一村ノ人民ガ皆寄ツテ選舉シタ
ラ宜イ、是ヨリ外ニ救フ途ガナイカト今思
ウテ居ルノデス、ソレハ自分ノ郡内ナリ、
或ハ其ノ他ノ郡ノ狀況ナンカモ實際見テ參
リマシテ、此ノ國ノ代表デアアル代議士デサ
ヘモ普選ニシテ、各自ガ選舉スル位ナ施設
ニナツテ居ルノデスカラ、自分ノ直接關係
ノアル所ノ村ノ長ヲ定メル時ニ、十二人ト
カ十八人トカ、二十何人ト云フヤウナ少數
ノ頭デ決メル、ソレモ大多數ナラバ宜イケ
レドモ、一名ノ爲ニ右ニ行クカ左ニ行クカ
決マル、其ノ爲ニ村ガ二ツニ分レル、前ニ
ハ等級制ガアリマシタケレドモ、現在普選
ニナツテ、妙ナコトガ出來テ居ルノデアリ
マス、斯ウ云フコトヲ捨テ置キマシタナラ
バ、他日ドウ云フ所マデ行ツテシマフカ知
ラント云フヤウナコトヲ案ズルヤウナ次第

居ルモノト見、又今後モ出來得ルモノト見
テ、總テノコトヲ其ノ町村ノ自治ニ委シテ
是等ノ按排ヲ行ハシメルノデアルト云フ一
般論デアツタ、所ガ中々事實ニ於テハサウ
行ツテ居ラヌ、私モ村長ヲ三期程致シマシ
タ、今度コチラヘ來マスノニ付テ村長ヲ辭
メマシタガ、ソレ等ノ經驗カラ考ヘマシテ
モ、中々妙ナ狀態ニナツテ、村會議員ノヤ
ル村長ノ選舉ト云フコトガ中々ムズカシク
ナツテ來タ、各村トモ其ノ趣ガ變ツテ來テ
居ルノデアリマス、是ハ斯ウ云フ場所デ餘
リ詳細イコトハ申上ゲラレマセヌガ、是ハ
一ツ餘程地方ノ現在ノ狀況ヲ詳シク御調ニ
ナリマシテ、將來ノ市町村制ト云フモノヲ
御改正ナサル資料ニサレンコトヲ希望スル
モノデアリマス、其ノ希望ノ一點トシテ申
上ゲタイノハ、村長ノ選舉デアリマスガ、
是ハ村會議員ノ選舉ニ俟タズシテ普選ニシ
タラ宜イ、一村ノ人民ガ皆寄ツテ選舉シタ
ラ宜イ、是ヨリ外ニ救フ途ガナイカト今思
ウテ居ルノデス、ソレハ自分ノ郡内ナリ、
或ハ其ノ他ノ郡ノ狀況ナンカモ實際見テ參
リマシテ、此ノ國ノ代表デアアル代議士デサ
ヘモ普選ニシテ、各自ガ選舉スル位ナ施設
ニナツテ居ルノデスカラ、自分ノ直接關係
ノアル所ノ村ノ長ヲ定メル時ニ、十二人ト
カ十八人トカ、二十何人ト云フヤウナ少數
ノ頭デ決メル、ソレモ大多數ナラバ宜イケ
レドモ、一名ノ爲ニ右ニ行クカ左ニ行クカ
決マル、其ノ爲ニ村ガ二ツニ分レル、前ニ
ハ等級制ガアリマシタケレドモ、現在普選
ニナツテ、妙ナコトガ出來テ居ルノデアリ
マス、斯ウ云フコトヲ捨テ置キマシタナラ
バ、他日ドウ云フ所マデ行ツテシマフカ知
ラント云フヤウナコトヲ案ズルヤウナ次第

デゴザイマスノデ、是ハ一ツ御考慮ニナリマスコトガ餘程大切ナコトデナイカ知ラン、小見山君ノ御話ノ尻ニ是ダケノコトヲ附加ヘテ私ハ御話ヲ申上ゲテ置キタイト思ヒマス

ソレカラ次ハ具體的ノ御質問ヲ申上ゲタイ、水利權ノ問題デゴザイマスガ、茲ニ載セテアリマス地方稅ノ水利權ハ皆目的稅ノ所ニダケ作ツテアリマスガ、町村稅ノ方ノ目的稅ハ是デ支障ガナイト思ヒマスガ、道府縣ノ方ノ水利稅ヲ目的稅ダケニ決メテシマフト云フコトニ致シマシテハ、現在行ハレテ居リマス各府縣ニ支障ノアル場所ガアリマセヌカ、縣稅トシテ水利稅ヲ取ツテ居ルヤウナ所ハアルト思ヒマスガ、ソレ等ハドウ云フ風ニナルノデスカ

○三好政府委員 現在府縣デ例外的ニ取ツテ居ル所モ多少アルカト存ジマスガ、サウ云フ所ハ之ニ依リマシテ却テ取り易クナル、從前取ツテ居ラナカツタ所モ此ノハツキリシタ規定ニ依ツテ取り易クナルト思ヒマス

○山川委員 サウスルト目的稅ト云フモノハドウ云フモノデスカ、都市計畫トカ云フ一ツノ事業ノ目的トシテ、サウ云フ一部ノ利害關係ノ爲ニ之ヲ地租デ取ルトカ、反別デ取ルトカト云フコトガアリマスガ、其ノ水利ヲ縣ノ一般的ノ收入ニ取ツテ居ル、ソレハ普通稅ノ意味デ取ツテ居ルノデスカ

○三好政府委員 地方稅法案ノ七十七條ニ規定致シテ居ルノデアリマスガ、水利權ハ府縣ガ行ヒマス水利ニ關スル事業ニ要スル費用ニ充ツル爲ニノミ認ムルノデアリマス

イト言フガ唯現ニ水利ノ關係トシテ是ダケノ水ヲ使用スル、其ノ使用量ハ凡ソ一年ニ四百圓ノ値打ガアルトカ、是ハ千二百圓ノ値打ガアルト云ツテ取ツテ居ルノハ、ドウ云フ風ニナリマスガ

○三好政府委員 是ハ水利ニ關スル事業ニ要スル費用ニ充テル爲其ノ事業ニ依ツテ特ニ利益ヲ受ケル土地ニ對シテ課ケル稅デゴザイマス、御質問ノ點ハ恐ラク水利使用料デハナイカト思ヒマスガ、是ハ水ヲ使フ其ノ特權料ト云フモノデ取りマスノデ、是トハ全然無關係デアリマス

○山川委員 サウスルト各府縣デソレヲ取ツテ居リマスノハ支障ガナイト云フノデスカ、斯ウ云フ法律ガ出來マシテモ、普通稅ノ中ニ項目ガ書イテナクテモ宜イノデスカ

○三好政府委員 水利使用料ハ全然別個ノモノデゴザイマスカラ、之ヲ設ケルコトニ依ツテソチラニ好惡ノ影響ガアルト云フコトハゴザイマセヌ

○山川委員 別個ノ問題デスカ、全然支障ナイト云フノデスカ、ソレデ分リマシタ、ソレカラ町村稅ノコトニ付テ先程内藤サンカラ色々御尋ガアリマシタガ、此ノ町村稅ノ中ノ普通稅ノ賦課額ニハ制限ハナイノデスカ、國稅附加稅、道府縣稅附加稅ニ對スル制限ト云フモノハナイノデスカ、要ルダケ町村稅ヲ取ツテモ宜イノデアリマスガ

何ボ課ケルト云フコトハ自由デアツテ、住民稅ニダケ多ク課ケテ、片方薄クシヨウト、サウ云フコトハ其ノ村ノ村會ノ決議デドンナニデモ勝手ニナルト云フ譯デスカ

○三好政府委員 制度上サウ云フ風ニ相成ツテ居リマス

○山川委員 ソレハ私ハ隨分村ノ事情ニ依ツテ種々ノ無理ガ生ジテ來ヤセシカ知ラント思フ、是ハ意見ニナリマスケレドモ、今日ノ村ノ政治、村會ノ決議ト云フモノガ洵ニ善良ナル立派ナル村會議員バカリガ集マツテ、私ト云フ觀念ガ少シモナシニ村ノ政治ヲスル、サウ云フ村バカリデアリマシタラ宜シイガ、特別モ相當アルノデハナイカ、斯ウ云フ風ニ思フ、ソレガ村長ノ選舉ニモ大變ナ影響ヲ及ボシ、又村會議員ノ選舉ニモ色々ナコトガ行ハレテ來テ、裏面ニ種々ノ策動ガ行ハレテ居ル、之ヲ私心配シテ居ルノデゴザイマスガ、之ニ付テ國ノ方ヘハマダサウ云フ趣ハ聽エテ居ラヌノデゴザイマセウカ、其ノ狀況ニ付テ皆様方ノ御認定ノ程一ツ承ツテ置キタイト思ヒマス

○三好政府委員 御尤モデアリマシテ、制度ガ比較的自由ニ出來テ居リマスカラ、若シ非常ニ物ガ分ラヌ、或ハ無茶ナ村ニ於キマシテハ、必ズシモ感心シナイ稅制ヲ打立テルコトガ有リ得ルトモ思ハレマス、極端ナ例ヲ申上ゲマスレバ、例ヘバ自轉車稅ニ村稅ノ全部ヲ持つテ行ツテシマツテ、地租附加稅モ家屋稅モ取ラヌト云フヤウナコトモ、制度トシテハ立テ得ル建前ニナツテ居リマス、假ニサウ云フコトヲヤツタラドウダト云フコトニナリマスレバ、ソナナ無茶ヲヤラナイモノダト云フ信用ヲ前提ニシテ制度ヲ立テテ居リマスカ

○山川委員 先程「カフエー」ノ御話ガアツタサウデアリマスガ、ソレニ對シテ御答致シマス、警察ノ方ノ取締ハ各府縣ニ依ツテ違ツテ居リマシテ、例ヘバ同ジ

ラ、隨テ監督上サウ云フコトヲサセナイヤウニ是正シテ行ク以外ニ方法ハナイ譯デアリマス、併シ實際問題ト致シマシテハ、現在ノ稅制ノ下ニ於キマシテモ、財政收入ヲ經費支辨ノ必要上已ムラ得ズ上ゲナケレバナラヌト云フコトデ、是ハ必ズシモ宜イコトデアリマセヌガ、戶數割ヲ上ゲルコトハ概ネ致シテ居リマス、事態已ムラ得ズヤツテハ居リマスガ、稅ノ組立ノ上カラ致シマシテ、稅制ガサウ云フ風ニ出來テ居ルカラ無茶ヲヤルト云フコトハ餘リ見受ケナイノデアリマス、若シアリマシタ場合ニハ適當ナ場合ヲ捉ヘテ是正サセルコトハ致シテ居ルノデアリマス、是ハ將來ニ於キマシテモ一層留意シナケレバナラヌ問題デアルト思フノデアリマス、殊ニ現行制度ニ比較シマシテ、地方自治ノ尊重ト云フコトニ重點ヲ置イテ居リマス關係上、許可、認可事項等モ少ク致シテ整理ヲ加ヘテ居ルノデアリマス、或ハ從前ノ制限外課稅制度ヲ廢止致シマシテ、標準率ヲ超過シタ課稅モ比較的自由ニ出來ルヤウニ致シテ居リマス、サウ云フコトヲ考ヘテ見マス、惡イ村デ無茶ナコトヲヤルト云フコトニ付キマシテハ、一層監督ヲ嚴重ニシナケレバナラヌカト思フノデアリマスガ、午前ニモ申上ゲマシタガ、一万數千ノ市町村ノ中デ監督上特ニ是正ヲ命ジナケレバナラヌ市町村ハサウ多クハナイト考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○小山委員 大藏省ノ政府委員ガ見エテ居リマスカラ此ノ際際ニ……

○山田政府委員 先程「カフエー」ノ御話ガアツタサウデアリマスガ、ソレニ對シテ御答致シマス、警察ノ方ノ取締ハ各府縣ニ依ツテ違ツテ居リマシテ、例ヘバ同ジ

ラ、隨テ監督上サウ云フコトヲサセナイヤウニ是正シテ行ク以外ニ方法ハナイ譯デアリマス、併シ實際問題ト致シマシテハ、現在ノ稅制ノ下ニ於キマシテモ、財政收入ヲ經費支辨ノ必要上已ムラ得ズ上ゲナケレバナラヌト云フコトデ、是ハ必ズシモ宜イコトデアリマセヌガ、戶數割ヲ上ゲルコトハ概ネ致シテ居リマス、事態已ムラ得ズヤツテハ居リマスガ、稅ノ組立ノ上カラ致シマシテ、稅制ガサウ云フ風ニ出來テ居ルカラ無茶ヲヤルト云フコトハ餘リ見受ケナイノデアリマス、若シアリマシタ場合ニハ適當ナ場合ヲ捉ヘテ是正サセルコトハ致シテ居ルノデアリマス、是ハ將來ニ於キマシテモ一層留意シナケレバナラヌ問題デアルト思フノデアリマス、殊ニ現行制度ニ比較シマシテ、地方自治ノ尊重ト云フコトニ重點ヲ置イテ居リマス關係上、許可、認可事項等モ少ク致シテ整理ヲ加ヘテ居ルノデアリマス、或ハ從前ノ制限外課稅制度ヲ廢止致シマシテ、標準率ヲ超過シタ課稅モ比較的自由ニ出來ルヤウニ致シテ居リマス、サウ云フコトヲ考ヘテ見マス、惡イ村デ無茶ナコトヲヤルト云フコトニ付キマシテハ、一層監督ヲ嚴重ニシナケレバナラヌカト思フノデアリマスガ、午前ニモ申上ゲマシタガ、一万數千ノ市町村ノ中デ監督上特ニ是正ヲ命ジナケレバナラヌ市町村ハサウ多クハナイト考ヘテ居ル次第デゴザイマス

業態ニ於キマシテモ、或ル縣デハ之ヲ「カフエー」ト呼ビ、又或ル縣デハ之ヲ料理店ト呼ンデ居ル所ガアルヤウデゴザイマス、大藏省ニ於キマシテハ全國同ジヤウナ取扱ヲ致シマス關係上、サウ云フ警察ノ名前ニ拘リマセズ、其ノ實體ニ著眼シマシテ、吾ガ「カフエー」ト認メルモノ、例ヘバ先程色々言ハレマシタ洋風ノ客室云々、サウ云フ實體ニアリマスモノヲ「カフエー」ナリ「バー」ナリトシテ取扱ヲ致ス積リデアリマス、是ハ獨リ遊興飲食稅ノミデアリマセズ、ヤハリ現行營業收益稅等ニ於キマシテ、例ヘバ東京ノ玉ノ井邊リノ業態、アレバ或ル府縣デハ料理店業態トシテ取扱ツテ居ル所ガアルト思ヒマス(内藤委員「違ヒマス」)又是ハズツト前ノコトデアリマスガ、營業稅時代ニ同ジ業態ノモノヲ縣ニ依リマシテハ席賃業或ハ料理店業トシテ取扱ツテ居リマシテモ、稅務署デハ實體ニ著眼シマシテ其ノ業態ヲ取扱ツテ居リマシテ、必ズシモ府縣ノ方ノ業名トハ一致致シテ居リマセヌカラ御話ノヤウナモノナレバ免稅點ナシノ課稅ハ致シマセヌ

其ノ定義ヲ此處デ御説明下サツラドウデスカ、其ノ定義ガ出來スト内務省モ御困リダラウシ、何處デモ困ル、アナタガ御認メニナツタヤウニ、各府縣違フノデアリマス、アナタノ方ハ勝手ニ唯認定々々デ行カウト仰シヤルシ、警察ハ警察デ認定ガ違フノデスカラ、一ツ定義ヲ與ヘタラドウデス、アナタノ定義ガ違ツタラ、間違ツテ居ルト指摘致シマス、アナタノ考ヘ方ヲ直サナケレバナラス、アナタノ考ヘ方ガ宜ケレバ私ハ承認致シマス、此處デ定義ヲ與ヘテ戴キタイ

ノデドウカト思ツテ見ニ行キマシタ、一ツノ實例ハ、木挽町ノ歌舞伎座ノ横丁ノ一平ト同ジヤウナ設備デ女子ガ酌ヲシテ居ラス三友ト云フ所ニ黙ツテ入リマシタ、アレハ銀座ノ一平ト變ラナイ、銀座ノ一平ハ當リ前ノ料理店デセウ、ソコハ同ジモノデアアル、洋風設備デアルガ、オデンヲヤツテ居ルダケデ、女ハ居ラス、サウ云フ所アアナタノ方デハ特殊飲食店トシテ稅ヲ取ツテ居ル、サウ云フ不合理ノモノヲ街ノ眞中デ見テ來マシタ、場所マデ申上ゲテ置キマス、デスカラ大藏省ノ方デモ課稅ニ付テハ御考ニナラヌト、内務省モ困ルシ、ソコデ相剋摩擦ガ起ルト云フコトヲ申上ゲ置イテ、アナタノ方ノ「カフエー」「バー」ニ對スル認識ハ、銀座邊リニアアル、アアアノ「カフエー」カト云フヤウナ大キナ所ハ、ソレハ分ツテ居ル、サウ云フ所ハ誰モ騒イデ居ラス、騒グノハ、五十錢、一圓ノ「ランチ」ヲ腰掛ケテ食ツタリ、「コーヒー」ヲ飲ンデ居ル所ガケデス、ガカラ大藏省ノ方モ良イ所バカリヲ見ズニ、小サイ所モ見テ、ドウ云フ風ナ所ニ争ヒガアルカト云フコトヲ見ヌト、課稅ニ付テ大キナ争ヒガ起ル、私共ガアナタノ方ニ質問シテ居リマスノハ、自分ノ意思デ、自分ノ所ハ「カフエー」「バー」トシテ取扱ツテ受ケタ

スル積リハゴザイマセヌ、恐ラク問題ニナツテ居リマスノハ、吾々ガ課稅ノ對象ニシテ居ラスモノデアラウト思ヒマス、今御示ニナツタモノ、例ヘバ三友トカ云フモノ、或ハ洋風ノ設備ヲシテ居ルカモ知レマセウケレドモ、サウ云フモノハ名前ガ「カフエー」デアリマシテモ課稅ヲ致サナイ積リデアリマス

○内藤委員 ソレデハサウナルト餘計何ハネバナリマセヌ、府縣別ニ各地方長官ノ意見見デ取締法規ガ違フ、ソレハ私モ知ツテ居ル、ソレデカラ騒ギガ大キイノデス、大藏省ノ見方デハ定義ガ決マリマスレバ、各府縣廳ノ取締ヲ統一サレルト思ヒマス、アナタノ方ノ考ヘ方ト、ソレカラ各府縣ノ考ヘ方ト違ツテ居リマスカラ、ソレデ今騒ギガ大キクナツテ居ルト思フノデアリマスガ、アナタノ方ノ此ノ議會デ聲明サレルノハ、ソレナラドノ點マデヲ「カフエー」「バー」ト言ヒ、ドノ點マデヲ料理屋ト云フカ、

○山田政府委員 「カフエー」「バー」ノ定義ヲ此處デ今申上ゲル譯ニ行キマセヌガ、命令デ詳シク規定スル積リデアリマス、大體斯ウ云フ規定ヲ置キマシタノハ、大阪デアルトカ、東京デアルトカ、アア云フ特殊ノ業態ノモノヲ指スレデアリマシテ、本當ノ田舎ノ方デ普通ノ料理屋ト變ラナイヤウナモノ、サウ云フモノニ對シマシテモ同ジ取扱ヲスル積リハゴザイマセヌ、是ハ能ク地方ノ狀況ヲ調査致シマシテ、アトデハツキリシタ扱ヒヲスルヤウニシタイト思ヒマス

○内藤委員 ソレデハ最後ニ釘ダケ差シテ置キマス、ソレハヨク世間ニアリマス、「カフエー」「バー」ノ相當高級ノ金ノ要ル所ハ騒イデ居リマセヌ、實際喧マシク全國カラ吾々ノ所ニモ陳情ニ來テ居リマスノハ、洋風ノ設備ヲ以テ五十錢トカ、一圓ノ「ランチ」ヲ食ベサス、若クハ「コーヒー」ヲ飲ンデ居ル人ガ二階ニ上ルト、日本間ダカラ、税金ガ掛ラナイ、三圓以下デスカラ——下

○内藤委員 要スルニサウ云フ所ハ非常ニ不平ヲ言ツテ居リマシタカラ、アナタノ方ハサウ云フモノニ付テハ考ヘテヤラナケレバイケナイ、内務省ノ方デハ「カフエー」「バー」ト言ツテ居ル、變ナ話デアリマス、アノ街ノ眞中デサウデアリマス、先程私ノ手控デ拔ケテ居リマシタガ、丁度分リマシタカラ申上ゲマス、分與稅法ノ第四十四條ニ「本法施行ニ關スル重要事項ニ付政府ノ諮問ニ應ズル爲地方分與稅委員會ヲ置ク」地方分與稅委員會ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之

ヲ定ムトアリマス、勅令ノ内容ハ言フ譯ニハ行キマス、大體此ノ組織サレル委員會ノ中ニ、六大都市、一面カラ言ヘバサウ云フ大キナ所ハ委員ニ入ルノデスカ入ラヌノデスカ、此ノ委員會ノ組織ガ問題ニナルノデス、私ハ尙ホ申上テ置キマスガ、代議士サンモ偉イカモ知レマセヌガ、代議士サンデナク、實際ノ各都市ノ實務家ノ人ヲ入レテ上ゲルガ本當デハナイカト思ヒマスガ、御考ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○狹間政府委員 此ノ分與稅ノ組織ニ付キマシテハ、此ノ間稅ノ大綱ヲ參考資料トシテ差上テ置イタト思ヒマスガ、是ハ稅制調査會デモ色々御意見ガゴザイマシテ、分與稅ト云フモノハ動モスルト官廳ノ自由裁量ガ非常ニ加ハル虞ガアル、併シナガラ斯ウ云フ地方ノ財源ガ官廳ノ自由裁量ニ依ツテ二三ニサレルト云フヤウナコトガアツテモイカヌシ、又地方ノ陳情等ニ依ツテ其ノ額ガ二三ニナルヤウナコトガアツテモイカヌ、是ハ嚴格ニ法決マルヤウニスベキモノデアルト云フコトガ強ク主張セラレマシテ、政府ハソレト全然同感ナノデ、隨テ今度御審議ヲ願ツテ居リマス地方分與稅法ト云フモノモ、可ナリ難カシイ法律ニナリマシタケレドモ、是ハ稅制調査會ノ御意見ニ大體基イタノデアリマシテ、成ベク官廳ノ自由裁量ノ出來ナイヤウニ、又地方ノ陳情等ニ依ツテ動カナイヤウニ、ガツチリトシタ標準デ、地方團體間ニ於ケル實際ノ財政調整ガ出來ルヤウニシヨウト云フ趣旨デ分與稅ハ出來テ居リマス、ソレ故ニ更ニ今度勅令省令等ノ制定ニ付キマシテモ、ヤハリ細カ

イ技術的ノ問題マデモ皆法規定メテ積リデアリマス、此ノ分與稅委員會ヲ何故設ケルカト云フコトニナリマス、要スルニ議會ノ延長トシテ、斯ウ云フ委員會ヲ設ケマシテ、議會デ御協賛ヲ願フベキモノデ法律以外ノ事項ニ付キマシテハ、此ノ委員會ヲ通シテ御審議ヲ願ヒマシテ、其ノ内容ヲ定メルト云フ趣旨ニナツテ居リマスノデ、都市代表トカ、或ハ農村代表トカ、地方代表トカ云フ意味ヲ此ノ委員會ニハ加ヘナイ、謂ハバ議會ノ延長ト云フヤウナ意味デ此ノ分與稅委員會ト云フモノヲ作ルト云フ趣旨デゴザイマス

○内藤委員 分リマシタ

○小山委員長 山川君

○山川委員 先程御尋申上ゲマシタ此ノ獨立稅デアリマスガ、制限ナシデ置イテオキマスド、自轉車ノ如キハ大衆ノ持ツテ居ルモノデアルカラ、ソレニ固マル氣遣ヒハナイカ、ソレデ自轉車稅ト云フモノハ廢メニシヨウデヤナイカ、ソレハ宜カラウ、ソレハ多クノ人ガ喜ブ、斯ウ云フヤウニスルコトガ出來ルヤウニナル、此ノ間モ小見山サシノ御質疑ニモゴザイマシタガ、市町村民稅ハ千圓一本ダケ置イテオカレル、其ノ外ノモノハ各、其ノ村ノ自由ニ委スト云フコトニナリマス、從來ノ特別戶數割、アノ法律ガ不都合デアルカラト言ウテアレバ廢シテ、サウシテ此ノ方ニ御改メニナツタノデア

ルガ、其ノ御改メニナリマシタ方ガ、私ハ更ニ危險デハナイカト思フ、若シ假ニ日本全國一萬何千ノ町村ノ中ノ或ル一部ノ村ガ中央マデ聞エテ居ルト云フヤウナモノハ、其ノ中ノ寥寥タルモノデアリマセウ、ソ

ノナモノデアリマスカラ、ソナモノハ知レタモノデアルト云フ風ニ思ハレルデセウガ、サウハ表ニ現ハレテ居ナイノデ、言ウテ居ラス所デ隨分無理ノ行ハレテ居ル所ガ相當ニアル、又是カラ先モ行ハレルノデハナイカト思フノデアリマス、ソコデ何モ彼モ無制限デ放ツテ置イテ、唯住民稅ノ千圓一本ダケヲ置イテオクト、大キナ所デハ役ニ立タナイ、千圓ヤソコロノモノハ埃見タ

イナモノデアルト云フヤウナ所ガ澤山アル、ソレカラ又千圓マデハ取レル、是ハ十人ダケニ課ケテヤラウデヤナイカ、千圓ツツ十人取ツタラ一萬圓取レル、ソレデ財源ハ宜イ、何ボマデハ取ラナケレバナラヌト云フコトハアツテモ、何ボ以上ハ取ツテハイカヌト云フコトハナイカラ、他ノモノニ付テ取ルコトハ廢メニシヨウデヤナイカ、是ガ一番人氣ガ好イト云フヤウナコトヲ言フ者ガ出來テ來ルト云フコトノ心配ハナイデアリマセウカ、私ハ或村ノ話ヲ聽イテ居リマシタラ、アノ人ハモツト取ツテヤラナケレバナラヌ、役場ノ原案ハ百圓ト云フ安イモノデアツタガ、ソレヲモウ百圓取ラウデヤナイカ、ソレハ宜カラウ、ソシテ無茶ナコトヲシテハイカヌト云フ者ガアレバ、吾々ノ方ハ十人ノ中七人居ルノダカラ、コツチノ言フ通りダト云フ取ツテシマツタ、サウシタラ役場ノ方デ其ノ金ノ餘ルモノハドウスルカト云フコトニナルト、ソレデヤ村中ノ頭割ニ三十五錢ツツ皆減シタラソレ

デ濟ムデヤナイカ、ソレデヤサウシヨウト云フヤウナコトマデヤツタ村ガアル、隨分ソナ所マデ行ツテ居ル、一人ノ者ガ其ノ人ト仲ガ悪カツタカラ、敵討ヲシタト云フヤウナ話モアル、洵ニ妙ナコトニナツテ來ハセヌカ、ソレカラ考ヘテ見マスルト、是ハ凡ソドノ邊マデ取ツテモ宜イト云フコトノ、凡ソノ率ヲ定メルコトハ如何デアリ

マスカ、府縣會ナドニ於テ何カ一ツノ軌範デモ拵ヘテ、凡ソ之ニ據レト云フヤウナモノヲ拵ヘサセラレル所ノ御積リデアリマセウカ、全然棒拔デ町村ニ委スト云フ思召デアリマスガ、ソレヲ一寸御伺申上ゲタイ

○三好政府委員 稅ニ依リマシテハ一定ノ標準ト云ヒマスガ、例ヘバ自轉車稅ハ二圓以上ハ取ラナイヤウニシロト云フコトヲ、本省カラ通牒デ勸告的ニ言ウテヤルト云フコトヲ致シタイト思ヒマス、他ノ稅ニ付キマシテハ、大體從前ノ取り方デ目安ノ決マツタモノデアリマス、特別ニ從前ヨリモ變ヘテ強イ制限ヲ加ヘルトカ、緩メルトカ云フ程ノコトヲスル必要モナカラウカト、斯様ニ考ヘテ居リマス

○山川委員 先日申上ゲマシタ通り、此ノ住民稅ト云フモノノ制限ヲ撤廢スルカ、或ハ住民稅ヲ廢止スルコトハ出來マセヌデスカ、住民稅ハナカツタ所デ他ノモノデ十分賄ヘル、住民稅ノ何ガ爲ニ置イタカ、ソレハ納稅シナイ者ガアルト、其ノ村ニ住ンデ居ツテ納稅シナイコトハイカヌト云フ唯納稅ノ義務ノ觀念ヲ養フガ爲ニ拵ヘルノデアルト言ハレテ居ルケレドモ、五錢デモ稅金ナラ、十錢デモ稅金デアル、一人二十錢ツツ位ノ稅金ヲ下ノ者ニズツト課ケテ、上方デボスツト取ツテシマフト云フコトニナレバ、是モ大變困ツタコトニナル、サウ云フコトハマルキキ棒拔キデ町村ノヤルガ儘ニ委シテヤリ、一人カ二人ノ者ノ言フコトニ依ツテ決スルコトニナル心配ガアル、ソシテ無茶ハシハセヌト仰シヤルケレドモ、相當無茶ガ出來テ居ル、今後モ亦出來ルカモ分ラヌ、世ノ中ガサウ云フ風ニナリツツアル、此處デ御考ニナル程デハナイ、

割合ニ田舎モ妙ナコトヲヤルヤウニナツテ
來タノデアリマスカラ、マルキリ棒拔ニ委
スト云フコトモドウカト思フ、制限ハ工合
ガ悪イシ、是マデノ戸數割ニ代ツテ此ノ
住民稅ガ出來タ、是マデノ特別戸數割ハ凡
ソ收入ノ根據ニ依ラナケレバナラス、役場
ガ提示シタ金額ヨリ四割以上ノ稅ハ課ケラ
レヌト云フヤウナ内規マデ拵ヘテアツタ、
役場ガ百圓トシテ居ルノデアツタラ、百四
十圓マデハ村會決メルコトガ出來ルコト
ニナツテ居ツタカラ、百圓ノ稅金ヲ出シテ
居ル者カラ二百圓取ルコトハ出來ナイ、ケ
レドモ、今度ハソノ制限ハナイカラ、ド
ウデモナルノデアリマスカ、是ガナカツタ
ラ廻リガ付カナイト云フコトニナルノデア
リマスカ、私ハ此ノ稅金ニ對シテハ却テ從
來ノ特別戸數割ヨリ以上ニ恐レル者デアリ
マスカ、ドウゾ一ツ之ニ對スル御答辯ヲ願
ヒタイ

○挾間政府委員

ドウモ山川サンノ此ノ稅
ヲ廢止シタラドウカト仰シヤル意味ガ私十
分呑込メナイノデアリマスカ、戸數割ハ惡カ
ツタト云フコトハ十分御認メニナツテ居ル
ヤウデアリマスカ、戸數割ヲ廢止シテ、今度
ノ市町村民稅ヲ設定スルト云フコトハ決シ
テ戸數割ノヤウナ非常ナ負擔過重ニナルヤ
ウナ稅ヲ再ビ此ノ稅制ノ上ニ出サウト云フ
ノデハナクテ、極メテ輕イ稅デ、而モ市町
村民ガ普遍的ニ市町村ノ負擔ヲ分任スルト
云フ趣旨ヲ稅制ノ上ニ現ハシテ行カウト云
フノガ此ノ市町村民稅デアリマスカ、今度稅
制ガ變ツテ參リマシタ結果、配付稅ハ別ト
シテ、市町村デハ地租、家屋稅、營業稅
ノ附加稅ト云フモノガ大體主ナ稅種ニナツ
テ參ル、サウスルト土地ヲ持ツカ、家屋ヲ持

ツカ、或ハ營業ヲ營ムカ以外ノ人ハ、市町村
ノ負擔ヲ分任シナイコトニナリマスカラ、
ソレデハドウモ所謂地方自治ノ根本精神デ
アル負擔分任ノ精神ト云フモノガ稅制ノ上
ニ現ハレナイデハナイカト云フノデ、此ノ稅
ヲ置イタ譯デアリマスカ、隨テ此ノ市町村民稅
ト云フモノハ地方自治ノ根本精神ヲ稅ノ上
ニ現ハスト云フノデ、私共ハ非常ニ大切ナ稅
ダト考ヘテ居ル、山川サンノ御心配ニナリマ
ス是ガアルト云フト戸數割ノヤウニ非常ニ
恐ルベキモノニナリハシナイカト云フコトデ
スガ、ソレハ決シテナラナイ、度々申上ゲマス
ヤウニ此ノ稅ハ其ノ團體ニ於テ課稅シ得ル
最高限度ト云フモノガ定メラレテ居リマス、
村デ申シマス、納稅者一人當リ四圓以上ハ
取レナイノデスカラ、納稅者千人ノ村デア
レバ四圓以上ハ取レマセス、ソレ以上ハ
取レナイノデス、サウシテ一人ハ千圓以上
ハ取レナイ、其ノ範圍内ニ於テ各市町村ガ
各其ノ意思ニ從ツテ適當ナル課稅ヲシテ參
ル譯デアリマスカラ、負擔ノ過重ニナルト
云フヤウナ虞ハアリマセス、サウシテ是ノ
ミガ地方稅デハナクテ、地方稅ハ色々ナ稅
ガ集マツテ地方ノ歲入ノ總體ヲ構成シテ居
ル譯デアリマスカラ、此ノ稅ガアル爲ニ非
常ニ地方負擔トシテ恐ルベキモノニナルト
云フコトハ絕對ニ起ラヌト考ヘマス、サウ
シテ此ノ稅ノ設ケラレマシタ趣旨ハ今申シ
マシヤウナ大キナ眼目ヲ持ツテ居リマス
ノデ、之ヲ廢止スルト云フヤウナ考ハ特ツ
テ居ナイノデアリマスカ

シテノ衡平ノ觀念ニ付キマシテハドウ云フ
風ニ御考ニナツテ居ルノデアリマスカ、ソ
レヲ伺ヒタイ、負擔分任ノ精神サヘアレバ、
衡平ノ方ハ大體昔カラ言ツテ來テ居ツタ租
稅ノ方ノ原則デアアルガ、ソレハ構ハナイト
云フノデアリマスカドウゴザイマスカ、
一寸承リタイト思ヒマス

○挾間政府委員

負擔分任ノ精神ト云フコ
トカラ申シマス、衡平ノ原則ト云フモノ
ハ或ハ加味シナイデモ宜イカモ知レナイト
思ヒマス、單純ナ會費ト云フ考デ申シマス
トソレハ別箇ノ問題デアルト思ヒマスガ、
稅デアル以上ハソコニ負擔ノ輕重ト云フコ
トヲ加味シナケレバナラスト思フノデア
リマス、隨テ最高千圓ノ限度ニ於キマシテ
等級ヲ付ケルト申シマスカ、高下ノ別ヲ付
ケマシテ、適當ナ課稅標準ニ從ツテ納稅額
ヲ定メテ行クト云フコトニ致シタイト思ヒ
マス、併シナガラ大キナ國民負擔ト云フ立
場カラ考ヘマス、是ハ市町村民稅ノミヲ
以テ國民負擔ノ均衡ヲ保持スルト云フコト
ハ、今度ノ稅制ニ於テハ考ヘテ居ナイノデ
アリマシテ、國民負擔ト云フ大キナ問題ハ
中央地方ヲ通ズル稅制全般ヲ通ジマシテ、
ソコニ負擔ノ均衡ヲ得ルヤウニ致シテ居ル
ノデアリマシテ、市町村民稅ト云フモノハ
之ニ依ツテ負擔ノ均衡ガ保持セラレテ居ル
ノデアルト、斯ウ云フコトハ申上ゲ兼セル
ト思ヒマス、併シナガラ是ガ稅デアルト云
フ立場ニ於キマシテハ、輕度ナガラ一千圓
ヲ最高トシテ、其ノ限度ニ於テ程度ノ相違
ヲ設ケテ、負擔力ノ上下ニ從ツテ稅額ノ區
別ヲ付ケテ行クト云フコトニ致シタイト思
ヒマス

體的ニ衡平ト云フコトヲ考ヘテ居ル、是ハ
當然デアリマス、併シナガラ一市町村内ト
云フ小サイ見地カラ見マスルト、多クノ人
ハ左様ニ大キナ眼界カラ衡平不衡平ト云フ
モノハ見ナイ、ト致シマス、小サイ市町
村内ニ於キマスル衡平ガ得ラレナイト云フ
ト、何時カノ委員會デドナタカカラモ質問ガ
アツタト思ヒマスガ、ドウモ其處ニ彼此レ
物議ガ起リ易イ、サウ云フ廣イ立場カラノ
衡平、不衡平ヲ言フナラバ、從來ノ戸數割
デ行ク衡平、不衡平ト云ヒマシテモ、ソレ
ハ國稅ヲ合セテ見ルナラバ、ドウ云フ風ニ
ナツテ居ルカ分ラナイ、ソレデ出來ルナラ
バ一ツノ稅ニ付テ衡平、不衡平ヲ決メ
テ行クナラバ、總テ其ノ總和ト云フモノハ
ヤハリ衡平ニナルノダ、ダカラドウシテモ
ヤハリ此ノ衡平ト云フコトハ失ツテハナラ
ナイ、斯ウ私ハ考ヘルノデアリマス、併シ
是ハ又私ノ本當ノ質問ノ番ノ來マシタ時ニ
詳細ハ申上ゲマスガ、ソレハ暫ク茲ニ預
ケマシテ、其ノ負擔分任ノ精神デアリマス、
ドウモ窮極ニ於テ一人ニ付テノ最高額ヲ千
圓ニ決メテ置カレル、ソレカラ色々考ヘテ見
マス、實際上負擔分任ノ精神ヲ實現實行
出來ルデアアラウカドウカト云フヤウナ場合
ガ起ルノデハナイカト考ヘルノデス、ソレ
ニ付テ申上ゲマス、大體戸數割平均一戸
二十圓ト致シマス、今日町村ノ實情カラ言
ツテ、少シ金持ト言ハレル人ハ七八百圓納
メテ居ル、地租ハ一圓デモ一圓五十錢デモ
アリマス、ソコデ二十圓ノ平均ニ取リマシテ、
假ニ最高八百圓納メテ居ル人ガアル、最低ヲ
二圓ノ場合、斯ウ致シマス、戸數割ハ言フマ
デモナク地方別ニ見マス、甚ダ不衡平ニナ
ツテ居リマシタガ、其ノ一市町村内ニ於テ

○池本委員

國稅、地方稅ヲ通ジマシテ全

ハ私ハ大體ニ於テ衡平ヲ保タレテ來テ居ツタモノト考ヘル、サウスト、今申シマシタ二十圓、八百圓、二圓ト云フノガ、大體是ガ一市町村内ニ於ケル衡平ニナツテ居ルドラウト思フ、ソレデ文句ガナイヤウニ、之ヲ町村四圓ノ平均デ抑ヘテ見マスト五分ノ一ニナリマス、ソレデ「レベル」ヲ下ゲテ參リマスルト、八百圓納メテ居ツタ者ガ百六十圓、サウシテ其ノ最低者ハ二圓デアツタノガ四十錢ニナルノデス、ソコデ其ノ最低限度ニ付キマシテ御考ニナツテ居ルカドウカ、其ノ點ヲ先ツ中間的ニ伺ツテ置キマス

○**挾間政府委員** 只今ノ御質問御尤モデゴザイマス、最後ノ御尋ノ市町村民稅ノ最低限度ニ付テハ、別ニ之ヲ一圓ニスルトカ、五十錢ニスルトカ云フコトハ政府ノ方針トシテハ考ヘテ居リマセヌ、地方ノ自由ニヤラセタイト思ツテ居リマス

○**小山委員長** 池本君ドウデス、關聯質問デナク、アナタノ順ノ時ニ...

○**池本委員** ソレデハ

○**山川委員** モウ此ノ事ハ、凡ソ自分ノ考ヘタコトヲ申上ガタ譯デゴザイマスガ、只今仰セラレルノモ同ジコトデゴザイマス、實際此ノ割合ト云フモノノ限度サヘ決メテ置イテ實ヒマシタラ、是ハ何ボ課ケテモ宜イ、是ハ何ボ課ケテモ宜イト云フコトヲ凡ソ頭ニ持ツゲレドモ、ドレノ分ニドウ取レト云フコトヲ其ノ村ニ任セテシマフ、自由ニナルノデアリマスカラ、私ハ從來ノ稅金ヨリ、小サナ村ヲ考ヘマス、モウ一ツ不均衡ヲ助成シヤシナイカト云フ心配ヲ持ツテ居リマスノデ、凡ソ最低モ定メラレマスマイガ、市町村民稅ガ假ニ四圓ト致シマシテ、最低一圓ナラ一圓ト定メルトカト云フ位ノ

コトデモ定メタラドウカト思ツタリスルノデスガ、是マデ村ノ稅金五十錢ト云フヤウナモノガヤハリアルノデアリマス、全體デ一人ニ五十錢位ノモノモアル、ソレ位ノコトニナツテ居ル所ヘ一圓モ課ケラレタラ、是ハ大變ナ増稅ダト言フヤウナ者モ出來テ來ルヤウナコトデアリマスガ、五錢取ツテモ三錢取ツテモ是ハ民稅ト云フコトニナル、サウスト一方デハ千圓マデ取ル、五人ダケ千圓取ツテ、アト二人ハ三百圓取ルカラ、ソレデ村ノ稅金ハ半分、一戸二十圓トシマシタ所デ六百戸アツテ一万二千圓デアリマス、一万二千圓ヲ特別戶數割デ取ツテ居ツタト云フコトニナリマス、一万二千圓ノ半分位ハ是カラデモヨウ取レルト云フコトニナル、サウシテ自轉車稅ダケハ一ツ此ノ村ハ全部省カウヂヤナイカ、是ハ大變ナ人氣取ノコトニナツテ、今度ハ僕ガ一ツサウ云フ風ニスルカラ、僕ヲ村會議員ニ當選サシテ呉レ、僕ハ斯ウ云フコトヲヤツテ自轉車稅ヲ全廢シタト云フヤウナコトモナルノデアリマシテ、村ノ今日ノ心理ナント云フモノハ其ノ點ニ行クト中々難カシイモノデゴザイマスカラ、餘程其ノ點ハ深ク考ヘテ戴イテ、何カ之ニ課ケル標準、基準ト云フヤウナモノヲ作ツテ、府縣廳ノ知事カラ町村長ニ有力ナル資料ヲ渡シテヤラスト非常ニ困ルダラウ、ソレハ府縣ノ方カラデモ宜シイシ、國カラデモ宜シイ、凡ソ之ニハドレ位課ケルトカ、他ノモノニハドレ位課ケナケレバイカヌト云フ風ニ、何トカ其ノ標準ヲ作ツテ戴カヌト困ルト思ヒマスガ、是ハ意見ニナリマスノデ、此ノ位デ私ハ終ルコトニ致シマス、其ノ他先程内藤サンカラモ御尋ニナリマシタ入場稅、其ノ他ノコトニ

付テマダ御伺シタイコトモアリマスガ、是此處デハ内務省ノ方ヘ御伺スルヨリハ、本會ノ方デ色々伺ツタ方宜イカト思ヒマス、私ノ質問ハモウ全部ナクナリマシテ、是位ノコトデゴザイマス、又關聯ニ依リマシテ人様ノ分デ思出シマシテ御質問申上ゲルコトハアルカモ知レマセスケレドモ、當所デハ是位ノコトニ致シテ置キマス

○**小山委員長** ソレデハ池本甚四郎君

○**池本委員** 少シ順序ヲ立テテ私ノ方カラ御伺スル積リデアリマシタガ、住民稅ノ方ヘ飛ンデ參リマシタカラ、其ノ方カラ私ノ質問ヲ片付ケテ行キマス、ソコデ先程中途ニナリマシタ住民稅ノ衡平ノ點デアリマス、負擔分任ノ精神ノ方面カラノコトハ一寸除キマシテ、先刻ノ局長ノ御話デハ、兎ニモ角ニモ此ノ住民稅ダケニ關シテハ特ニ負擔ノ衡平ヲ期シ得ナイ、斯ウ云フ場合ガアルト解釋シテ宜シウゴザマセウカ

○**挾間政府委員** 此ノ市町村民稅ダケヲ以テ完全ニ負擔ノ均衡ヲ期スルコトハ出來ナイト思ヒマスガ、此ノ稅自身ト致シマシテハ、千圓ノ最高限度ノ範圍内ニ於キマシテハ、負擔ノ狀況ニ應ジタ課稅ヲ爲サウニナツテ居ルト思ヒマス、其ノ意味ニ於キマシテハ負擔ノ衡平ハ期シ得ラレテ居ルト思ヒマス、併シナガラ其ノ人ノ全體ノ國民トシテノ負擔ノ均衡ト云フコトハ、國稅ト地方稅トヲ通ジテ考ヘナケレバナラスト思フノデアリマス

係ガアルノカドウカ御伺シマス

○**挾間政府委員** 大體相關聯シテ居リマス、ソレハ市町村民稅ヲ總額ニ於テ五千萬圓ト云フコトヲ一應抑ヘマシテ、サウシテ各團體ニ於テドレダケノ課稅ヲスルカト云フコトヲ定メマス場合ニ、大都市、都市ト農村方面、是ハ團體全體トシテノ課稅力ト云フモノガ自ラ其ノ三種デ區別ガ出來ルデアラウト思ヒマスノデ、是ハ農村方面ト大都市方面トノ資力ト云フモノモ餘程違ヒマスカラ明瞭ダラウト思ヒマスガ、サウ云フ風ニ「ブロック」ニ分ケマシテ、サウシテ八圓、六圓、四圓、斯ウ云フコトニ致シタノデアリマス、ソレハ五千萬圓ノ稅收入ヲ得ル爲ニハ、此ノ限度ノ最高限ヲ抑ヘルコトニ依ツテ五千萬圓ノ收入ヲ得ルコトガ出來ル譯デアリマス、ソレカラ千圓ヲ抑ヘマシタノモ、大體其ノ意味ヲ以テ最高限ヲ抑ヘルコトニシタスデアリマス

○**池本委員** 成程現在ノ戶數割總額、尤モ今日デハ臨時補給金デ一寸減ラサレテ居リマスカラ、アレホ本來ノ戶數割ノ總額カラ見、サウシテソレガ平均二十圓ソコノデ、今度ソレガ四圓、サウシマスルト、ソコデ五千萬圓、平均額ノ四圓ト狙ハレタ點ハ大體ニ於テ其ノ點ニ來ルダラウト思フ、ソコデ其ノ千圓ノ點ハ私カラ考ヘマスルト、千圓ト云フ一人ニ付テノ最高限度ヲ此處ニ置カレタ點ガドウモヨカシイ、下ヘ掘下ゲラレテ來ルト私ハ考ヘル、大體其ノ最高限度ニ付テハ考ヘテ居ラナイト仰シヤイマシタガ、併シソレデハ先程申シマシタヤウニ、大體三十錢デモ、四十錢デモ取ラナケレバナラス、斯ウ云フコトニナルノデスガ、實際ノ町村ノ實務カラ考ヘマスルト、

○**池本委員** 是ハ私ハ町村ニ付テ言フノデアリマスガ、一人ニ付キマシテノ最高千圓、町村デハ平均四圓、ソレガ何ダカ絡ミ合セマシテ御考ニナツタノデアリマスガ、ドウデゴザイマスガ、其ノ點ニ相關シテノ關

ソナモノハ取レハシマセヌ、十圓デモ切符一枚ダ、三十錢デモ四十錢デモ切符一枚買ハナケレバナラヌ、又サウ云フヤウナモノハ、ソレハ決ツタ農村デハ大體先祖傳來居ル者ガ多イデセウケレドモ、一寸多イ町會ニナツテ來レバ、今日居ツテモ明日居ルカ居ラヌカ分ラヌ、又何處ノ隅ニ居ルカ、居ツテモ借家住ヒデアルノカ實際分リハシマセヌ、サウナリマスルト滞納シタラ

何處ヘ取リニ行クカ分リハシマセヌカラ、實際恐ラク取レナイト云フコトニナルト私共思フ、ソレガ少ナケレバ宜シイノデスケレドモ、多イト云フコトニナリマスルト、一寸話ハ戻ツテ來マスルケレドモ、負擔分任ノ精神カラ言ツテ、大體多勢ノ者カラ取レヌデヤナイカ、三十錢デモ四十錢デモ取ルノデナケレバ其處ノ住民全體ニ稅ノ負擔精神ヲ喚起サスコトガ出來ナイ、アナタノ方カラ御出シニナツタ此ノ統計ヲ見テミマスルト、是ハ十四年十二月ニ發行サレタアナ

タ方ノ調査デスガ、現在ノ戸數割ノ負擔額ヲ階級別ニ調べタモノヲ見マスルト、全國的ニハ總戸數ノ中デ一戸平均額以下ノモノガ七割四分四厘ニナツテ居ル、サウシテソレ等ノ人ノ負擔シテ居ル金額ヲ見マスルト二割八分六厘、ダカラ小サイ者ノ數ガ如何ニ多イカト云フコトガ、是デ分リマス、サウスルト其ノ衡平ノ觀念ヲ貫ヌカウトシマスルトズツト下ノ三十錢、四十錢マデ漁ラナケレバナラヌ、ソナコトハ實際上町村事務トシテ殆ド不可能ニ近イデヤナイカ、ソレナラバ、ソナモノハ皆廢メニシテシマヘバ、ソコデ其ノ大部分ノ者ニ町村住民タルノ名譽心ヲ喚起セシメルト云フ、アナタ方ノ立法ノ趣旨デアル負擔分任ノ精

神ガ實際ニ於テ大多數ノ者ニ行ヘナクナルノデハナイカト思ヒマスガ、其ノ點ハドウデアリマスカ

○**狹間政府委員** ソレハ戸數割デモ同ジコトデアリマシテ、今御話ノヤウニ相當低イモノモ戸數割トシテハ年何期カニ分ケテ課ケテ居ルノデアリマシテ、市町村民稅ニ於テ初メテサウ云フ問題ガ起ルト云フモノデハナイノデアリマス、而モ又市町村民稅トシテハ、相當小額ノモノニマデ課稅シテ、十分各人ニ負擔分任ノ精神ヲ徹底セシメルヤウニシナケレバナラヌノデアリマシ、是ハ課稅技術上ノ問題トシテハ、從來ト別段變リナクヤツテ行ケルモノト思ヒマス

○**三好政府委員** 御參考マデニ申上ゲテ置キマスガ、現在ノ戸數割デ小額ノモノヲブドノ程度マデ取ツテ居ルカト申スト、最近ノ調デハ十錢以下取ツテ居ルモノハ市ガ二二、町ガ百六十一、村ガ千三三、合計千八百八十六、十錢以上二十錢以下ガ千四百六十四ト云フ譯デアリマシテ、五十錢以下ヲ取ツテ居ル市町村ヲ調べバ結局六千近ク、詰リ半分以上ノ市町村ガ五十錢以下ノ小額ヲ取ツテ居リマス、而シテ之ヲ大部分二期乃至四期ニ取ツテ居ルノデアリマシテ、市町村民稅ハ一期ニ徵收サセル豫定デゴザイマスカラ、其ノ四分ノ一ノ額デアツテモ現狀ト同ジヤウニナル譯デ、現情ニ比ベテサウ厄介サガ増スト云フ問題ハナイノデハナカラウカト考ヘテ居リマス

○**池本委員** 只今ノ三好君ノ御答辯ノヤウナ實情デアラナラバ、其ノ點ニ於テハ私大體諒承致シマシタ、但シ其ノ前ノ局長ノ、サウ云フ觀點カラノ御話デハ分ラナイ、戸數割ハ大體ガ當初ノ出發ガヤハリ今日ノ住民稅

ト同ジヤウナ精神デ、人頭稅的ニ來テ居ツタカモ分リマセヌガ、最近ニアノ戸數割ガイケナイト云フコトデ廢止ニナツタガ、サウ云フ負擔分任ノ精神ハ何處カヘ行ツテシマツテ、今日ハ稅收目的ノ稅ニナツテ居ルノデセウ、今度ハ稅收目的トシナイ、住民稅ト同ジモノダト云フナラバ變ヘル必要ハナイデハナイカ、全然變ツタカラ變ヘタノデセウ、戸數割カラ違ツタモノヲ捉ヘテ來テ、ソレト同ジダト云フ御答辯デハ分ラナイ、モウ一度御答辯ヲ願ヒタイ

○**狹間政府委員** アナタガ課稅技術上ノ問題ヲ御尋ニナツタカラ、私ハサウ御話シタノデアリマスガ、戸數割ハ十錢、二十錢、三十錢ト云フヤウニアリマシテ、サウ云フ小額ノモノヲ現在デモ課稅致シテ居ルノデアリマスカラ、ソレヲ而モ年何期カニ課稅シテ居ル、デスカラ小額ノモノヲ取ルト云ツテモ別段課稅技術上困ラヌデアラウ、現在デモヤツテ居ルカラ、市町村等モ別段困ラヌト云フ例示ニ戸數割ヲ申上ゲタノデアリマス、今度市町村民稅ニナリマシテ、是ガ假ニ最低五十錢ニナリ、或ハ町村ニ依ツテハ三十錢ニナルカモ知レマセヌガ、サウ云フヤウナ小額ナモノニナリマシテモ、ソレヲ課稅スル場合ニハ、從來戸數割ヲ取ツテ居ツタ町村ノコトデスカラ、實際ノ賦課ニハサシタル困難モナク出來ルデアラウト云フ、課稅技術上ノ例トシテ戸數割ト比較シテ御話シタノデアリマス、ソコデ市町村民稅ノ稅ノ本質トシマシテハ、是ハ決シテ戸數割ヲ變更シテ、戸數割ノ一變形トシテ市町村民稅ヲ持チ出スト云フ考デハナイノデアリマシテ、戸數割ガ今マデ非常ニ負擔過重デアツタ、ソレデ如何ニ變更シテモ之ヲ

殘スコトハ困難デアラカラ、戸數割ハ全廢スル、併シ今度稅ノ體系ガスツカリ變ツテ、地租、家屋稅、營業稅ト云フヤウナモノヲ獨立稅トシテ地方團體ノ稅ノ中心トスルコトニナリマス、ソコニ地方團體ノ住民トシテ負擔ヲシナイモノガ澤山出來テ參リマスカラ、是ハ地方自治ノ建前カラ言ツテ面白クナイデアラウ、ソコデ市町村民稅ト云フ極メテ普遍的ナ納稅義務者ヲ抑ヘタ稅ヲ起スコトガ必要デアアル、ソコデ市町村民稅ヲ起スガ、ソレニ依ツテ非常ニ稅收入ヲ得ルト云フ形ヲ取ツテハ、稅ノ性質上負擔ガ過重ニナツテ面白クナイデアラウ、ソレ故ニ成ベク輕イ稅ニスル、其ノ爲ニハ納稅者一人當リ町村デハ四圓、大都市デモ八圓位ニ抑ヘナケレバイケナイ、同時ニ負擔力ノアル者デモ千圓位ニ抑ヘテ、餘リ多額ナ稅ヲ取ルコトノナイヤウニシヨウト云フコトデ、稅ノ性質トシテハ、戸數割トハ全く別個ノ立場ニ於テ此ノ市町村民稅ヲ課スル、併シナガラ課稅技術上カラ申シマス、既ニ戸數割ニ於テモサウ云フ細カイ稅マデモ取ル經驗ヲ町村ハ持ツテ居リマスカラ、市町村民稅ニ於テモ大ナル困難ヲ感ズルコトナク徵稅ヲスルコトガ出來ルノデハナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマス

○**池本委員** 只今ノ問題デ住民稅ノ本質ガドウ云フモノデアアルカハ大體分リマシタガ從來ノ戸數割トハ違ツタ性質ノ稅デアルト考ヘルノデゴザイマスガ、念ノ爲ニ伺ヒマス

○**狹間政府委員** 戸數割トハ出發點ヲ異ニ致シテ居リマス、戸數割ガ持ツテ居ル長所ハ十分感ジテ居リマス、之ニハ無論缺點モアリマスガ、彈力性ガアルト云フコトハ相

當ノ長所デアリマス、是ハ他ノ方法、即チ三收益稅ノ伸縮稅之ヲ補ツテ行クコトニシヨウ、又一面ニ於テ戸數割ガ所謂市町村ノ負擔分任ノ精神ヲ稅制ノ上ニ現ハシテ居ル、之ヲ何等カノ形ニ於テ稅制ノ上ニ殘シテ置カウ、之ニハ市町村民稅ト云フ形ニ於テ稅制ニ現ハサウト云フコト、市町村民稅ヲ起シタノデアリマス、其ノ點カラ致シマスト、全ク共通ナ稅制デアルト言ヘルト思ヒマスケレドモ、出發點トシテハサウ云フ關係ニ於テ出來タ稅デアリマス

○池本委員 サウスルト大體サウ云フヤウナ課稅方法ハ其ノ地方々々ニ任スド云フコトデアリマスガ、ソレニシテモ大體ドウ云フモノヲ標準ニシテ課稅スルカト云フ大凡ノ所ガアルダラト思ヒマス、或ハ參考書ヲ頂戴シテ居ルカモ分ラナイノデアリマスガ、アナタノ方デハドウ云フモノヲ標準ニシテ課稅ヲサスト云フヤウナ大凡ノモノハゴザイマセヌカ、承リタイト思ヒマス

○挾間政府委員 是ハ成ベク市町村ノ自由ニ任セタイト思ツテ居ルノデアリマシテ、果シテ通牒等ニ依ツテ示スコトガ適當デアルカドウカト思ツテ居リマスガ、吾々ガ先ヅ想像シテ居ルノハ大都市ト農村方面トデハ餘程違フト思ヒマス、例ヘバ大都市方面デハ見立割ニ依ルトカ云フヤウナコトハ困難デアリ、結局所得額ニ依ルコトニナルノデハナイカ、又農村方面デハ見立ニ依ル方法モ適當デハナイカ、即チ一ツニハ所得額ガ標準ニナル場合モアルデアラウ、又所得額ニ依ルトシテモ、ソレデ賦課率ヲ設ケテヤル場合ガアリ、或ハ等級ヲ設ケテヤル場合ガアル、ソレカラ所得額ニ家屋ノ賃賃價格ヲ加味シテヤル場合モアルデアラウ、サ

ウシテソレニ一定ノ等級ヲ設ケテヤル、ソレカラ場合ニ依ツテハ家屋ト宅地ノ賃賃價格ヲ標準ニ抑ヘテモ宜カラウ、又戸數割ノ如ク資産ノ狀況ヲ抑ヘテモ宜クハナイカ、是デ一定ノ係數ヲ作ツテ課稅シテモ宜イ、ソレカラ今申上ゲタヤウナ見立ニ依ルトカ色々市町村ノ實情ニ應ジテ、今申上ゲタヤウナモノガ大體抑ヘ得ル一ツノ課稅標準ノ取リ方デハナイカト思ツテ居リマスガ、其ノ外ニモアレバ、決シテ他ノ方法ニ依ツテハナラヌト云フコトハナイト思ヒマスガ、今一應想像シテ居リマス課稅標準ノ抑ヘ方ハサウ云フモノデハナイカト思ヒマス

○池本委員 サウ致シマス、都市ノ方デハ所得稅のニナリ、町村デハ大體人頭稅のノモノニナル、サウスルト、同ジ稅デアリマシテ、都市ト町村トノ間ニ稅ノ本質的ノ見方ガ何ダカ一貫シナイヤウナ氣ガスルノデアリマス、ソレガ一點ソレカラモウ一ツハ、此ノ戸數割ノ出來タ時ニ、大體見立割ガ戸數割ニ付キマシテハ十分ノ二、二割ニナツテ居ツタカト思ヒマス、ソレガ稅ノ統一ト云フ點カラ申シマス、其ノ見立割ガ少イ程大體整備サレルコトニナル、ソレノ分量ガ多イ程各地間ニ於ケル不均衡ガ行ハレルコトニナルデアラウト思ヒマス、是ガ一點ソレカラ先刻標準ノ一例トシテ御舉ゲニナリマシタ土地ノ賃賃價格或ハ家屋、サウ云フヤウナモノヲ標準ニ致シマス、唯サヘ不動産重課ニナル虞ガアツタモノガ、又シテモソレガ摺ミ易イカラ不動産重課ノ一ツノ原因ニナリハシナイカト思フノデアリマス、サウ云フヤウナモノデアラナラバ、稅源ハ稅源ト致シマシテ、寧ロ現在ノ戸數割ノ方ガ却テ形式ニ於テハハツキリスルノ

デハナイカ、地方ノ實情ヲ御考ニナルコトハ洵ニ宜シイガ、地方ノ實情ニ應ジタガ爲ニ、各地間ニ不均衡ガ起ツテ物議ヲ醸ス、戸數割ガ今日四方八方カラ攻撃ノ的トナツテ潰レタ、是ハ其ノ跡ヲ追フヤウナコトニナリハシナイカト思フノデアリマス、是等ノ點ハドウデアリマセウカ

○挾間政府委員 第一ノ御尋ノ各團體ニ依リマシテ賦課方法ガ違フコトハドウダラウカト云フ點デゴザイマスガ、市町村民稅ト云フモノハ今マデ色々御説明シタヤウナ稅デゴザイマスノデ、是ハ色々ノ形ヲ執ツテチツトモ差支ナイモノデアアル、斯ウ私ハ考ヘテ居リマス

ソレカラ例ヘバ宅地ノ賃賃價格ヲ抑ヘル、或ハ家屋ノ賃賃價格トカ云フヤウナモノヲ抑ヘルト、動モスレバ不動産重課ト云フ虞ガアルノニ、更ニ二重ニサウ云フ弊害ヲ増スコトニナリハシナイカト云フ御尋デアリマスガ、今申上ゲマシタノハ必ズシモ家屋宅地ノ所有者ト云フ意味デ申上ゲタノデハナイノデアリマスカラ、不動産重課ト云フコトニハナラナイノデアリマシテ、別段今御心配ニナリマシタヤウナ點ハ此ノ關係ニ於テハ起ラナイト考ヘマス

○池本委員 只今フト思出シマシタノデ御參考ニ申シマスガ、私ノ過日ノ本會議ノ質問ニ付キマシテ新潟ノ方ノ某寡婦カラ手紙ガ參リマシタ、ソレニ依ツテ今私ガ申シタノデハアリマセヌガ、圖ラズモアナタガ不動産ヲ市町村民稅ノ標準ニシテモ宜イト云フコトヲ申サレタノデ申上ゲルノデアリマスガ、ソレヲ丁度此ノ人ガ心配シテ居ルノデス、手紙ニ依ルト此ノ人ハ亡クナツタ主人カラ四十圓バカリノ家賃ノ家一ツヲ遺シテ貰ツタ、ソレデ全部生計ヲ立テ居ル、ソレデ今度ノ國稅ノ方デ不動産ガ重課サレテ居ル、其ノ點ガ總、書イテアルノデアリマスガ、ソレガ地方稅ニ關シマシテ書イテアルノデス、一ツ御參考ニ申シマスガ、市町村民稅ガ新シク出來ルト云フコトデスガ、ドウ云フヤウニ課稅サレルノカハツキリ致シマセヌガ、若シヤ不動産ニ偏ツタ課稅ヲナサリハセヌカト心配デゴザイマス、ト云フヤウナコトヲ言ツテ居リマス、デアリマスカラ一ツドウ云フ風ニ課稅スルカ、其ノ點ニ付キマシテハ、町村委セトハ言ヒナカラ、アナタノ方デモ能ク御考置ヲ御願シテ置キタイト思ヒマス

ソコデ一人ニ付テノ最高額デゴザイマスガ、私ハ千圓ト云フノハ今日マデ度々質問ガ出タト思ヒマスガ、ドウモ低キニ過ギルノデハナイカト思ヒマス、アナタノ方ハ不公平ニナラナイヤウニトカ何トカ云フ御心配アツテ、アナタノ方ニ御考ガアルノデセウガ、私共ガ考ヘルト、ドウモ千圓デハ低過ギル、是ハドナタカラカモ質問ガアリマシタガ、一方團體ニ於テハ四圓、六圓、八圓ト云フヤウナ階段ヲ認メテ居ラレテ、サウトシテ一人ダケニ付テハ、東京ノヤウナ六百

○池本委員 只今フト思出シマシタノデ御參考ニ申シマスガ、私ノ過日ノ本會議ノ質問ニ付キマシテ新潟ノ方ノ某寡婦カラ手紙ガ參リマシタ、ソレニ依ツテ今私ガ申シタノデハアリマセヌガ、圖ラズモアナタガ不動産ヲ市町村民稅ノ標準ニシテモ宜イト云フコトヲ申サレタノデ申上ゲルノデアリマスガ、ソレヲ丁度此ノ人ガ心配シテ居ルノデス、手紙ニ依ルト此ノ人ハ亡クナツタ主人カラ四十圓バカリノ家賃ノ家一ツヲ遺シテ貰ツタ、ソレデ全部生計ヲ立テ居ル、ソレデ今度ノ國稅ノ方デ不動産ガ重課サレテ居ル、其ノ點ガ總、書イテアルノデアリマスガ、ソレガ地方稅ニ關シマシテ書イテアルノデス、一ツ御參考ニ申シマスガ、市町村民稅ガ新シク出來ルト云フコトデスガ、ドウ云フヤウニ課稅サレルノカハツキリ致シマセヌガ、若シヤ不動産ニ偏ツタ課稅ヲナサリハセヌカト心配デゴザイマス、ト云フヤウナコトヲ言ツテ居リマス、デアリマスカラ一ツドウ云フ風ニ課稅スルカ、其ノ點ニ付キマシテハ、町村委セトハ言ヒナカラ、アナタノ方デモ能ク御考置ヲ御願シテ置キタイト思ヒマス

ソコデ一人ニ付テノ最高額デゴザイマスガ、私ハ千圓ト云フノハ今日マデ度々質問ガ出タト思ヒマスガ、ドウモ低キニ過ギルノデハナイカト思ヒマス、アナタノ方ハ不公平ニナラナイヤウニトカ何トカ云フ御心配アツテ、アナタノ方ニ御考ガアルノデセウガ、私共ガ考ヘルト、ドウモ千圓デハ低過ギル、是ハドナタカラカモ質問ガアリマシタガ、一方團體ニ於テハ四圓、六圓、八圓ト云フヤウナ階段ヲ認メテ居ラレテ、サウトシテ一人ダケニ付テハ、東京ノヤウナ六百

○挾間政府委員 是ハ成ベク市町村ノ自由ニ任セタイト思ツテ居ルノデアリマシテ、果シテ通牒等ニ依ツテ示スコトガ適當デア

○池本委員 サウ致シマス、都市ノ方デハ所得稅のニナリ、町村デハ大體人頭稅のノモノニナル、サウスルト、同ジ稅デアリマシテ、都市ト町村トノ間ニ稅ノ本質的ノ見方ガ何ダカ一貫シナイヤウナ氣ガスルノデアリマス、ソレガ一點ソレカラモウ一ツハ、此ノ戸數割ノ出來タ時ニ、大體見立割ガ戸數割ニ付キマシテハ十分ノ二、二割ニナツテ居ツタカト思ヒマス、ソレガ稅ノ統

○池本委員 只今フト思出シマシタノデ御參考ニ申シマスガ、私ノ過日ノ本會議ノ質問ニ付キマシテ新潟ノ方ノ某寡婦カラ手紙ガ參リマシタ、ソレニ依ツテ今私ガ申シタノデハアリマセヌガ、圖ラズモアナタガ不動産ヲ市町村民稅ノ標準ニシテモ宜イト云フコトヲ申サレタノデ申上ゲルノデアリマスガ、ソレヲ丁度此ノ人ガ心配シテ居ルノデス、手紙ニ依ルト此ノ人ハ亡クナツタ主人カラ四十圓バカリノ家賃ノ家一ツヲ遺シテ貰ツタ、ソレデ全部生計ヲ立テ居ル、ソレデ今度ノ國稅ノ方デ不動産ガ重課サレテ居ル、其ノ點ガ總、書イテアルノデアリマスガ、ソレガ地方稅ニ關シマシテ書イテアルノデス、一ツ御參考ニ申シマスガ、市町村民稅ガ新シク出來ルト云フコトデスガ、ドウ云フヤウニ課稅サレルノカハツキリ致シマセヌガ、若シヤ不動産ニ偏ツタ課稅ヲナサリハセヌカト心配デゴザイマス、ト云フヤウナコトヲ言ツテ居リマス、デアリマスカラ一ツドウ云フ風ニ課稅スルカ、其ノ點ニ付キマシテハ、町村委セトハ言ヒナカラ、アナタノ方デモ能ク御考置ヲ御願シテ置キタイト思ヒマス

ソコデ一人ニ付テノ最高額デゴザイマスガ、私ハ千圓ト云フノハ今日マデ度々質問ガ出タト思ヒマスガ、ドウモ低キニ過ギルノデハナイカト思ヒマス、アナタノ方ハ不公平ニナラナイヤウニトカ何トカ云フ御心配アツテ、アナタノ方ニ御考ガアルノデセウガ、私共ガ考ヘルト、ドウモ千圓デハ低過ギル、是ハドナタカラカモ質問ガアリマシタガ、一方團體ニ於テハ四圓、六圓、八圓ト云フヤウナ階段ヲ認メテ居ラレテ、サウトシテ一人ダケニ付テハ、東京ノヤウナ六百

万人、歐洲ノ小サイ一國ヨリモ大キイ此ノ
東京市モ、渺タル二百戸、三百戸ノ町村モ同
ジ千圓ヲ見ラレルト云フコトハ、私ハドウ
モオカシイト思フノデス、東京デ市町村民
税ヲ實施スル、此處ニ三井、岩崎ガ居ル、
ソコハ千圓ボント課ケル、富者ノ萬燈ト
云フコトガアリマスガ、是ハ富者ノ豆「ラ
ンプ」ミタイナモノデス、一體負擔分任ノ
精神ヲ加味スルト云フノナラ、チツトハ自
分ガ荷物ヲ背負ツテヤラウト云フ氣持ガナ
ケレバ、ソコニ關心ガ向キマセヌ、然ルニ
コンナ富者ノ豆「ランプ」ミタイナモノヲポ
ント千圓ダケ課ケルノナラ、吾々ノ埃程ノ
モノデモナイ、サウ云フヤウニ三井、岩崎
ニ千圓位ノモノヲ課ケテ、サウシテ負擔分
任ノ精神ヲ喚起スルノダト云フノハドウモ
分ラナイ、三井ヤ岩崎ニハソレニ相當シタ
モノヲ負擔サセテ宜イ、サウシテモウ少
シ裕トリヲ持タセルヤウニシタラ宜イ、斯
ウ私ハ考ヘル、ドウモ日本國民一律ニ一
ノ最高額ヲ千圓ト決メルノハ、餘リニ是ハ
統制ニ過ギテ居ルモノト私ハ思フノデアリ
マスガ、ドウデゴザイマセウカ、其ノ點ヲ
一ツ伺ヒタイト思ヒマス

○**挾間政府委員** 此ノ最高額千圓トスルコ
トノ可否ニ付テハ、隨分モウ度々此ノ委員
會デ當局ノ意見ハ申上ゲテ居ル譯デアリマ
スガ、團體別ニ平均最高八圓、四圓、六圓
ト定メマシタコトト、ソレカラ各人ノ最高
納稅額ヲ千圓ト一律ニ定メマシタコトハ、
全クソレヲ定メマス根據ガ違ツテ居ルノデ
アリマス、團體別ニ八圓、六圓、四圓ト云
フ一人ノ平均最高額ヲ抑ヘマシタコトハ、
是ハ大都市ト都市ト農村ト云フ風ニ我國ノ地
方團體ヲ資力ノ狀況カラ三階級ニ分ケルノ

ガ適當デアラウ、團體全體トシテノ負擔力
カラ考ヘテ見マス、其ノ三階級ニ區別シ
テ見テ適當デアラウト思フノデアリマスガ、
併シナガラ個人ノ問題ニ付テ考ヘマス、是
ハ其ノ人ガ何レノ團體ニ居住シテ居ルカト
云フコトニ依ツテ、市町村民稅ヲ納メル稅
額ニ相違ヲ來スト云フコトハ適當デナイノ
デハナイカト思フノデアリマス、今御述ニ
ナリマシタヤウニ三井、三菱ト云フヤウナ
非常ニ富豪ノ人ハ負擔分任ノ精神ヲ現ハス
上ニ於テハ東京ニ居レバ一萬圓、然ラバ今
度階級ヲ別ニシテ農村ニ行ケバ千圓、ソレ
デ本當ニ負擔分任ノ精神ガ現ハレテ居ルカ
ト云フトサウデハナイ、ヤハリ何億ト云フ
資産アル人デアレバ如何ナル團體ニ行ツテ
モ何萬圓カノ負擔ヲシナケレバ本當ノ負擔
分任ノ精神ハ現ハレナイノデハナイカ、ド
ノ團體ニ居ルカラドレダケノ額ヲ負擔スル
ノデアルト云フコトデハナクシテ、其ノ人
ノ資力ヲ應ズルト云フノデアレバ團體ノ區
別ハソコニハ問題ニナラナイノデハナイカ、
即チ各人ニ付テノ最高額ト云フモノハ如何
ナル團體ニ付テモ同ジヤウニ考ヘテ行クノ
ガ宜シイノデハナイカト云フコトデ、全國一
律ニ千圓トシタノデアリマス、千圓ガ適當
デアるか否カト云フコトニ付キマシテハ自
ラ議論ハアルト思ヒマス、或ハ二千圓デナ
ケレバナラヌ、三千圓ガ宜イト云フコトハ
自ラ見方ガアルト思ヒマスガ、市町村民稅
ト云フモノハ大體五千萬圓ヲ限度トシテ考
ヘテ居リマスノデ、先程申上ゲマシタヤウ
ナ理由デ是ハ一人最高千圓ト云フコトニ
シタノデアリマス、又一面之ヲ餘リニ多額
ニシマス、再ビ戸數割ノ如キ負擔過重ノ
弊害ヲ農村方面ニ於テハ起シテ來ルデアラ

ウト云フヤウナ心配モゴザイマスカラ、ソ
コデ全國一律ニ千圓ト致シタ譯デアリマ
ス、サウ云フ關係デ各人ノ最高納稅額ニ付
キマシテハ千圓ト抑ヘテ居リマスガ、各團
體ガ其ノ範圍内ニ於テ定メマスカラ、農村
方面ニ於テハ或ハ事情ニ依ツテ三百圓、
二百圓ト云フノガ最高ニナルカモ知レマ
セヌ、或ハ五百圓位デ納マルカモ知レマセ
ヌ、ソレハ團體ノ事情ニ依ツテ收入ノ關係
上適當ニ此ノ範圍内ニ於テ條例定メレバ
宜シイコトデアルト思フテ居リマス

○**藤本委員** 今ノ問題ニ關聯シテ極メテ簡
單ニ御尋シタイ思ヒマス、先般來ノ御答辯
ニ依リマシテ國稅ハ人稅ダ、隨テ應能原則
ニ依ル、地方稅ハ物稅デアル、隨テ應能原則
ト云フヤウナコトヲ拜聽致シマシテ洵ニ御
尤モダト思ヒマスガ、併シ地方稅デアルカ
ラ必ズシモ物稅應能ニ限ツタモノデナイト
思ヒマス、地方稅ニ於キマシテモ應能原則
ヲ以テ或ハ人稅的ナ稅ガアツテモ然ルベキ
デアルト思フノデアリマス、此ノ觀點ニ立
チマシテ今ノ最高限千圓ノ問題ヲ考ヘル
時、若シ當局ニ於カレマシテ外ノ方デ抑ヘ
テ居ルカラ千圓デ負擔力ヲ抑ヘタノダ、斯
ウ云フ御考ニナルナラバ私何ヲカ言ハシ
アリマス、併シ、今ノ御說明ニモアリマシ
タヤウニ、納稅者ノ納稅額ガ住居スル地域
ニ依ツテ違フノハイケナイト云フコトモ御
尤モデアリマセウ、ケレドモ、此ノ千圓ヲ
モウ少シ増シタ所デ決シテ不在地主、或ハ
不在家主ガ出來ル程ノ問題デモアリマス
マ、故ニ私ハドウシテモ御提案ノ此ノ千圓
デハ地方ノ住民ノ負擔力ヲ抑ヘテ居ルトハ
サレマシテ此ノ點ヲ上ゲルト云フコトハ、私

ニ言ハシムルナラバ地方稅ニ於キマシテモ、
負擔力ヲ抑ヘルト云フ點ニ於テ必要デアリ、
且又所謂複稅制度ノ妙味ガソコニアルノデ
ハナイカ、複稅制度ノ妙味カラ言フナラバ、
若シ負擔力ガアルナラバ何處デモ抑ヘル、
隨テ負擔力ノアル者ニハモウ少シ課ケルノ
ガ宜イノデハナイカ、ソレガ複稅制度ノ妙
味デアルト再言シタイノデアリマス、ソレ
カラ地方ニ豪農或ハ其ノ他ノ不在地主又ハ
其ノ他ノ者ガアルト云フコトモ考ヘラレマ
スガ、サウ云ツタ連中ハ所謂隣保共助ナド
ト云フコトヲ何ヲ通シテヤルカ、ソレハ詰
リ稅ヲ通シテヤル外ナイノデアリマス、而
シテソレハ自治ノ本體デモアリ又稅ノ問題
ニモ關聯ヲ持ツノデアリマス、サウ云フ點
カラ申シマシテモモウ少シ彼等ニ納メシメ
タ方ガ大物ノ存在價値ヲ高メルノデハナイ
カト考ヘル、ダカラ何トシテモ此ノ千圓ト
云フノハモウ少シ御修正ナサルベキデア
ト考ヘマス、更ニ市町村民稅ヲ五千萬圓ニ限
ツタノハ一體ドウ云フ所ニ根據ガアルノデ
アリマスガ、ソレモ併セテ御答辯願ヒタイ

○**挾間政府委員** 地方稅ノ體系ニ御觸レニ
ナツタ點ニ付テノ當局ノ考ヲ申シマス、
地方團體ト稅制ニ付キマシテハ大體地方ノ
資産ノ收益關係ト云フ點カラ見マシテ收益
稅體系ガ主ニナルコトガ私ハ適當デアルト
思ヒマス、併シナガラ其ノ爲ニ人稅ト申シ
マスガ、所得稅的ノモノガ地方稅ニ存在シ
テナラヌトハ考ヘマセヌ、私ハ無論サウ云
フモノガ配置サレテ宜シイモノデアルト思
ヒマス、唯御存ジノヤウニ現在所得稅體系
ニ屬スルモノヲ地方稅トシテ設ケマスコト
ハ事實問題トシテ出來ナイコトニナツテ居
リマス、ト云フノハ一口ニ申シマス、サ

第四回 昭和十五年三月七日

ウ云フモノノ稅源ガ地域的ニ非常ニ偏在致シテ居リマスカラ、之ヲ其ノ儘ニ地方稅ノ直接課徵ノ稅種トシテ參リマス、其ノ結果ハ地方財政ガ非常ニ不均衡ニナツテ參リマス、金持デ配當所得ガ澤山アル人ガ居住シテ居リマス土地ニハ、非常ニ所得稅附加稅ト云フモノガ入ツテ參リマスカラ、其處ノ團體ハ非常ニ財政經理ガ樂デスケレドモ、サウ云フ人ノ居ナイ所ハ財源ガ涸渴シテ參リマス、是ガ現在ノ地方財政窮乏ノ原因ニナツテ居リマスカラ、隨テ人稅的色彩ノアルモノヲ現行制度ノ如キ形ニ於テ地方稅ノ財源トスルコトハ、ドウモ實際問題トシテ出來ナイと思ヒマス、サウ云フ意味カラ致シマシテ今回ノ稅制改正ヲシタノデアリマス、ソレ故ニ配付稅ヲ設ケマシテ三億數千萬圓ト云フ稅源ヲ、形ヲ變ヘテ地方財源トシテ人稅的色彩ヲ持ツ地方稅制ヲ作ツテ居ルノデアリマシテ、私ハ其ノ意味ニ於テ物稅、人稅ヲ廢シテ地方稅體系ヲ作ルコトガ今ノ社會情勢ノ下ニ於テハ適切ナル地方稅ノ體系デアルト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス

ソレカラ第二ニ御尋ニナリマシタ市町村民稅ニ付テ擔稅力ヲ抑ヘテ見タ方ガ宜イデハナイカト云フ御話デアリマスガ、市町村民稅ト擔稅力ノ關係ニ付キマシテハ先刻池本サシニ詳細御答致シマシタ通り、國民負擔全體ノ問題ト致シマシテハ、市町村民稅ノミニ依ツテ擔稅力ヲ抑ヘテ行クコトハ出來ナイと思フノデアリマス、擔稅力全體ノ問題ハ中央地方ヲ通ジマシテ、負擔ノ均衡ヲ得ルヤウニ致サナケレバナラヌコトデアルト思フノデアリマス、併シナガラ此ノ稅自身ニ付テ考ヘマス、是モ一種ノ稅デアリマ

スカラ、稅自身トシマシテハ、其ノ範圍内ニ於テ擔稅力ニ應ジ、千圓カラ五十錢トカ、一圓トカ云フ限度マデ、階級ニ應ジテノ負擔ヲサセルコトニスベキモノデアルト思フノデアリマス、全體ノ國民負擔トシテハ、稅全體デ考慮シテ行カナケレバナラヌコトデアルト思フノデアリマス、ソレカラ隣保共助ノ精神ト稅總額トノ關係ニ付テノ御尋デアリマスガ、是ハ私ハ結局程度ノ問題デアルト思フノデアリマシテ、負擔ヲ分任スル意味ニ於キマシテハ、此ノ程度ノ課稅デ差支ナイモノデアルト思フノデアリマス、其ノ意味ニ於キマシテ此ノ制限ヲ設ケタノデアリマス、ソレナラ然ラバ五千萬圓ト云フモノハドウ云フ所デ抑ヘタノデアアルカト云フコトデアリマスガ、市町村稅ノ稅總額ハ大體五億圓デアリマシテ、其ノ五億圓ノ中大體一割ヲ此ノ市町村民稅ト云フノデ、五千萬圓ト定メタノデアリマス

セスケレドモ、私ノ考ヲ以テ致シマスルナラバ、五千萬圓デハドウシテモ足ラヌ、モウ少シ考慮ニナルベキデハナイカ、斯ウ思フノデアリマス、尙ホ私ノ番ガ來マシタラ御尋致シマスガ、成程一割ハ五千萬圓ダ、併シ結局ハ語弊ガアルカモ知レマセヌガ、今後地方自治體ハ大體充ガヒ扶持ニナリマスノデ、是デハ市町村ガ新ニ事業ヲ起ス場合ニ何カ特別ノ財源ヲ持ツテ居ナケレバ出來難クナルノデアリマス、ソレヲ還付稅或ハ配付稅ト稱ハシメルト云フ御考カモ知レマセヌガ、是ハドウモ固定サレル傾向ガアルト思フノデアリマス、デスカラ何カ地方ノ實情ニ即應スル財源ヲ持ツテ居ルト云フ點方ヲ考ヘマシテ五千萬圓ニ限ラレタコトハドウウカト思ヒマス、此ノ點ニ付キマシテ私ノ願番ノ時ニ申上ゲマス

ソレカラ第二ニ御尋ニナリマシタ市町村民稅ニ付テ擔稅力ヲ抑ヘテ見タ方ガ宜イデハナイカト云フ御話デアリマスガ、市町村民稅ト擔稅力ノ關係ニ付キマシテハ先刻池本サシニ詳細御答致シマシタ通り、國民負擔全體ノ問題ト致シマシテハ、市町村民稅ノミニ依ツテ擔稅力ヲ抑ヘテ行クコトハ出來ナイと思フノデアリマス、負擔ノ均衡ヲ得ルヤウニ致サナケレバナラヌコトデアルト思フノデアリマス、併シナガラ此ノ稅自身ニ付テ考ヘマス、是モ一種ノ稅デアリマ

○藤本委員 今ノ體系ニ付テノ御話ハ私諒ト致シマスガ、併シ中央稅人稅、地方稅ヲ物稅ニシタト云フ今ノ御說明以外ニ、餘リ地方稅ニ人稅ヲ加味致シマス、國稅ヲソレガ妨ゲルト云フ點ガアリマス、併シ今ノ御答辯ニモアリマシタ如ク、地方稅ニ人稅ハアツテモ宜イト云フコトニナレバ、地方稅ニ人稅ヲ入レテ何處デ抑ヘルカト云フコトニナツテ來マス、サウスルトソレハ市町村民稅ダト私ハ考ヘマス、併シハ僅カ稅額五千萬圓程度デアリマスカラ、是デ此ノ應能原則ヲ完遂スルコトハ不可能デア、併シナガラ尙且少シデモ之ヲ抑ヘテ行クノガ復稅制度ノ妙味ダト思フノデアリマス、私ハ斯ウ云ツタ考デ御尋シタノデアリマス、併シ此ノ點ニ付キマシテハ、御答辯ハ要リマ

○池本委員 只今藤本君カラ御話ノアリマシタ住民稅ノ最高額ニ付テ一寸伺ツテ置キマス、若シ吾々多數ニ於テ是ハ少イ、モウ少シ上ゲタイト云フコトニ決マリマスレバ、ソレニ付テ御考ニナリマスカ、ドウデゴザイマス

○池本委員 ソレダカラ案ヲ御出シニナツタデアリマセウガ、吾々ガソレデハイカヌト云フノデアナタ方ニ御注意申上ゲ、其ノ方ガ宜イト言ヘバ、ソレヲ尊重スルト云フコトヲ仰シヤツテ戴キタイ、モウ一應御願致シマス

○挾間政府委員 政府ハ之ヲ適當ナル制限額デアルト考ヘテ居リマス

○挾間政府委員 折角ノ御尋デゴザイマスガ、吾々研究ニ研究ヲ盡シタ上デ、此ノ案ガ色々ノ關係ニ於テ最モ適當ナ案デアルト云フノデ、御審議ヲ願ツテ居ルノデアリマ

○池本委員 ソレダカラ案ヲ御出シニナツタデアリマセウガ、吾々ガソレデハイカヌト云フノデアナタ方ニ御注意申上ゲ、其ノ方ガ宜イト言ヘバ、ソレヲ尊重スルト云フコトヲ仰シヤツテ戴キタイ、モウ一應御願致シマス

○挾間政府委員 折角ノ御尋デゴザイマスガ、吾々研究ニ研究ヲ盡シタ上デ、此ノ案ガ色々ノ關係ニ於テ最モ適當ナ案デアルト云フノデ、御審議ヲ願ツテ居ルノデアリマ

○池本委員 ソレダカラ案ヲ御出シニナツタデアリマセウガ、吾々ガソレデハイカヌト云フノデアナタ方ニ御注意申上ゲ、其ノ方ガ宜イト言ヘバ、ソレヲ尊重スルト云フコトヲ仰シヤツテ戴キタイ、モウ一應御願致シマス

○池本委員 ソレダカラ案ヲ御出シニナツタデアリマセウガ、吾々ガソレデハイカヌト云フノデアナタ方ニ御注意申上ゲ、其ノ方ガ宜イト言ヘバ、ソレヲ尊重スルト云フコトヲ仰シヤツテ戴キタイ、モウ一應御願致シマス

○池本委員 ソレダカラ案ヲ御出シニナツタデアリマセウガ、吾々ガソレデハイカヌト云フノデアナタ方ニ御注意申上ゲ、其ノ方ガ宜イト言ヘバ、ソレヲ尊重スルト云フコトヲ仰シヤツテ戴キタイ、モウ一應御願致シマス

○池本委員 ソレダカラ案ヲ御出シニナツタデアリマセウガ、吾々ガソレデハイカヌト云フノデアナタ方ニ御注意申上ゲ、其ノ方ガ宜イト言ヘバ、ソレヲ尊重スルト云フコトヲ仰シヤツテ戴キタイ、モウ一應御願致シマス

ス、ドウデゴザイマセウカ、其ノ點一付
伺ツテ置キマス

○**挾間政府委員** サウ云フ彈力性ノ問題ニ
付テハ御尋デナカッタト思ヒマスガ、彈力
性ノ問題ニ付キマシテハ今朝政府ノ信ズル
所ヲ申上ガテ置キマシタノデ、ソレデ御諒
承ヲ願ヒタイト思ヒマス、隨テ私共ハ今度
ノ稅制ノ改正ニ依ツテ、相當將來ノ財政需
要ニ即應スル財政收入ヲ得ルコトガ出來ル
ト思フ、ソレカラ市町村稅ト云フノガ將來
戸數割ノ如キ弊害ヲ繰返スコトニナラナイ
カト云フ御尋デアリマス、サウ云フコトヲ
繰返シテハ困ルノデアリマシテ、隨テ此ノ
方法ハ基本原則ニ於テ嚴重ナ制限ヲ設ケテ
居リマシテ、決シテサウ云フ弊害ガ起ラナ
イヤウナ建前ヲ取ツテ居ルノデアリマス

○**池本委員** 市町村稅ニ付テハ是デ終リ
マス、最後ニ伺ヒマスガ、今度國稅ニ付キ
マシテハ、所得稅ノ免稅點ノ引下ヤ何カニ
依リマシテ、稍國民稅ノ性質ヲ帶ビサセ
テ參リマシタ、市町村ニ於キマシテハ、市
町村民稅ヲ拵ヘ上ゲテ、其ノ市町村住民ノ
負擔分任精神ノ涵養ニ資セラレ、真中ニ
アリマス道府縣、之ニ付テモ此ノ三階級ノ
團體カラ申シマス、謂ハバ府縣住民稅ト
云フヤウナモノヲ御拵ヘニナラナカッタ何
カノ御考ガアルノデアリマス、ソレヲ一
ツ伺ツテ置キマス

○**挾間政府委員** 御尤モナ御質問デゴザイ
マス、池本サンモ十分御存ジト思ヒマスガ、
元來地方自治ノ本體ト云フモノハ市町村ニ
アル譯デアリマシテ、日本ノ自治制ト云フ
モノハ沿革カラ申シマス、大體市町村ガ
本デアリ、サウシテ郡制ガアリ、府縣制ガ
アツタ譯デアリマス、其ノ内郡制ガ廢止ニ

ナリマシテ、府縣制ト市制、町村制ト云フ
コトニナツテ居リマスガ、元來自治ノ基本
ト云フモノハ市町村ニアル譯デアリマス、
ソコデ地方自治ト云フコトガ最モ訓練ヲセ
ラレ徹底スルノハ私ハ市町村デアルト考ヘ
テ居リマス、自治ノ機構ノ上カラ申シマシ
テモ、府縣ト市町村ノ間ニハ非常ナ相違ガ
アル譯デアリマシテ、今回ノ稅制ニ於キマ
シテモ、隨テ市町村ニ付キマシテハ、市町
村民稅ト云フモノヲ特ニ設ケタノデアリマ
スガ、府縣ニ付キマシテハ左様ナ制度ハ設
ケテ居リマセヌ、是ハ唯稅制ノミナラズ、
大體自治機構ノ全般ヲ通ジマシテ、府縣制
市制、町村制ヲ御覽戴キマスレバ餘程ソコ
ニ相違ノアルコトヲ御覽戴ケルト考ヘテ居
ルノデアリマス、其ノ點一ツ御承知ヲ願
ヒタイト思ヒマス

○**池本委員** 實ハソコナンデスガ、是、内務
大臣ニ大體御伺シナケレバナラヌ、併シ大
體アナタヲ内務大臣ノ御代リトシテ一ツ御
答辯願ヒタイ、態、大臣ニ來テ戴カタクテモ、
アナタガ大臣トシテ責任ヲ以テ御答ヲ願ヒ
タイ、府縣ノ自治ノ本義ト云フコトデスガ、
往々ニ致シマシテアナタノ仰シナル通り自
治制ハ市町村ニ眼目ヲ置ク、ソコデ府縣ノ
行政權ハ別トシマシテ、財政權ニ付テハ、
兩方ニ搾ツタラ宜イノダ、サウシテ小サク
スレバ宜イノダト云フコトヲ往々ニシテ言
フ人ガアルノデス、ソコデサウ云フヤウナ
考ガ多少デモアリマス、是ハ此ノ住民稅
ヲ離レテモ宜シイノデス、一般ノデモ宜シ
ウゴザイマスガ、サウ云フ御考ガ今當局ニ
於テ御アリカドウカヲ御伺シタイ、私ハ成
ベクナカラヌコトヲ希望スルノデス

○**挾間政府委員** 御注意モアリマスガ、私
モサウ考ヘテ居リマス、決シテ色々ナ關係
ヲ市町村ト國ニ搾リ上ゲテ、サウシテ府縣
ヲ干物ノヤウニシヨウ、斯ウ云フ考ハ持ツ
テ居リマセヌ、唯私ガ先程申シマシタノハ
府縣ノ自治ト云フモノト、市町村ノ自治ト
云フモノニハ自ラソコニ本質的ノ相違ガア
ル、私ハ府縣ト云フモノハ元來市町村組合
ノヤウナモノデアルト思フデアリマシテ、
自治ノ段階ガアルト云フコトニ付テハ根本
的ニ違ツタ考ヲ持ツテ居リマス、府縣ト云
フモノハ市町村ト云フ基本的ノ自治團體ガ
アリマシテ、サウ云フ小サイ自治團體ニ於
テ爲スヲ不適當トスル、又爲シ難キモノデ
アツテ、而モ國ニ於テ爲スコトヲ適當トセ
ザル自治事務ガ相當ニアルト思ヒマス、サ
ウ云フモノヲ行フノガ府縣デアルト思フノ
デアリマス、隨テ私ハ府縣ノ自治事務ト云
フモノガ國ニ取上ゲラレルト云フコトニ付テ
ハ、ソレハ適當デナイト思ツテ居リマス、
併シナガラ「パーセント」ノ自治ト云フモ
ノハヤハリ市町村デアツテ、サウシテ其ノ
上ニアル所ノ府縣ト云フモノハ基本的ノ市
町村自治ニ於テ爲スコトヲ不適當トスルモ
ノ、又モツト廣イ意味ニ於テノ自治トシテ
爲スコトヲ適當トスルモノハ、上級ノ自治
體トシテノ府縣トシテ爲スベキモノデア
ルト思フ、ソレハ如何ナル時代ニ於テモ私ハ
存在スルヤウニ考ヘテ居リマスノデ、今御
述ニナリマシタヤウニ、兩方カラ搾ツテ無
クシテシマワト云フコトハ一寸私ハ想像シ
難イノデヤナイカト思ヒマス

○**池本委員** 大變結構デゴザイマスガ、ソ
コデ分與稅ヲ割リマス、原地還付ノ分ト、
ソレカラ調整配付ノ分トゴザイマス、所ガ
同ジ金ヲ貰フナラソレハ向フカラ貰フヨリ

自分ノ方ニ元ヲ授ケテ貰ツテ、サウシテ自
分ノ畑カラ出シタ方ガ宜イ、同ジ大根ヲ貰
フノデモ、畑ヲ貰ツテソレカラ大根ヲ作ツ
テ自分ガ種ツタ方ガ宜イ、他人ノ畑ノ大根
ヲ其ノ度ニ貰フヨリ、自前ノ方ガ宜イ、其
ノ點カラ申シマス、私ハヤハリ調整配付
ヨリハ、マア地元ノ感情カラ言ヒマス、
原地還付ノ方ガ結構ナンデス、府縣ニハ其
ノ原地還付ノ還付稅ヲ御設ケニナツテ居
ル、市町村ノ方ハ調整配付一本デ行カレ、
此ノ點ハ自治權ノ尊重ト云ヒマス、其ノ
點カラ見マス、府縣ノ方ハ自前ノ分量ヲ
チツトデモ餘計ヤラレタイト云フヤウニ考
ヘラレルトデスガ、ドウデセウカ

○**挾間政府委員** 只今ノ御尋ハ三收益稅ノ
原地還付ノ問題デアルト思ヒマス、是ハ實
ハ單純ニ原地還付ノ便宜ノ方法トシテ府縣
ニ還付スルコトニ致シタノデアリマシテ、
御話ノ通り市町村ニ還付シマシテモ、又府
縣ニ還付シマシテモ、是ハ同ジダト思ヒ
マス、吾々ノ狙ツテ居リマス所ハ、或ル部
分ハ國稅トシテ徵收ヲ致シマシテ、サウシ
テソレヲ其ノ儘ニ地方ニ還元スルト云フ點
デアリマス、ト申シマスノハ、何故ニ一部
ヲ國稅ニ殘スカト申シマス、是ハモウ先
日來度々申シマシタ色々ノ理由ガアツテ、
一應或ル部分ハ殘シテ居リマスガ、ソレヲ
今度國稅カラ地方ニ還元交付シマス場合
ニ、府縣ニ還元スルガ宜イカ、市町村ニ還
元スルガ宜イカ、是ハ單純ナ事務ノ便宜デ
アリマシテ、市町村ニ之ヲ交付スルト云フ
コトニナリマス、一万一千有餘ノ交付ノ
手續ヲ致サナケレバナリマセヌ、是ハ非常
的ノ意味モナイ、地元デ徵收シタ額ヲ其ノ

第四回 昭和十五年三月七日

儘與ヘル譯デアリマスカラ、府縣デスレバ四十七ノ手續、濟ム譯デアリマス、隨テサウ云フ意味カラ府縣ニ還付スルト云フコトニシタノデアリマス、同時ニ附加稅ノ賦課率トシマシテハ、府縣ハ百分ノ百デアルガ、市町村ハ百分ノ二百、隨テ財源トシマシテハ府縣ト市町村トガ同額ヲ得ル、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、是ハ全然府縣ニ自治的ノ力ヲ與ヘテ、市町村ニ少シ酷ニ當ツテ居ルト云フノデアリナクテ、單純ニ還付ノ技術的便宜ノ問題デアア云フ扱ヲ致シタノデアリマス

○池本委員 ソレデハ此ノ住民稅ニ關シマシテハ是デ一應終リマシテ、私ハ當初申シテ居リマシタ質問ノ順序ニ返リマス、ソコデ今度ノ地方稅改革ノ目標、政府ノ仰シヤル所ヲ聽キマス、第一ニハ地方負擔ノ輕減、第二ニハ地方的負擔ノ不均衡ノ是正、第三番目ニハ、彈力性ノ附與、第四番目ニハ例ノ目的稅、受益者負擔金制度ヲ創設シタ、第五番目ガ國稅ト地方稅トノ負擔區分ノ是正、斯ウ云フヤウナ大體五ツノ目標ヲ御擧ゲニナツテ居ツタト思ヒマス、ソコデ私此ノ點ヲ一寸拾ツテ見マス、二番目ノ地方的不均衡ノ是正、是ハ分與制度ヲ設ケラレマシタノデ、兎モ角モ此ノ方面カラ其ノ目的ハ達成サレタ、第四番目ノ此ノ目的稅受益者負擔金制度ノ創定、是ハ私共ガ多年希ツテ居ツタモノ、之ヲ御拵ヘニナリマシタコトハ是ハ大ニ結構デアリマス、第五番目ノ國ト地方ノ負擔區分ノ是正ハ、是ハマア兎ニ角門口マデハ行カレタガ、マダマダ後ニ殘ツテ居リマス、ダガ兎ニ角教員給ノ定率負擔制ヲ御拵ヘニナツタ、或ハ警察費ノ國庫負擔金ノ均整ヲヤラレタト云フ

ヤウナ點デ門口マデ行ツタガ、兎ニ角三點カ五點ノ値打ハアル、ソコデ第一ニ負擔ノ輕減ノ意味デスガ、負擔輕減ノ意味ニ付キマシテハ、是ハ甚ダ愚問カモ知レマセヌガ、是ハ地方團體トシテノ負擔ノ輕減ヲ意味サレテ居ルノカ、或ハ個々地方民ノ國、地方稅ヲ通ジテノ負擔輕減ヲ言ツテ居ラレルノデアリマセウカ、其ノ點ヲ一ツ中間的ニ伺ツテ置キマス

○挾間政府委員 今ノ負擔ノ輕減ノ問題ニ付キマシテハ、何レ資料ヲ御要求ニナツテ居リマス、デ差上ゲルコトニ致シタイト思ツテ居リマスガ、大體總額ニ於テ三億三千七百萬圓程度ノ輕減ニナルト考ヘテ居リマス、一寸各稅ニ付テノ稅額ハ宙ニ覺エテ居リマセヌガ、例ヘバ地租ニ付キマシテハ課率デ申シマス、賃賃價格百圓ニ付テ今マデガ十三・一一デアツタノガ八ニナリマシカ、或ハ家屋稅ガ九・三ニナリマシカ、ガ七ニナルトカ云フヤウナコトデアリマシテ、總額ニ於キマシテ、三億三千七百萬圓程度ニナリマス、何レ各稅ニ付テノ數字ヲ申上ゲマスガ、唯一應御含ミ置キテ願ヒタイト思ヒマス、今度ノ稅制ハ一應現行制度ヲ白紙ノ狀態ニ置イテ、新シク稅制ヲ立テマシタノデ、ソツクリソレガ皆減稅ニナツタト云フコトニハナリマセヌガ、各稅ヲ形式的ニ取ツテ見ルト、ドレダケ減稅ニナルカト云フコトヲ申上ゲマス、三億三千七百萬圓ノ減稅ニナツテ居ルト云フコトハ、一應申上ゲルコトガ出來ルト思フノデアリマス

ソレハ御届ケスルグラウト思ヒマス

○池本委員 先程仰シヤイマシタ地租ノ輕減デスガ、私モ從來國稅ト府縣稅、市町村稅ノ制減率ヲ取ツテ見マシタガ、サウスルト從來ノ舊法ニ依リマス、地租ニ付キマシテハ百分ノ九・四デアツタト思ヒマス、ソレガ改正案ニ依リマス例ノ百分ノ八ニナツテ居リマシテ、此ノ點一寸輕減ニナツテ居リマス、所ガ營業稅ノ方デハ現行法ニ依リマス百分ノ五・五二五、是ハ市町村ノ制限率デヤツテ居リマス、ソレガ改正案デハ百分ノ六ニナツテ居ツテ、此ノ點ハ一寸殖エテ居リマス、併シソレハ差引色々ナモノデソレダケ減ルト斯ウ仰シヤツタ、ソレナラバ負擔輕減ノ方モ大體宜イ譯デスガ、ソレガ結局ハ個人ノ負擔ノ輕減ニナルト云フ譯デスカ、地方民ノ團體的ノ負擔輕減ニナルノデスカ、是ハ何ダカ愚問カモ知レマセヌガ御同致シマス

テ一・三三ノ減稅ニナル譯デアリマス、營業稅ハ國稅ガ二・三八、ソレカラ地方稅ガ三・一七ニナツテ居リマスカラ、總計シテ五・五五デアリマス、今度ハ六ニナツテ居リマスカラ、是ハ少シ増稅ニナリマシテ○・四五ト云フ増ニナリマス、是ハ個人ニ付テ是ダケ減稅ニナルノデアリマスガ、營業稅ハ少シ増加スルノデアリマス、サウ云フ譯デアリマス

○池本委員 將來制限率ノ儘デ行ケバサウ云フコトニナリマセウ、其ノ點ハ分リマシタ、ソコデ彈力性ノコトデスガ、是ハ愚問ニナルカモ知リマセヌガ、彈力性ヲ付與シタ、是ハ此ノ地方稅制ノ體系上カラ、課稅標準自體ノ自然的増減ニ餘力ガアルト云フ意味ノ彈力性デスカ、或ハ人工的ニ將來稅率ガ引上ゲ易イノダ、其ノ點ニ於テ彈力性ガアルト云ハレルノデスカ、是ハドツチノ意味デゴザイマセウカ

○挾間政府委員 ソレハ兩方ノ意味デス、モウ少シ詳シク申シマス、今度ノ改正案ニ依リマスレバ、私ハ常ニ擔稅力ト云フノヲ稅ノ伸縮力ト伸張力トノ兩方ニ分ケテ話シテ居リマス、伸縮力ト云フノハ課率ノ變更ニ依ツテ稅ヲ増徴スル力、伸張力ト云フノハ課稅標準ノ自然増加ニ依ツテ、課率ハ變ヘナイデモ自然增收ガ出テ來ル場合、此ノ二ツデアリマス、現行制度ヲ考ヘマス、御存ジノヤウニ戶數割ハ何處マデモ取レマス、ソレデスカラドク、伸縮性ガアルヤウニ思ヒマスガ、相當取ツテ居リマスカラ、モウ實ハ伸縮性ハナイト云ツテ宜イノデス、ソレカラ都市・道府縣デハ營業收益稅ナリ、所得稅附加稅ノ伸縮性ガアルヤウニ言ツテ居リマスガ、隨分制限外課稅ヲ致シマシテ

○池本委員 其ノ數字ハ分與金ノ調整配付ノ稅トハ違ヒマス

○挾間政府委員 違ヒマス、モウ御手許ニ

實ハ伸縮性ガナイト言ツテモマア宜イカト
思ヒマス、行詰ツテ居ル、今度ノ税制ニ依
リマス、サウ云フ制限外課税ヲシテ取ツ
タ税總額ヲ抑ヘマシテ、課率ヲ決メテ、ソ
レガ一定ノ賦課率ニナツテ百分ノ八、七六
ト云フモノニナツテ居ルノデスカラ、今度
之ニ對シテ少シデモ増率スルト云フコトニ
ナレバ、現在ヨリモ餘計ニ税ガ取ラレルト
云フノデスカラ、所謂伸縮性カラ申シマシ
テモ今マデヨリモ餘力ガアルト云フコトガ
出來ルト思フノデス、ソレカラ一面ノ課税
標準ノ増加ニ依リ自然増收ノ問題デスガ、
是ハ現行制度ニ依リマスト先程藤本サシノ
御尋ニ申上ゲマシタヤウニ、課税標準ガ地
域ノニ非常ニ偏在シテ居リマス、所得税ノ
税源ナンカ地域ノニ偏在致シテ居リマスカ
ラ、此ノ儘ニシテ置クト云フト、税源ノナ
イ所ニハ幾ラ景氣ガ好クナツテモ税源ガ膨
脹シテ參リマセヌ、其ノ代リニ殷賑産業等
ガアル所、或ハ金持ガ多イ所デハドンノ
税ガ入ツテ來ル、是デハ地方財政ハ跛行的
ニナラザルヲ得ナイ、デハ根本的ニ改正
シナレバナラス、改正案ニ依リマスト營
業税ガ全額地方税ニナリマスカラ、ソレノ
伸張力ト云フモノハ相當大キクナツテ來ル、
是ハ大體地域的ニマア伸張力ガ出テ來ル、
ソレカラ配付税、是ハ所得税ト法人税トガ
此ノ中ニ入ツテ居リマスカラ、其ノ自然増
收ト云フモノガ相當ニ増シテ來マスノデ、
伸張力ガ十分ニ加味サレルグラウ、斯ウ云
フノデ彈力性ヲ伸縮性ト伸張性ノ兩方カラ
分ケテ考ヘマシテ、現行制度ノ行詰ツテ居
ル狀態及跛行的ノ狀態カラ救済シテ、改
正案ハ相當ノ彈力性ヲ地方財政ノ上ニ與ヘ
テ居ル、斯ウ信ジテ居ルノデアリマス、尙

ホ今朝程モ數字デ申上ゲマシタガ、モウ一
遍數字ヲ申上ゲマス、改正前ノ所得税、
附加税ト營業稅收益稅附加稅ヲ合算致シマ
シテ、道府縣市町村ヲ通ジテ二億七千七百
萬圓、是ガ伸張力ノアル稅デス、改正後ハ
配付稅ト營業稅、其ノ附加稅トヲ合セマス
ト五億四千八百萬圓、是ガ伸張力ノアル稅
ニナリマスカラ、總額ニ於テ二億七千七百
萬圓ト云フモノガ伸張力ヲ持ツタ地方財源ト
シテ増加スルト云フコトニナルノデス、戶
數割ガ假ニ伸張力ガアルト假定シテ其ノ額
ヲ控除致シマシテモ、尙ホ改正案ノ方ガ一
億四千四百萬圓ダケ伸張性ノアル稅源ガ、
地方ニヨリ以上付與セラレテ居ルト云フ形
ニナツテ居ルノデアリマスノデ、計數的ノ
モノモ附加ヘテ參考ニ申上ゲテ置キタイト
思ヒマス

○池本委員 色々御説明ヲ受ケマシタガ、
ソコデアア私ノザツトシタ見方ヲ一應申上
ゲテ見マス、大體戶數割、是ハ主トシテ
町村財政ノコトニナリマセウガ、此ノ戶數
割ガ廢止ニナツタ、是ハ成程只今ノ仰セニ
ナリマシタヤウニ事實モウ此ノ上ノ伸張性
ハナカラウカト思ヒマスガ、兎モ角伸縮自
在ノモノデアツタ、ソレヲ廢メニナツタ、
其ノ次ハ市町村民稅、是ハ稅收ヲ目的トシ
テ居ラレナイノデ、稅收ヲ目的トシテ居ラ
レナイモノヲ作り上ゲテ代リ財源ニシタ、
第三番目ニハ所得稅ノ附加稅ヲ廢メニナツ
タ、ソレニ代リマスノガ三收益稅ノ還付デ
アリマスガ、是ハ斯ウ見タライケナイノデ
スカ、地租、ソレカラ家屋稅、是ハモウ限
ラレタモノノデ、ドウモ是ニハ彈力性トカ、
伸張性トカ云フモノハナイ、私ハ斯ウ思フ
ノデス、營業稅デスガ、營業稅ダツテソレ

ハ都市的ニ考ヘレバ成程伸ビル餘地ガアル
カモ分リマセヌケレドモ、ドウモ町村ニア
ルヤウナ營業稅ト云フモノハ知レテ居ル、
ダカラシテ是モ伸ビナイ、此ノ三收益稅ニ付
テノ原地還付、是ハドウモ伸張力ガナイト
思フ、殘ル所ハ新ニ加ハツタノハ何カト云
フト、是ハ町村ノ方デ申シテ居ルノデスカ
ラ左様ニ御承知願ヒマス、府縣カラ或ル種
ノ雜種稅ヲ分ケニナツタ、ソレハ分ケテ
貰ツタ、是ハ新ナ稅源デス、其ノ外ニ特定
臨時的目的ノ受受益者負擔金制度ヲ御設ケ
ニナツタ、是ダケデス、新シク加ハツタノ
ハ——サウスルトドウモ甚ダ心細イ、ダ
カラ足ラヌモノハ分與稅デヤルンデヤナ
イカ、斯ウ云フコトニナルグラウト思フ、
ソコデア分與稅デスガ、氣前ヨクドシノト
言フダケ貰フノナラバ大變結構ナノデスガ、
是ハ何ダカ摺ツタ揉ンダ、殊ニ其ノ出先ノ
大藏省ノ稅務署ノ役人アタリガセココマシ
イコトヲ言ヤシマセヌカ、吳レナケバド
ウモ窮屈ニナツテシマフ、十億何千萬圓
ノ總稅收中三億三四千萬圓、三割五四分
云フモノハ兎ニ角才情ケ、是ハマア半抱ヘ、
又三割五分抱ヘ、頂戴米ト云フヤウナ譯
デス(笑聲)ダカラ是ハ氣前ヨク吳レマスカ、
ドウデスカ、ソレハキチント規則通りト仰
シヤルデセウガ、法ハ運用ニアルノデ、幾
ラ法デキツチリト決メラレテモ運用ニアル
ンダカラ、一ツ氣前ヨク吳レマスカ、ドウ
デスカ、ソレヲ一ツ……

○挾間政府委員 今御述ニナリマシタ初メ
ノ點デスガ、是ハ御述ニナリマシタヤウニ
地租、家屋稅ニ付テ賃賃價格ガ餘リサウド
ンドン變ルモノデハゴザイマセヌ、隨テ先
程申上ゲマシタ伸張力ト云フモノハハ餘
リアリマセヌ、併シシナガラ團體ガ色々ナ仕
事ヲスル場合ニ課率ヲ増減スルト云フコト
ハ、是ハ必要ナ限度デ出來ルノデスカラ、
其ノ意味ニ於テ團體財政トシテハ伸縮性ヲ
無論持ツテ居ル、ソレカラ營業稅ノ問題ハ、
是ハ景氣ニ依リマシテ動キハアリマスガ、
伸張力ハアル譯デス、サウシテ斯ウ云フ稅
收入ノナイヤウナ所ハ即チ課稅力ガ非常ニ
乏シイ所デスカラ、ソコニハ配付稅ガ行ク
譯デス、配付稅ガ大藏省ノ稅務官吏ノ手ニ
依ツテドウスウト云フ御尋デスガ、ソレハ
モウ全クサウ云フコトハナイノデ、法律デ
御覽ノヤウニ所得稅、法人稅ノ一割六分五
厘五毛ト云フモノハモウ法律デ當然來ルシ、
ソレカラ遊興飲食稅、入場稅ノ五割ト云フ
モノガ當然參リマシテ、ソレガ平年度ニ於
テ三億二千七百萬圓ト云フ額ニナル、是ハ
課稅力ト財政事情トヲ標準トシテ配分セラ
レル譯ナノデ、其ノ配分ノ方法ハ法律デガ
ツチリト定ツテ居リマシテ、殆ド官廳ノ自
由裁量ノ餘地ハナイ、況シテ財源ノ收入
ニ付テハ大藏當局ガ手心デ自由ト云フコト
ハ全然出來ナイ譯デアリマス、ソレカラ今
ノ課稅力ノ弱イ所ニハ、課稅力ノ弱イ程度
ニ逆比例シテ第一種配付額ト云フモノガ餘
計行クコトニナルノデ、今マデ困ツテ居ツ
タ所ハ非常ニ此ノ稅制ニ依ツテ財政經理上
樂ニナルト云フコトハ茲デ保證シテ申上ゲ
テ宜イト思ヒマス

○小山委員長 池本君、一寸御相談申上ゲ
マスガ、今日ハ本會議ノ關係上、アト十分
カ十五分デ終了シタイト思ヒマス

○池本委員 ソレデハ十五分程度デ打切
ルヤウニ致シマス——御説明ノ如クアランコ
トヲ切望致シテ置キマス、所デ一言申シテ

置キマスガ、先程三億何千万圓地方ノ爲ニ輕減ニナルト仰シヤル、所ガ只今地租家屋稅ニ付テハ、ドウカスルト將來必要ノ爲ニ課率ヲ引上ゲレバ伸ビル、斯ウ云フヤウナ御話ガアツタ、サウスルト三億何千万圓ト云フモノハ其ノ場合ニハ割引シテ考ヘナケレバナラヌト思ヒマス、ダカラサウスルト三億何千万圓ヲ永久ニ至ルマデナドト、サウ自慢タラシクモ言ヘナイ、斯ウ云フコトヲ一寸申上ゲテ置キマス、其ノヤウニ感ジマシタ

○**挾間政府委員** ソレハ賦課率トシテハサウナツテ居リマス、併シソレヲ増率スル場合ニハソレハ施設ヲ宜クスルノデスカラ、施設ト課率ヲ睨ミ合サナケレバナリマセスカラ、ソレダケ申上ゲマス

○**池本委員** ソコデ分與稅ノ問題デスガ、今度出マシタ三億三四千万圓ノ分與稅ノ額デゴザイマスネ、是モマダ調整配付ノ稅デス、アレハ差當ツテノ地方財政需要ニ適應スルモノト思ハレルノデスガ、將來ノ地方財政膨脹ニ應ズル用意ニ付テ御考慮ナサツテ居ルノデアリマセウカ、此ノ點カラ申シマスルト、或ハ是ハ參考書ガ出テ居ルノカモ分リマセウカ、若シ出テ居ラナケレバ一ツ此ノ資料ヲ頂戴致シタイト思フノデアリマスガ、最近、出來レバ十箇年位ノ地方財政ノ膨脹ノ趨勢、ソレカラ此ノ財源ニナツテ居リマスル所得稅、法人稅、遊興飲食稅、ソレカラ入場稅、サウ云フモノノ自然増收ノ趨勢ト其ノ對照的ナ數字ヲ一ツ御示テ願ヒタイト思フノデゴザイマスガ、ドウデゴザイマセウカ

○**挾間政府委員** 三億二千七百萬圓ト云フノハ詰リ昭和十五年度ニ於ケル現行制度ノ

稅制ノ下ニ於テ幾ラノ稅收入ガアルカ、ソレヲ計算シタ結果十億三千二百萬圓ト云フ數字ガ出マシタ、ソレヲ基準トシテ調整財源三億二千七百萬圓ト云フ平年度ノ數字ガ出タ譯デゴザイマス、ソレガ基準ニナツテ居ル譯デスガ、ソレカラノ後年度ニ於ケル問題ハ、先程申上ゲマシタ稅ノ伸張力、所得稅、法人稅等ノ自然増收ガアリマスカラ、ソレニ依ツテ段々財政收入ガ動イテ來ルト思ヒマス、尙ホ地方財政ノ膨脹ノ狀況等ニ付キマシテハ財政課長カラ一寸御話申上ゲマス

○**三好政府委員** 池本サンノ御希望ノ數字ニ或ハピタツト參リマセウカ、御手許ニ差上ゲマシタ要求ノ資料デ御配付申シマシタモノノ中ニ五箇年間ノ歳入歳出ノ決算ノ比較表ガ出テ居リマスカラ、ソレデ御覽ヲ願ヘレバ幸デアリマス

○**池本委員** ソコデ將來ノ地方財政上收入不足ガ出來タ場合、其ノ時ノ處置ヲドウ云フ風ニ致サレマスカ、即チ分與稅ヲ增加スル方法ヲ取ラレマスカ、又其ノ分與稅增加ト申シマシテモ、分與稅ノ配付額ヲ増サレマスカ、或ハ其ノ還付稅ノ稅率ヲ増スヤウニセラレマスカ如何、分與稅ノ增加ニ依ルノデナケレバ、他ノ地方稅種ノ引上ヲ想像シテ居ラレマスカ、或ハ又分與稅ノ稅源ガ足リタイト云フヤウナ場合ニハ、他ノ稅種ヲ此ノ分與稅ノ財源ニ持ツテ來ラレルヤウナ場合モアリマセウカ、此ノ點ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○**挾間政府委員** 是ハ地方團體ノ施設ト地方ノ財源ト云フモノトハ大體睨ミ合ツテ出サナケレバナラヌト思ヒマス、財政收入ガ自然ニ減少スル時ニハ、國ノミナラズ地方

團體モ財政緊縮ノ方針デ行カナケレバナラヌト思フノデアリマス、非常ナ變動ガ起ラナイ場合ハ別ト致シマシテ、只今マデノ見透シトシマシテハ、此ノ稅制ノ下ニ於キマシテ地方ノ財政需要ト云フモノハ十分充足サレテ行クト考ヘテ居ルノデアリマス、ト申シマスノハ此ノ十億三千二百萬圓ト云フモノヲ抑ヘマシタノハ、最近非常ニ莫大ナ自然増收ガ此ノ數年間アリマスカ、其ノ自然増收ヲ見越シマシテ、其ノ稅總額ヲ抑ヘテ十億三千二百萬圓ト云フモノヲ使ツテ居ルノデアリマスカラ、ソレダケノ稅ガ收入アルト云フヤウニシテ三億二千七百萬圓ト云フ配付稅ガ定ヌラレテ居リマスノデ、大體ノ見透シトシマシテハ、之ニ依ツテ地方團體ノ財政經理ハ支障ナク行ケルト、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○**池本委員** 御承知ノヤウニ町村ニハ基本財産ト云フモノガゴザイマス、是ハ政府ノ方デ御獎勵ニナツテ居ル、又基本財産蓄積條例ナント云フモノヲ拵ヘマシテ、年々ノ收入ノ中カラ基本財産へ蓄積シテ居ルモノガ多イノデゴザイマス、サウ云フ風ニ財産ヲ段々蓄メテ居ル、ソコヘ調整配付稅ヲ戴クノデスガ、一方ニ財産ガアリ、又ソコノ方ヘ段々蓄メテ行キナガラ、コツチカラ頂戴スルノハドウモ何ダカラカシイヤウニ思ハレル、又貰フ方モ一寸氣兼ねデアアル、サウ云フ思フサセズニ別個ニ御考ニツテ戴ケマスカ、ドウデゴザイマセウカ

○**挾間政府委員** ソレハ全然別ノ問題デゴザイマス、詰リ配付稅ト云フノハ、一ツハ割増人口デ分ケマス、一ツハ國稅附加稅ノ額ガ基準ニナリマス、今ノ御話ハ稅外收入ノ問題デ、又基本財産ノ問題デアリマス、

全然此ノ配付稅ノ基準トハ關係ガナイノデスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス

○**池本委員** 私モ左様ニ思ツテ居リマシタケレドモ、念ノ爲ニ一寸伺ツテ置イタ譯デアリマス、次ハ目的稅ニ參リマス、目的稅ヲ起シ得ベキ事業ノ種類範圍デアリマスガ、ソレハ水利事業其ノ他土地ノ利益トナルベキ事業、斯ウアルノデス、ソレデ臆ゲナガラ此ノ目的ハ限定サレテ居ルコトハ承知出來マスガ、昨日カ一昨日カノ御質問ニモアリマシタヤウニ、地方ノ町村デ一番費用ノ掛リマスノハ、是ハ年々歳々起ルモノデハアリマセウカ、併シ起ツタ場合ニドカント應ヘルノハ、學校トカ役場ノ建築デアリマデゴザイマセウカ、如何デスカ

○**挾間政府委員** ソレハ此處ニ舉ゲデゴザイマスヤウニ、七十九條ノ共同作業場、共同倉庫、共同集荷場、是ハ例示デゴザイマスガ、大體此ノ種類ノモノデゴザイマシテ、今御述ニナリマシタヤウナモノハ此ノ範圍ニハ入ラナイノデゴザイマス

○**池本委員** サウスルト此ノ目的稅ト云フモノハ、大體小サイ事業ヲ目標ニスル、斯ウ云フ御趣旨デゴザイマスカ

○**挾間政府委員** 小サイ事業ト申シマスカ、共同ニ利用スル目的ヲ以テ經營スル施設ヲ對象トシタイト思ツテ居リマス

○**池本委員** 受益者負擔金制ノコトデ一寸伺ヒタイト思ヒマス、是ハ大體個人ヲ目標トサレテ居リマセウカ、ソレナラバ地方ノ實情カラ考ヘマスト、此ノ受益者負擔金ヲ取リマス場合ニ、個人々々カラ取ルヨリモ、團體カラ取ル方ガ取リ宜イ場合ガアルノデス、個人カラノ受益者負擔金徵收モ宜シイ

ガ、或ハ團體ニ賦課スルト云フヤウナ點ニ付テ御考ハゴザイマセヌデセウカ

○**挾間政府委員** 受益者分擔金ノ制度ハ從來モアツクノデゴザイマスガ、將來ノ制度ヲ地方稅制ニ於テ擴張シタノデゴザイマシテ、從來トモヤハリ個人ヲ對象ト致シテ居リマス、ソレデ只今御述ニナリマシタヤウナ部落ヲ人格的ニ見マシテ、ソレニ對シテ分擔金ヲ課スルト云フコトハ、現行制度ノ下ニ於テハ考ヘテ居リマセヌ

○**池本委員** 是ハ何トカ出來レバ一ツ便宜ノ爲ニ御考下サル方ガ結構ト思ヒマス、其ノ方ガ實際圓滑的ニ取レルコトガアラウト思ヒマス、三好サン京都ニ居リマシタ時ニ御存ジダラウト思ヒマスガ、機會ガアレバ御考置テ願ヒタイト思ヒマス、其ノ次ハ不在地主ノ課稅デゴザイマス、是ハ無理カト思フノデゴザイマスガ、一ツ御伺シテ見タイト思ヒマス、何トカ之ニ不均一賦課ガ考ヘラレナイモノデセウカ、是ハ決シテ私ハイデメルト云フヤウナ意味デヤナイノデゴザイマス、併シ第一ニ考ヘマスノハ、地方稅ハ應益主義ヲ主ニスル、第二ニハ社會政策的ノ意味ヲ加ヘル、第三ニハ地方ノ實際ノ實情ヲ考ヘル、ソレデ私ハ不在地主ノ位アルカヲ調ベテ見タノデス、無論小サイ區域デス、私ハ京都府ノ久世郡ト云フ茶ノ名所ノ宇治ノ近所デスガ、ソコノ郡農會ヲ使ツテ調ベサシタノガス、一局部ノコトデスガ、是モ他山ノ石トシテ御覽ヲ願ヒタイ、此ノ郡内ノ總段別ガ二千九百四十二町步、其ノ所有戸數ガ三千五百五十八、其ノ中デ當該町村及ビ遠ク離レタ土地ニ居ル地主ノ所有スルモノガ千三百三十二町步アル、其ノ割合ハ總段別ノ中四割四分六厘、其ノ所有ス

ル戸數ハ千三百九十三戸デ、四割七分二厘、所ガ隣リヤ近所ノ町村カラノ地主ヲ除イテ、本當ノ都市カラノ地主、是ダケヲ取ツテ見マスト、四百四十八町步、一割五分一厘、所有者戸數デ六百三十七戸、二割一厘、斯ウナツテ居リマス、是ハ相當持ツテ居ルノデス、所ガ地方ノ施設ヲシマス時ニ斯ウ云フ不在地主ガ一番邪魔ニナルヤウナコトガアル、一體吾々ハ日頃町村ニ居リマシテ色々ノ世話ヲスル、ソレヲ遠イ所カラ高見ノ見物ヲシテ居ツテ、其ノ同ジダケノ利益ヲ得テ居ル、サウシテイザ公共事業ヲヤル場合ニハ、土地デモ買收スル場合ニハ摺ツタ揉ンダト文句ヲ言フ人々ガアル、ソレデ私ハ社會政策的ノ意味デ、地方ノ實情ヲ應益主義カラ考ヘテ、何トカ出來ルナラバ、イデメル意味デヤナイガ、今御話申上ゲタヤウナコトカラ見ルナラバ、正當ナ理由ニ依ツテ何トカソコニ不均一賦課ガ出來ナイダラウカト考ヘマス、ドウモ私ハ從來、捉ヘテヤラウト思フツタガ、現在ノ法制上デハドウシテモ捉ヘラレナイ、其ノ點何トカ御考ガ出來ナイデセウカ

○**挾間政府委員** 御尤モノ御尋ダト思フノデアリマスガ、不在地主ノ中ニ吾々ハ二通りノモノガアルト考ヘテ居リマス、一ツハ他市町村ノ者ガ其ノ市町村デ土地ヲ持ツテ居ル、唯ソレダケノ意味ノ不在地主デアリマス、一ツハ所謂不在地主デアリマシテ、從前家屋數ヲ持ツテ居ツタケレドモ、色々ナ事情デ引越シテ、後ハ管理人カ何カニ任シテ、都會ナラ都會ニ出テ生活ヲシテ居ルト云フ意味ノモノデアリマス、御述ニナリマシタノハ或ハ第一ノ方ノ不在地主デアラウカト思フノデアリマス、若シサウデゴザイ

マスナラバ、其ノ不在地主ノ土地ガ或ル施設ニ依リマシテ特ニ利益ヲ受ケル、其ノ町村内ノ地主ガ持ツテ居リマス土地ヨリモ、特ニ利益ヲ受ケルト云フヤウナ事實ガアリマスレバ格別、サウデナイ場合ニ於キマシテハ、例ヘバ御話ニナリマシタヤウナ意味合ノモノデアリマスナラバ、不均一課稅ヲ認メルト云フコトハ、ドウモ出來兼ネルノデハナイカト考ヘルノデアリマス、併シナガラ後ノ方ノ意味ノ不在地主、即チ家屋數ヲ國ニ殘シテ居ルガ、併シ本人ハ住ンデ居ラヌト云フ意味ノ不在地主デゴザイマスナラバ、是ハ其ノ村トノ緣故ト言ヒマスカ、繫ガリガモツト深イヤウニ考ヘマスノデ、市町村民稅ヲ今同設ケマスニ對シテ從前戸數割ハ課稅得ラレナカッタノデアリマスガ、市町村民稅ハ課稅得ル、斯ウ云フ建前ニ致シタノデアリマス

○**池本委員** 挾間サンニ致シマシテモ地方自治制ノ「オーソリチー」デアリマスシ、三好サンハ「エキスパート」デアリマスカラ、一ツ何トカ次ノ委員會マデニ是モ御考慮ニ入レテ戴イテ、皆ク一ツ摺メルヤウニ御考置テ願ヒタイト思ヒマス、ソコデ其ノ次ニ是ハ出マシタカラ走リマスガ、例ノ土地増價稅、或ハ間地稅、或ハ庭園稅、廣告稅、斯ウ云フヤウナ地方稅、是ハ私ハ拵ヘル方ガ宜イト思フノデス、ソコデ地方ニ希望ガアツテ、申出レバ成ベク許可スル方針ダト云フコトデゴザイマシタガ、是ハ大變結構デスカラモウ質問ハ致シマセヌ、其ノ中間地稅デゴザイマスガ、是ハ斯ウ云フ時局カラ考ヘテモ、斯ウ云フコトガアルノデス、何ノカソト申シテ居リマシテモ、地方ニヤハリ土地ガ遊ンデ居ルノデアリマス、遊

ンデ居ルカラ無收益デ、ソコニ課稅スルノハ酷ダト云フ風ニモ考ヘラレマス、特ニ私ハ不動産、土地ニ對スル重課ハ嫌ヒナノデスガ、併シ是ハ刺戟スル意味ニ於キマシテ稅ヲチツト課ケテ見ル、サウスルトソコデ其ノ土地ヲ生産的ニ利用シヨウト云フ工合ニナルノデゴザイマスカラ、サウ云フ意味ニ於テ私ハ間地稅ト云フモノハ一見酷ノヤウニ見エマシテモ、此ノ時局カラ見マシテ農產物増産ノ上カラモ宜イト思ヒマスノデ、審メル意味デハナクテ可愛ガル意味ニ於テ宜イト思ヒマスカラ、一ツ申請デモアリマスレバ精々許シテ戴キタイト御願致シタイト思ヒマス、是デ私ハ委員長ノ御指示モアリマスカラ大體終リマスガ、ソコデ關聯事項ヲ一二申上ゲマス、國ト地方負擔區分ヲ更ニ整備シテ戴キタイ、是ハモウ先刻申上ゲマシタ通りデ、尙ホ一層御考慮ヲ願ハナケレバナラス、其ノ次ニハ部落費、町會費、各種團體費ノ調整デス、是モ出マシタカラ多ク申シマセヌ、此ノ事ハ團體ノ統合ガ先決デス、是ハ逆モドウモナラス、一方ニ壞シテハ一方ニ御拵ヘニナルノハ才役人サンデス、農林省ト内務省ガ寄ツテタカツテ拵ヘル、ソコニ厚生省モ手傳フト云フ譯デス、是ハ大體地方ニ任シテ放ツテ置ケバソコナニ出來ナイモノヲ、役人サンノ方カラ拵ヘサセラレルノガ多イ、サウシテ御尤モト言ツテ居ラレル、是ハシツカリト御考下サラストイカス、殊ニ先年町村制ノ改正ヲヤツテ團體ノ統合ヲヤラウト云フ、是ハ内務省ノ方カラヤラウト言ツタ所ガ農林省ノ方カラ横槍ガ出タ、皆繩張り争ヒデアル、愚圖々々スレバ内務省ノ方ニ取ラレルノダト言ツテ、其ノ時ハ農林省ガ頑張ツテ聞カ

マスタラバ、其ノ不在地主ノ土地ガ或ル施設ニ依リマシテ特ニ利益ヲ受ケル、其ノ町村内ノ地主ガ持ツテ居リマス土地ヨリモ、特ニ利益ヲ受ケルト云フヤウナ事實ガアリマスレバ格別、サウデナイ場合ニ於キマシテハ、例ヘバ御話ニナリマシタヤウナ意味合ノモノデアリマスナラバ、不均一課稅ヲ認メルト云フコトハ、ドウモ出來兼ネルノデハナイカト考ヘルノデアリマス、併シナガラ後ノ方ノ意味ノ不在地主、即チ家屋數ヲ國ニ殘シテ居ルガ、併シ本人ハ住ンデ居ラヌト云フ意味ノ不在地主デゴザイマスナラバ、是ハ其ノ村トノ緣故ト言ヒマスカ、繫ガリガモツト深イヤウニ考ヘマスノデ、市町村民稅ヲ今同設ケマスニ對シテ從前戸數割ハ課稅得ラレナカッタノデアリマスガ、市町村民稅ハ課稅得ル、斯ウ云フ建前ニ致シタノデアリマス

○**池本委員** 挾間サンニ致シマシテモ地方自治制ノ「オーソリチー」デアリマスシ、三好サンハ「エキスパート」デアリマスカラ、一ツ何トカ次ノ委員會マデニ是モ御考慮ニ入レテ戴イテ、皆ク一ツ摺メルヤウニ御考置テ願ヒタイト思ヒマス、ソコデ其ノ次ニ是ハ出マシタカラ走リマスガ、例ノ土地増價稅、或ハ間地稅、或ハ庭園稅、廣告稅、斯ウ云フヤウナ地方稅、是ハ私ハ拵ヘル方ガ宜イト思フノデス、ソコデ地方ニ希望ガアツテ、申出レバ成ベク許可スル方針ダト云フコトデゴザイマシタガ、是ハ大變結構デスカラモウ質問ハ致シマセヌ、其ノ中間地稅デゴザイマスガ、是ハ斯ウ云フ時局カラ考ヘテモ、斯ウ云フコトガアルノデス、何ノカソト申シテ居リマシテモ、地方ニヤハリ土地ガ遊ンデ居ルノデアリマス、遊

ンデ居ルカラ無收益デ、ソコニ課稅スルノハ酷ダト云フ風ニモ考ヘラレマス、特ニ私ハ不動産、土地ニ對スル重課ハ嫌ヒナノデスガ、併シ是ハ刺戟スル意味ニ於キマシテ稅ヲチツト課ケテ見ル、サウスルトソコデ其ノ土地ヲ生産的ニ利用シヨウト云フ工合ニナルノデゴザイマスカラ、サウ云フ意味ニ於テ私ハ間地稅ト云フモノハ一見酷ノヤウニ見エマシテモ、此ノ時局カラ見マシテ農產物増産ノ上カラモ宜イト思ヒマスノデ、審メル意味デハナクテ可愛ガル意味ニ於テ宜イト思ヒマスカラ、一ツ申請デモアリマスレバ精々許シテ戴キタイト御願致シタイト思ヒマス、是デ私ハ委員長ノ御指示モアリマスカラ大體終リマスガ、ソコデ關聯事項ヲ一二申上ゲマス、國ト地方負擔區分ヲ更ニ整備シテ戴キタイ、是ハモウ先刻申上ゲマシタ通りデ、尙ホ一層御考慮ヲ願ハナケレバナラス、其ノ次ニハ部落費、町會費、各種團體費ノ調整デス、是モ出マシタカラ多ク申シマセヌ、此ノ事ハ團體ノ統合ガ先決デス、是ハ逆モドウモナラス、一方ニ壞シテハ一方ニ御拵ヘニナルノハ才役人サンデス、農林省ト内務省ガ寄ツテタカツテ拵ヘル、ソコニ厚生省モ手傳フト云フ譯デス、是ハ大體地方ニ任シテ放ツテ置ケバソコナニ出來ナイモノヲ、役人サンノ方カラ拵ヘサセラレルノガ多イ、サウシテ御尤モト言ツテ居ラレル、是ハシツカリト御考下サラストイカス、殊ニ先年町村制ノ改正ヲヤツテ團體ノ統合ヲヤラウト云フ、是ハ内務省ノ方カラヤラウト言ツタ所ガ農林省ノ方カラ横槍ガ出タ、皆繩張り争ヒデアル、愚圖々々スレバ内務省ノ方ニ取ラレルノダト言ツテ、其ノ時ハ農林省ガ頑張ツテ聞カ

ンデ居ルカラ無收益デ、ソコニ課稅スルノハ酷ダト云フ風ニモ考ヘラレマス、特ニ私ハ不動産、土地ニ對スル重課ハ嫌ヒナノデスガ、併シ是ハ刺戟スル意味ニ於キマシテ稅ヲチツト課ケテ見ル、サウスルトソコデ其ノ土地ヲ生産的ニ利用シヨウト云フ工合ニナルノデゴザイマスカラ、サウ云フ意味ニ於テ私ハ間地稅ト云フモノハ一見酷ノヤウニ見エマシテモ、此ノ時局カラ見マシテ農產物増産ノ上カラモ宜イト思ヒマスノデ、審メル意味デハナクテ可愛ガル意味ニ於テ宜イト思ヒマスカラ、一ツ申請デモアリマスレバ精々許シテ戴キタイト御願致シタイト思ヒマス、是デ私ハ委員長ノ御指示モアリマスカラ大體終リマスガ、ソコデ關聯事項ヲ一二申上ゲマス、國ト地方負擔區分ヲ更ニ整備シテ戴キタイ、是ハモウ先刻申上ゲマシタ通りデ、尙ホ一層御考慮ヲ願ハナケレバナラス、其ノ次ニハ部落費、町會費、各種團體費ノ調整デス、是モ出マシタカラ多ク申シマセヌ、此ノ事ハ團體ノ統合ガ先決デス、是ハ逆モドウモナラス、一方ニ壞シテハ一方ニ御拵ヘニナルノハ才役人サンデス、農林省ト内務省ガ寄ツテタカツテ拵ヘル、ソコニ厚生省モ手傳フト云フ譯デス、是ハ大體地方ニ任シテ放ツテ置ケバソコナニ出來ナイモノヲ、役人サンノ方カラ拵ヘサセラレルノガ多イ、サウシテ御尤モト言ツテ居ラレル、是ハシツカリト御考下サラストイカス、殊ニ先年町村制ノ改正ヲヤツテ團體ノ統合ヲヤラウト云フ、是ハ内務省ノ方カラヤラウト言ツタ所ガ農林省ノ方カラ横槍ガ出タ、皆繩張り争ヒデアル、愚圖々々スレバ内務省ノ方ニ取ラレルノダト言ツテ、其ノ時ハ農林省ガ頑張ツテ聞カ

ト言ツテ、其ノ時ハ農林省ガ頑張ツテ聞カ

ナイノダト云フコトガアリマス、其ノ時ハ内務省ハ宜シイ、内務省モ宜イコトバカリデハアリマセヌ、内閣ノ直屬ノ人事局ヲ拵ヘヨウト思ヘバ、繩張りデ拵ヘサセナカツタ、サウ云フコトハイカヌ、是ハ一ツ官廳ガ率先シテ團體ノ統合ヲ圖ツテ貰フ、サウスルト其ノ費用ガ自然的ニ統合セラレルカラ宜シイ、ソコゾソレニクツ付イテノ寄附金デス、寄附金モ此ノ間カラ色々話ガアリマシタ、局長ハ黙ツテ聞イテ居ルトウマイコトヲ言ツテ居ラレル、是ハ地方カラノ希望モアツテ、サウシテ持ツテ來ル、斯ウ云フ、サウカト云フト一ツハ無暗ニ地方デ取合スルト困ルカラ、ソレヲ「ブレイキ」用ニサウ云フモノヲ寄附金ヲサシテ見ル、斯ウ云フコトヲ言ツテ居ラレル、マア「ブレイキ」用ノハ是ハ實際アリマスケレドモ、サウ云フ場合ニ受益者負擔金制度ヲ今後採用スルヤウニスレバ宜イト思フ、コンナ譯ノ分ラヌモノニ寄附金ミタイナモノヲヤルコトハイケマセヌ、ソレカラ持ツテ來ルモノガ從來アル下言ツテモ、ソナモノハ初メカラ率先シテ持ツテ來ルヤウナ者ハアリマセヌ、ソナ顔色ヲ見セルカラソコニ出テ來ル、デスカラ是モ成ベクナイヤウニ十分ニ願ヒタイ、殊ニ寄附金ニ付テ最モイケナイト思ヒマスノハ、臨時的ノ寄附ハ宜シイデスガ、經常的ノ寄附ヲ取ルノハ是ハ甚ダ怪シカラヌ、ソレハ警察ガ多イ、私等ニモ地方ノ署長サンカラ持ツテ來マセヌガ、署長サンガ可哀相デスカラ、ソレハ言ヘナイノデス、署長サンハ警察部長ノ顔色ヲ見テ居ル、ダカラソナ人ニ叱言ヲ言フノデハアリマセヌガ、是ハ精々國ニ持ツテ行ツテ一遍言ハナケレバナラス、ソレデ署長ガ自動車ヲ

買フ、署ガ自動車ヲ買フ、「オートバイ」ヲ買ハシテ又自動車ヲ買フ、自動車ハ買ツタガ、油モ修繕費モナイカラ、自動車ハ動キマセヌ、ソコデ油代ダノ修繕費ダノラ色々名前前デ會員組織デ拵ヘルノデス、此ノ臨時的ナ費用ハ是ハ私ハ地方ニ於テ言ハウト思ツテモ氣ノ毒ダカラ言ヘナイノデス、ダカラ私ハ出シテ居ル、出シテ置イテ此處ニ持ツテ來テ一ツ言フノデス、警察デ直グニ持ツテ行クノハ遊廓デアルトカ、或ハ散髪屋デアルトカ、料理屋デアルトカ、サウ云フ所ニ持ツテ行ク、此ノ間モ現ニ私ガ歸ツタラ、時局ニ名ヲ藉ツテ國粹精神ノ振興ダトカ云ツテ相撲ノ支持ヲシテ居ル、相撲ノ善イ惡イハ別ダケレドモ、是ハ私ノ府トハ申シマセヌ、餘計ダラウガ、何々警防協會、何々銃後奉公會ト云ツテ札ヲ賣リ歩イテ居ルノデス、ソナコトハ惡イ、サウシテ主催ハ何々額役ト書イテアル、是ハ臨時ノ寄附デスカ、寄附ニ付テハドウカ一ツ宜シク御願致シマス

ソレカラモウ一ツ、中央地方間ノ豫算ノ連絡緊密化ヲ圖ルコトデス、是ハ國ト地方トノ豫算ガチグハグニナツテ居ル、其ノ最モ著シイノハ土木費ノ補助ナンカデス、道路改修ノ國カラノ補助金、是ガ地方ノ豫算ヲ見テミマス、何々國道改修ヲヤルデセウ、ソレハ何箇年繼續事業ニナツテ居ルノデス、ソレデ年々ソレニ付テノ國庫ノ補助金ガ年度割ニ出テ居リマス、地方ノ豫算ハ繼續事業ニナツテ居ル、國ノ内務省ノ豫算ハ——是ハ内務省ニ最モ多イノデスカ、内務省ノ方ハ一年切リノ豫算ニナツテ居ル、ソコデチグハグニナツテ居ルノデス、是ダケ國カラノ補助ガアルンダ、斯ウ云フテ協

贊シマス、ヒドイノハ一割モ五分モ來ナイ、橋ノ補助費ガアルデセウ、橋ガ墜チタ時分ニ直シタノガマダチビ——來テ居ルノデス、ソレガ地方財政案亂ノ一ツノ大キナ原因デス、ダカラ是ハ突進シテハ、地方ト國トデ豫算ノ形式ノ改革ニマデナルカモ分ラヌガ、モツト連絡ヲ能ク執ツテ貰ヒタイ、地方ガ繼續費ニナツテ居ルナラバ國モ繼續費ニスル、サウ云フ風ニ地方ト國トノ豫算ノ連絡緊密化ヲ圖ツテ貰フコトヲ一ツ宜シク御願致シマス

ソレカラ最後ニ一寸伺ヒマスガ、此ノ間内務大臣ガ地方ノ行政監督機關デスカ財政監督機關デスカ、ドチラカ私ハ聽漏シタガ、監督機關ヲ設置セラレ、ソレヲ考慮中ダト云ツテ居ラレタ、サウ云フ監督機關ヲ設ケル、ソコデ伺ヒマス、是ハ内務大臣代リニ伺フ、府縣參事會會計検査制度廢止ト云フコトガ往々ニシテ傳ヘラレテ居リマスガ、是ト關聯シテ御考ニナツテ居ルノデアリマスカ、居ラナイノデアリマスカ、ドウデスカ、此ノ點ヲ一ツ伺ヒタイ

○**挾間政府委員** 第一ノ地方ノ團體ノ統合ノ問題ハ、私ハ池本サンノ御述ニナリマシタ點ニ付テ極メテ同感デアリマス、唯是ハ各團體ノ色々ナ沿革モアリ、決シテ繩張り爭ヒト云フ意味デナク、相當困難デアリマスノデ、吾々ノ方針トシテハ成ルベク統合出來ルモノハ統合ヲシ、困難ナモノニ付テハ最大限度ノ連絡協調ヲ執ツテ行キタイト云フ方針デ進ミタイト思ヒマス、何ト申シマシテモ地方ノ經濟生活ト云フモノヲ除外シテハ町村自治ト云フモノハ本當ニ藻抜ノ殻ノヤウナモノデアリマスカラ、御述ナニリマシタ點ニ付キマシテハ出來ルダケサウ云フ方針デ行キタイト思ヒマス

ソレカラ中央ト地方ノ豫算ノ問題ハ是亦私ハ極メテ同感ノ意ヲ表シマス私モ地方ノ長官ヲ致シマシテ斯ウ云フコトニハ何回モ遭遇致シテ居リマス、殊ニ土木豫算ニ付テハサウ云フ實例ガアリマス、唯吾々ノ希望トシテハ斯ウ云フ時ニハ豫算外ノ契約デモスルコトガ適當デハナイカト思ツテ居リマスガ、國ノ豫算ノ傳統的ナヤリ方トシテ斯ウ云フコトニナツテ居リマスノデ、此處デ私ガ約束致シマシテモ是ハ全く無力ナ者ガ希望ヲ述ベル程度デゴザイマスノデ、御希望ヲ十分承ツテ大臣ニ御傳スルヤウニ致シタイト思ヒマス

ソレカラ監督機關ハ實ハ今御述ニナリマシタヤウナ參事會ノ會計検査ト關聯シテ——ソレカラ起ツタ問題デハナイノデアリマシテ是ハ全く今度ノ稅制改正ヲ機會ニ現在地方局ニ監査課ト云フノガアルノデスカ、此ノ稅制改正ノ結果分與稅ト云フ大キナモノガ出來マスカラ、此ノ關係ニ於テハドウシテモ地方ノ行政ヲ徹底的ニ監査シ、使途ニ付テモ十分ナ指導ヲ致サナケレバナラスト云フコトデ、此ノ監査機構ヲ作ツタノデアリマス、隨テ大臣ガ申シマシタノハサウ云フ意味カラ出來ルモノデ、中央ニ設ケマス監査機構、地方ニ設ケマス監査機構、是デ府縣市町村ヲ行政、財政兩方面カラ十分監査ヲ致シマス、大體は自己監査ヲ主ト致シマスガ、間違ヒノナイヤウニ適正ナ財政經理ヲ致サセタイ、又行政ノ運用ヲ見

テ行キタイ、斯ウ云フ積リデアリマス
○池本委員　モウニツアルノデスケレドモ、
是ハ内務大臣ニ御聽シタイト思ヒマスノデ、
後日何かノ機會ニ一寸挾ンデ戴クコトヲ御
願申上ゲマシテ、私ノ質問ヲ打切リマス
○小山委員長　内務大臣ニ對スル御質問ハ
留保シテ置キマス——ソレデハ今日ハ是デ
散會ヲ致シマス、明日ハ午前十時ヨリ開會
致シマス

午後五時五分散會

昭和十五年三月八日印刷

昭和十五年三月八日發行

衆議院事務局

印刷者 內閣印刷局